

令和2年度
秋田県学習状況調査

調査結果報告書

令和3年3月

秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、令和2年12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。今年度の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校等の影響が懸念されました。県教育委員会では、本調査についての各学校の不安等を可能な限り払拭できるよう準備等を進めてまいりました。具体的には、学校の実情に合わせて調査期日を設定できるようにしたこと、調査内容の縮減や調査問題数の削減を行ったこと、未履修について柔軟な取扱いができるようにしたこと等が挙げられます。これらについて県内各市町村教育委員会、各学校から御理解と御協力をいただき、例年どおり円滑に調査を実施できましたことに感謝申し上げます。

本調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、本県の教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第4学年が国語、算数、理科の3教科、小学校第5・6学年が国語、社会、算数、理科の4教科、中学校第1・2学年が国語、社会、数学、理科、英語の5教科の教科に関する調査と、「学習習慣や学校生活についての意識」「各教科等の学習に対する意識」「読書についての意識」など、学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。教科に関する調査の特色として、過去の全国学力・学習状況調査における「活用」に関する問題の出題趣旨を踏まえた問題を出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題いたしました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、小学校における新学習指導要領の全面实施を受け、小学校第4学年に外国語活動の質問項目を新設するなどの見直しを行うことで、各小学校が自校の児童の学習に対する意識等を的確に捉え、学習指導の一層の改善・充実に役立てることができるよういたしました。

さて、新型コロナウイルス感染症予防のための行動様式や生活様式等の変化は、授業を始めとする学校生活にも少なからぬ影響をもたらしました。そのような状況下にあっても、各学校においては、児童生徒が安心して学校生活を送り、主体的・対話的に学びを深めることができるよう、様々な工夫を凝らした取組を行っていただいたことと思います。質問紙調査の結果からは、児童生徒が学ぶことの意義を感じ取りながら学習に取り組もうとしている様子や、他者と協働しながら課題を解決しようとしている様子が見られました。

本報告書は、令和2年度の秋田県学習状況調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等をまとめたものです。今年度は全国学力・学習状況調査の実施が取りやめとなりましたので、本報告書及び調査問題は、各学校や市町村教育委員会における日常の学習指導や教育への取組の成果等を検証し、改善・充実を図る上で、より有意義に活用していただけるものと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様から御礼申し上げます。

令和3年3月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	調査の特徴、用語等	2
3	調査結果の概要	3
	(1) 教科に関する調査の結果	
	① 設定通過率との比較	3
	② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較	4
	③ 類似問題との比較	5
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	6
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果	
	① 学習全般についての結果概要	11
	② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要	11
	③ 学習全般について	12
	④ 生活全般について	14
	⑤ 家庭学習について	17
	⑥ 授業について	18
	⑦ 各教科等の学習に対する意識について	21
	⑧ 読書について	30
4	結果と考察	31
	<p style="margin: 0;">本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。</p>	
	(1) 国語	
	・小学校第4学年	32
	・小学校第5学年	36
	・小学校第6学年	40
	・中学校第1学年	44
	・中学校第2学年	48
	(2) 社会	
	・小学校第5学年	52
	・小学校第6学年	56
	・中学校第1学年	60
	・中学校第2学年	64
	(3) 算数、数学	
	・小学校第4学年	68
	・小学校第5学年	72
	・小学校第6学年	76
	・中学校第1学年	80
	・中学校第2学年	84
	(4) 理科	
	・小学校第4学年	88
	・小学校第5学年	92
	・小学校第6学年	96
	・中学校第1学年	100
	・中学校第2学年	104
	(5) 英語	
	・中学校第1学年	108
	・中学校第2学年	112

令和2年度
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴・用語等
- 3 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

※本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいる。

(人)

校種・学年 実施教科等	小 学 校			中 学 校	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	6,599	6,850	6,973	6,954	7,087
社 会		6,850	6,977	6,954	7,087
算数・数学	6,600	6,852	6,977	6,954	7,084
理 科	6,600	6,853	6,977	6,958	7,084
英 語				6,956	7,085
学習の意欲等に関する アンケート	6,599	6,856	6,981	6,969	7,106
参 加 者	6,600	6,856	6,981	6,969	7,106
小・中ごとの参加者計	20,437			14,075	
参加者合計	34,512				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容を含む場合もある。

(4) 調査実施期間

小学校 令和2年12月 2日(水)～12月18日(金)

中学校 令和2年12月 3日(木)～12月18日(金)

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校等の影響を考慮し、統一実施を取りやめ、調査実施期間内に各市町村教育委員会又は各学校の実情に応じて調査日を定め、実施することとした。

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・観点別評価の実施
 - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
 - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
 - ・前年度までの調査において課題が見られた問題についての改善状況の把握
- ⑥ 思考力、判断力、表現力に関する問題
 - ・過去の全国学力・学習状況調査における「活用」に関する問題の出題趣旨を踏まえた問題
 - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
 - ・改善状況の把握
- ⑧ 調査結果の活用の工夫
 - ・各学校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・全問題の通過率の平均
- ③ 設定通過率
 - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）
- ④ 正答数別度数分布
 - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

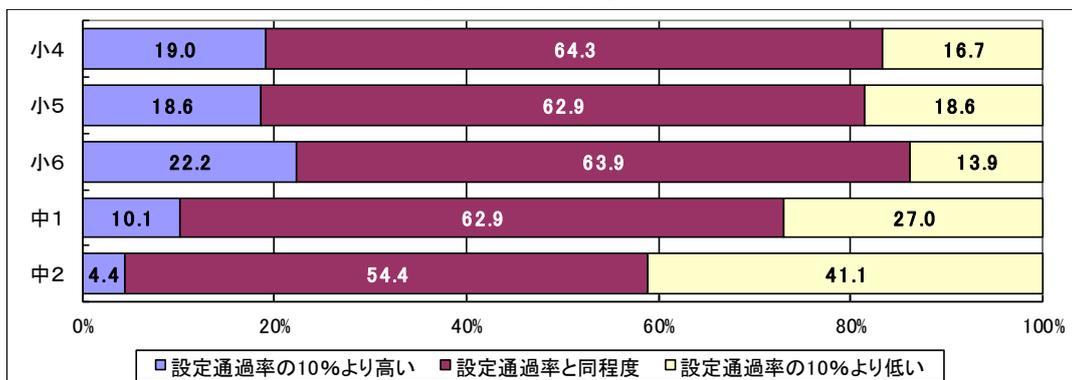
3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が83.3%、小学校第5学年が81.5%、小学校第6学年が86.1%、中学校第1学年が73.0%、中学校第2学年が58.8%であった。昨年度に比べて、中学校第1学年は4.4ポイント高くなっている。一方、小学校第5学年は5.1ポイント、中学校第2学年は5.2ポイント、昨年度よりも低くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第4学年国語、理科、第5学年理科、第6学年社会、算数、理科、中学校では第1学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第1学年社会、第2学年社会、数学、理科、英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	77.0	73.8	3.2	83.3%
		第5学年	68.5	70.3	-1.8	75.0%
		第6学年	67.5	70.3	-2.8	77.8%
	社会	第5学年	68.1	70.0	-1.9	83.3%
		第6学年	70.8	70.3	0.5	88.9%
	算数	第4学年	69.1	71.7	-2.6	77.8%
		第5学年	67.1	71.9	-4.8	72.2%
		第6学年	73.9	72.2	1.7	94.4%
	理科	第4学年	77.7	74.2	3.5	91.7%
第5学年		78.3	71.1	7.2	94.4%	
第6学年		73.2	70.0	3.2	83.3%	
中学校	国語	第1学年	73.7	71.5	2.2	76.5%
		第2学年	69.6	70.8	-1.2	77.8%
	社会	第1学年	57.3	70.0	-12.7	66.7%
		第2学年	53.3	70.0	-16.7	55.6%
	数学	第1学年	60.3	70.0	-9.7	66.7%
		第2学年	59.8	70.0	-10.2	66.7%
	理科	第1学年	65.8	70.0	-4.2	77.8%
		第2学年	54.1	70.0	-15.9	50.0%
英語	第1学年	65.4	70.3	-4.9	77.8%	
	第2学年	52.8	70.0	-17.2	44.4%	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語の「知識・技能」、社会、算数、理科の全観点であった。また、中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科の「思考・表現」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題が多く見られたのは、小学校では国語の「思考・判断・表現」、中学校では国語の「読むこと」、社会の「思考・判断・表現」、「知識・理解」、数学の「技能」、理科の「技能」、英語の「表現の能力」であった。

<小学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	24	7 (29.2%)	13 (54.2%)	4 (16.7%)
	思考・判断・表現	22	5 (22.7%)	11 (50.0%)	6 (27.3%)
社会	知識・技能	21	3 (14.3%)	15 (71.4%)	3 (14.3%)
	思考・判断・表現	15	2 (13.3%)	11 (73.3%)	2 (13.3%)
算数	知識・技能	37	1 (2.7%)	29 (78.4%)	7 (18.9%)
	思考・判断・表現	17	3 (17.6%)	11 (64.7%)	3 (17.6%)
理科	知識・技能	27	9 (33.3%)	16 (59.3%)	2 (7.4%)
	思考・判断・表現	21	7 (33.3%)	11 (52.4%)	3 (14.3%)

※小学校の「観点」は、学習指導要領（平成29年告示）に基づき設定している。

<中学校>

教科名	観点又は領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	10	1 (10.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	6 (33.3%)	9 (50.0%)	3 (16.7%)
社会	思考・判断・表現	15	0 (0.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)
	技能	11	0 (0.0%)	7 (63.6%)	4 (36.4%)
	知識・理解	10	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)
数学	考え方	9	1 (11.1%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)
	技能	16	0 (0.0%)	10 (62.5%)	6 (37.5%)
	知識・理解	11	0 (0.0%)	8 (72.7%)	3 (27.3%)
理科	思考・表現	13	1 (7.7%)	9 (69.2%)	3 (23.1%)
	技能	8	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)
	知識・理解	15	0 (0.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)
英語	表現の能力	5	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)
	理解の能力	21	1 (4.8%)	13 (61.9%)	7 (33.3%)
	言語や文化についての知識・理解	10	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)

※中学校の「観点又は領域」は、学習指導要領（平成20年告示）に基づき設定している。

③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では86問中55問（64.0%）、中学校では91問中57問（62.6%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年の算数、第5学年の社会、理科、第6学年の社会、理科であった。中学校では第1学年の国語、社会、数学、第2学年の社会であった。

（図1参照）

- ・類似問題の通過率の平均を比較すると、社会と英語は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第5学年の国語、算数、第6学年の国語、中学校第1学年の理科、中学校第2学年の理科は下回っているものの、その差は-5ポイント以内である。

（図2参照）

図1 類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合

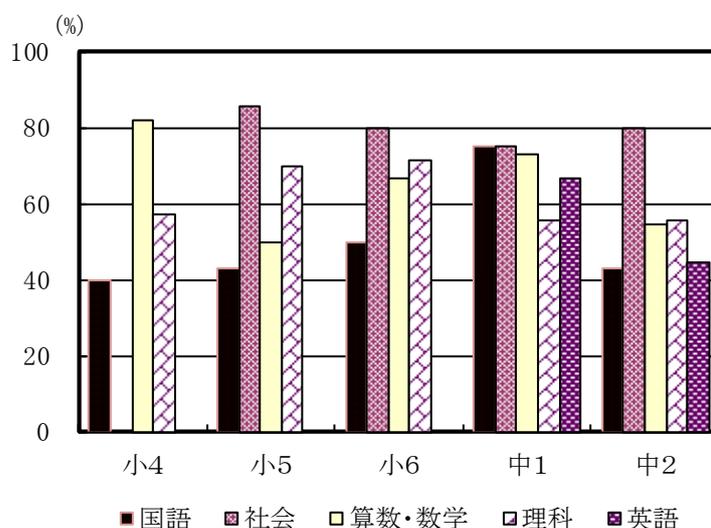
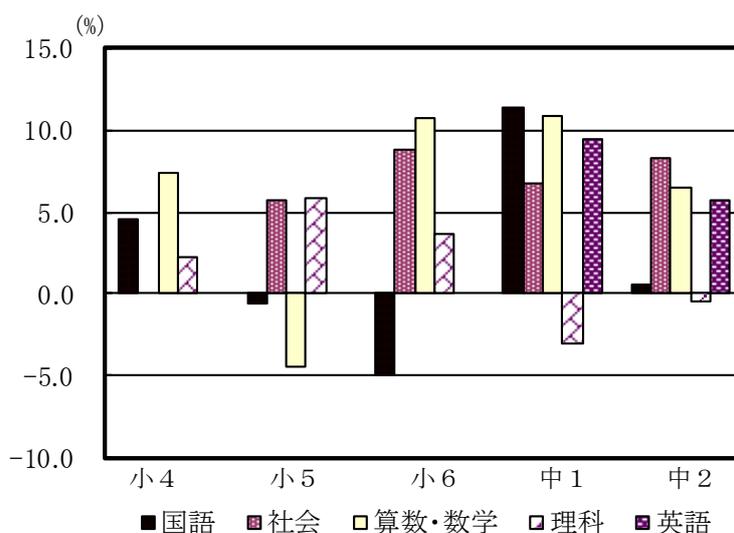


図2 類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	90	96.7	
2)	90	98.7	
3)	70	87.7	
4)	80	93.9	
5)	70	87.2	67.2
6)	70	95.6	74.7
7)	80	73.5	
8)	70	51.0	64.8
9)	60	39.0	41.8
10)	65	55.2	
11)	60	55.1	
12)	80	90.2	92.0

設定通過率	73.8		
平均通過率		77.0	
類似問題		72.6	68.1

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	82.8	
2)	90	95.2	
3)	70	76.2	
4)	70	67.5	
5)	65	71.2	38.0
6)	60	48.8	
7)	70	82.3	
8)	80	92.1	84.6
9)	70	33.0	53.3
10)	60	48.4	
11)	70	83.5	49.5
12)	80	74.3	75.7
13)	60	57.6	80.1
14)	65	67.3	
15)	65	29.5	64.1
16)	70	86.2	

設定通過率	70.3		
平均通過率		68.5	
類似問題		63.0	63.6

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	90	98.5	
2)	90	98.5	
3)	70	79.4	
4)	60	53.8	
5)	70	86.0	
6)	60	37.5	70.8
7)	65	58.3	
8)	70	41.6	65.8
9)	70	62.8	82.6
10)	70	64.7	58.2
11)	80	82.1	
12)	70	74.5	
13)	60	39.1	40.9
14)	80	93.6	
15)	60	26.3	
16)	70	77.1	75.9
17)	60	57.1	50.0
18)	70	83.4	59.1

設定通過率	70.3		
平均通過率		67.5	
類似問題		57.9	62.9

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	91.5	
2)	90	98.7	
3)	70	74.2	
5)	60	39.9	54.7
6)	60	48.8	77.0
7)	70	75.5	64.4
8)	70	84.0	54.8
9)	70	91.5	51.0
10)	75	76.7	
11)	80	87.3	80.9
12)	70	81.0	75.8
13)	80	80.4	
14)	80	85.0	42.8
15)	70	69.7	
16)	60	41.4	
17)	60	42.7	
18)	70	84.3	

設定通過率	71.5		
平均通過率		73.7	
類似問題		74.1	62.7

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	76.4	81.0
2)	70	75.8	93.7
3)	70	75.6	94.8
4)	80	95.2	
5)	80	99.1	
6)	60	56.9	
7)	90	95.1	
8)	60	66.8	80.0
9)	70	67.5	58.1
10)	60	11.1	
11)	80	79.0	
12)	80	93.4	64.6
13)	60	44.9	
14)	70	85.4	
15)	60	58.5	
16)	65	36.8	
17)	60	47.0	26.1
18)	80	88.8	

設定通過率	70.8		
平均通過率		69.6	
類似問題		71.8	71.2

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	85	93.8	92.2
2)	65	58.9	65.5
3)	65	48.7	
4)	75	78.2	76.5
5)	70	64.0	
6)	70	81.2	53.8
7)	75	81.7	70.5
8)	70	74.6	
9)	80	81.7	
10)	60	29.3	
11)	85	86.2	85.3
12)	60	39.3	
13)	60	53.3	49.7
14)	75	80.2	
15)	65	69.9	
16)	65	59.9	
17)	65	65.2	
18)	70	78.8	

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	90	96.8	95.1
2)	70	70.2	74.7
3)	70	63.2	
4)	75	85.8	
5)	60	52.3	
6)	80	85.2	73.2
7)	70	81.2	60.8
8)	75	89.3	
9)	60	50.1	
10)	80	81.9	
11)	60	27.1	
12)	70	82.8	
13)	65	68.9	
14)	60	43.3	
15)	75	82.5	
16)	80	84.4	
17)	65	74.3	59.9
18)	60	54.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.1	
類似問題		76.2	70.5

設定通過率	70.3		
平均通過率		70.8	
類似問題		81.5	72.7

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	70	72.8	
2)	65	36.9	
3)	75	71.0	
4)	70	54.5	50.8
5)	80	77.9	
6)	70	38.8	
7)	70	7.0	54.9
8)	65	67.3	41.1
9)	80	75.9	
10)	60	52.9	39.5
11)	70	45.3	
12)	65	55.8	
13)	75	69.0	
14)	70	63.9	44.5
15)	85	85.3	71.1
16)	60	42.8	
17)	60	51.3	23.4
18)	70	62.5	64.8

設定通過率	70.0		
平均通過率		57.3	
類似問題		55.6	48.8

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	75	69.9	
2)	65	51.2	46.8
3)	70	31.3	50.4
4)	70	24.5	
5)	85	79.7	68.6
6)	60	53.0	45.5
7)	85	85.0	
8)	65	55.6	45.5
9)	65	47.0	
10)	60	53.0	35.1
11)	85	78.7	79.7
12)	65	51.2	19.9
13)	65	58.5	52.2
14)	60	50.7	
15)	75	67.6	53.4
16)	70	26.9	
17)	75	50.6	
18)	65	25.6	

設定通過率	70.0		
平均通過率		53.3	
類似問題		58.0	49.7

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	85	78.6	68.1
2)	85	81.4	64.2
3)	70	62.1	
4)	70	78.8	51.6
5)	85	90.5	
6)	90	94.0	84.9
7)	65	67.4	
8)	75	68.9	75.0
9)	65	39.4	
10)	65	67.3	59.4
11)	70	77.9	59.4
12)	70	89.8	75.0
13)	65	42.9	77.3
14)	75	73.0	
15)	65	65.9	55.7
16)	70	76.7	69.6
17)	60	44.7	
18)	60	44.7	

設定通過率	71.7		
平均通過率		69.1	
類似問題		74.7	67.3

番号	設定	通過率	類似
1)	85	72.5	
2)	90	83.4	
3)	85	87.1	88.7
4)	65	51.6	69.2
5)	75	74.9	60.9
6)	65	59.5	
7)	65	60.4	61.4
8)	60	54.8	
9)	75	63.9	63.7
10)	60	33.2	83.4
11)	75	74.6	68.4
12)	75	81.1	72.4
13)	70	58.1	
14)	70	67.8	
15)	80	73.7	79.7
16)	60	59.7	
17)	70	81.1	79.6
18)	70	69.5	

設定通過率	71.9		
平均通過率		67.1	
類似問題		68.2	72.7

番号	設定	通過率	類似
1)	90	86.4	
2)	85	91.1	
3)	75	62.0	
4)	65	63.6	48.7
5)	70	60.7	77.3
6)	60	71.8	56.1
7)	70	70.5	
8)	60	65.2	47.6
9)	70	92.7	49.0
10)	65	56.1	56.9
11)	80	75.2	82.8
12)	80	88.5	
13)	70	74.8	
14)	80	87.4	
15)	75	75.9	
16)	80	88.0	
17)	65	63.6	35.9
18)	60	56.2	54.5

設定通過率	72.2		
平均通過率		73.9	
類似問題		67.2	56.5

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	85	79.6	
2)	70	68.1	55.6
3)	65	36.0	65.0
4)	70	48.5	
5)	65	51.4	
6)	65	57.5	25.9
7)	60	50.5	28.9
8)	70	52.5	
9)	65	69.1	38.2
10)	70	43.8	
11)	80	81.1	
12)	70	64.0	83.4
13)	75	65.5	
14)	85	80.3	82.7
15)	65	55.3	35.4
16)	65	55.2	53.0
17)	65	42.6	32.3
18)	70	83.8	42.0

設定通過率	70.0		
平均通過率		60.3	
類似問題		60.2	49.3

番号	設定	通過率	類似
1)	90	80.6	
2)	75	41.0	
3)	65	56.7	52.4
4)	65	57.5	
5)	75	75.7	35.4
6)	70	53.7	48.4
7)	70	76.7	48.8
8)	70	59.1	
9)	65	59.9	51.8
10)	70	64.5	
11)	65	56.8	
12)	75	68.8	74.8
13)	70	60.5	42.6
14)	60	50.6	51.4
15)	65	46.6	56.2
16)	70	47.4	
17)	80	74.1	77.8
18)	60	46.0	57.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		59.8	
類似問題		60.8	54.3

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	70	77.5	65.6
2)	80	95.1	88.8
3)	90	92.5	93.2
4)	60	57.9	56.5
5)	70	79.9	
6)	70	67.8	
7)	70	76.7	66.4
8)	80	80.7	
9)	70	57.6	
10)	90	94.8	95.3
11)	70	70.4	83.2
12)	70	80.9	

設定通過率	74.2		
平均通過率		77.7	
類似問題		80.7	78.4

番号	設定	通過率	類似
1)	70	87.5	73.3
2)	60	76.5	
3)	60	61.7	
4)	70	67.9	
5)	80	90.4	92.7
6)	60	72.6	49.4
7)	60	66.9	
8)	80	82.9	78.0
9)	60	49.5	
10)	80	80.8	80.9
11)	80	83.8	78.8
12)	80	73.6	89.9
13)	90	95.3	91.6
14)	70	80.4	
15)	60	69.4	
16)	80	81.3	79.6
17)	70	95.8	
18)	70	93.4	69.5

設定通過率	71.1		
平均通過率		78.3	
類似問題		84.2	78.4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	90.5	82.7
2)	60	40.5	
3)	70	82.8	
4)	80	96.4	78.0
5)	70	87.9	
6)	80	68.6	
7)	60	68.8	52.7
8)	80	88.7	91.9
9)	70	83.8	
10)	60	37.9	
11)	60	53.7	
12)	60	64.4	
13)	80	84.7	
14)	60	60.0	84.4
15)	70	69.2	66.2
16)	80	93.8	
17)	70	63.5	
18)	70	83.0	74.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		73.2	
類似問題		79.5	75.8

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	70	42.0	86.0
2)	80	91.2	
3)	60	44.4	35.2
4)	70	62.9	64.6
5)	60	54.7	
6)	70	67.6	87.7
7)	80	94.2	
8)	60	41.3	
9)	70	68.1	62.0
10)	70	60.7	66.5
11)	60	59.8	
12)	60	59.7	53.7
13)	70	50.9	
14)	70	69.4	
15)	80	82.5	76.1
16)	80	84.3	67.6
17)	80	77.7	
18)	70	72.8	

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.8	
類似問題		63.6	66.6

番号	設定	通過率	類似
1)	70	64.2	
2)	70	49.7	
3)	80	46.4	
4)	70	49.5	25.5
5)	70	62.0	57.8
6)	60	52.0	45.3
7)	70	42.0	55.5
8)	70	48.9	73.4
9)	60	59.0	
10)	70	26.6	25.5
11)	60	55.4	65.2
12)	60	58.8	
13)	80	79.3	
14)	70	65.3	
15)	80	56.2	
16)	70	27.9	
17)	80	62.5	77.2
18)	70	68.9	46.1

設定通過率	70.0		
平均通過率		54.1	
類似問題		52.0	52.4

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

中1	番号	設定	通過率	類似
	1)	80	70.1	75.8
	2)	80	77.5	70.3
	3)	70	58.8	62.2
	4)	70	77.2	68.7
	5)	60	25.1	27.7
	6)	75	85.5	65.0
	7)	80	79.9	
	8)	80	85.8	78.9
	9)	70	67.4	
	10)	80	84.3	
	11)	70	70.9	
	12)	80	87.0	
	13)	60	28.3	
	14)	60	60.2	
	15)	60	62.4	23.2
	16)	65	62.3	48.0
	17)	60	37.6	
	18)	65	57.4	

設定通過率	70.3		
平均通過率		65.4	
類似問題		67.2	57.8

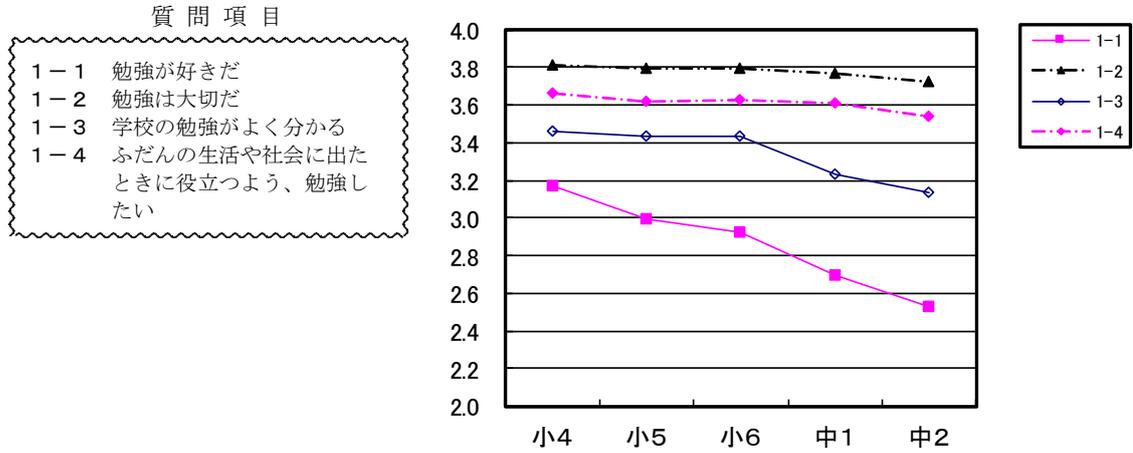
中2	番号	設定	通過率	類似
	1)	85	77.1	80.8
	2)	75	58.0	63.7
	3)	70	45.8	8.3
	4)	75	67.1	
	5)	75	69.2	48.3
	6)	60	34.9	38.4
	7)	65	58.8	
	8)	65	61.2	49.1
	9)	75	52.4	
	10)	70	54.1	59.5
	11)	65	55.3	58.1
	12)	80	72.1	
	13)	70	25.5	
	14)	60	27.3	
	15)	65	47.7	
	16)	65	32.1	
	17)	65	43.6	
	18)	75	68.5	65.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		52.8	
類似問題		58.2	52.5

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

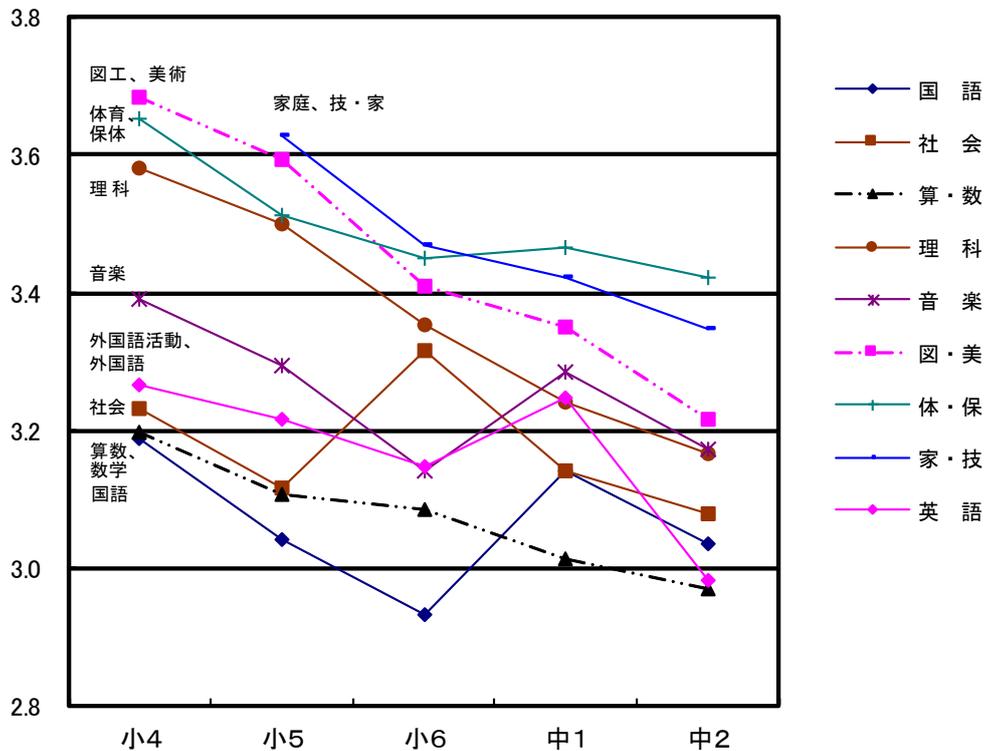
当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点



② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点

質問項目
 (例) 国語の勉強は好きだ ※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



③ 学習全般について

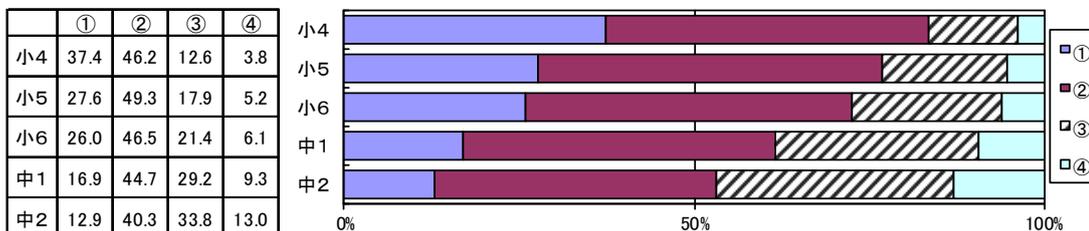
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

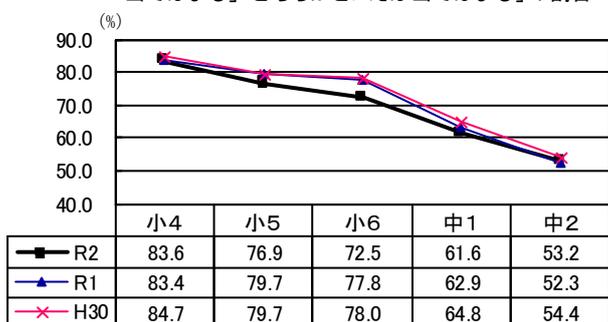
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



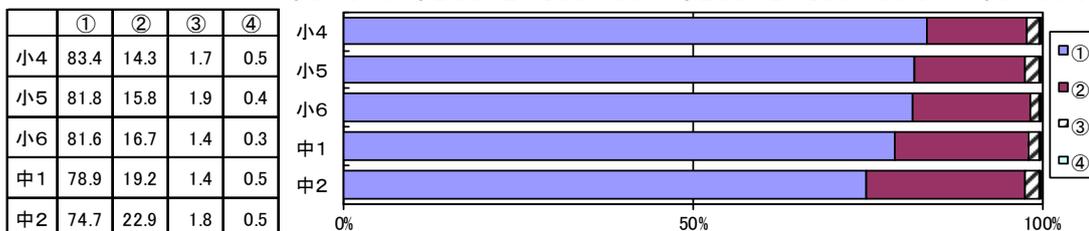
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



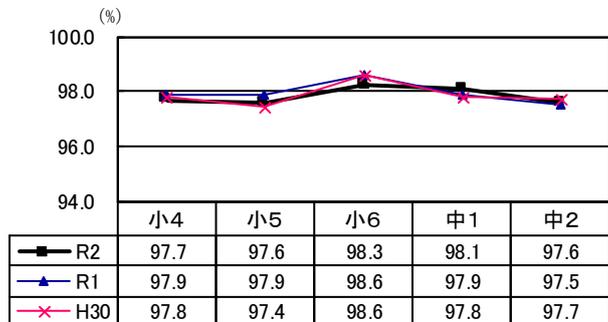
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるものの、小学校第4学年と中学校第2学年においては、昨年度よりやや高くなっている。

[1-2] 勉強は大切だ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



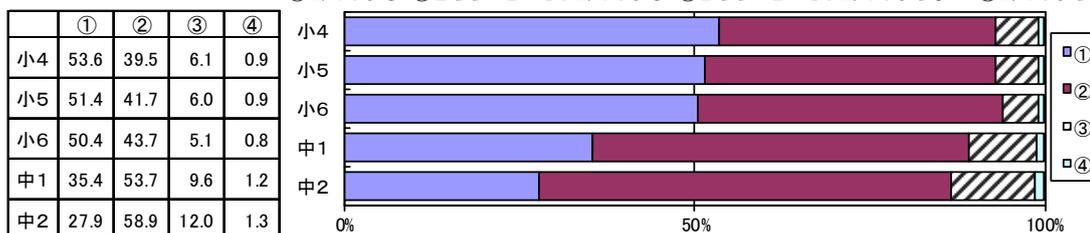
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



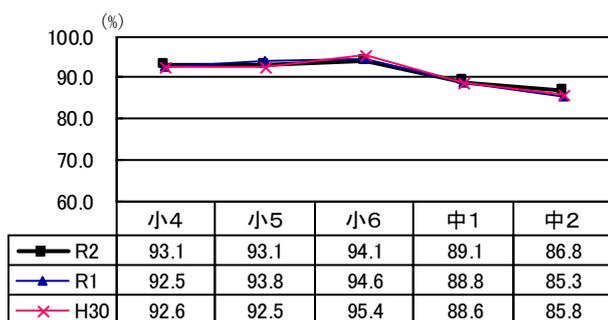
肯定的な回答の割合が、全ての学年で97%以上という高い状況である。中学校第1学年においては、この3年間で最も高い数値を示している。学ぶことの重要性や意義などを感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

[1-3] 学校の勉強がよく分かる

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



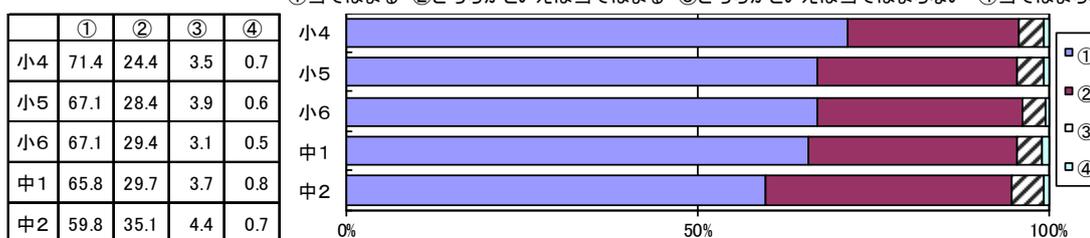
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



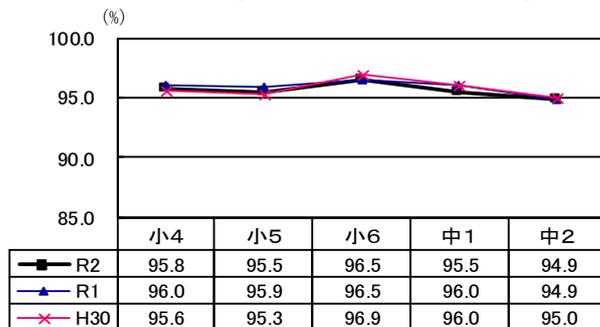
小学校では93%以上、中学校では86%以上が肯定的な回答をしている。小学校第4学年と中学校第1学年、第2学年においては、この3年間で最も高い数値を示している。各学校において、教師が児童生徒の学習の状況を見取り、個に応じた指導の手立てを工夫していることがうかがえる。

[1-4] ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で94%以上という高い状況である。各教科等で学習する内容を日常生活にも役立てようとする意識を明確にもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

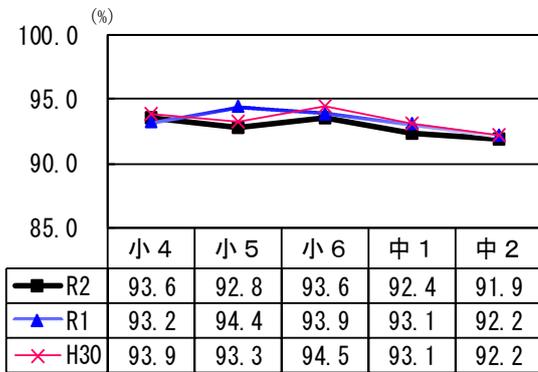
④ 生活全般について

[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[2-1] 学校が楽しい



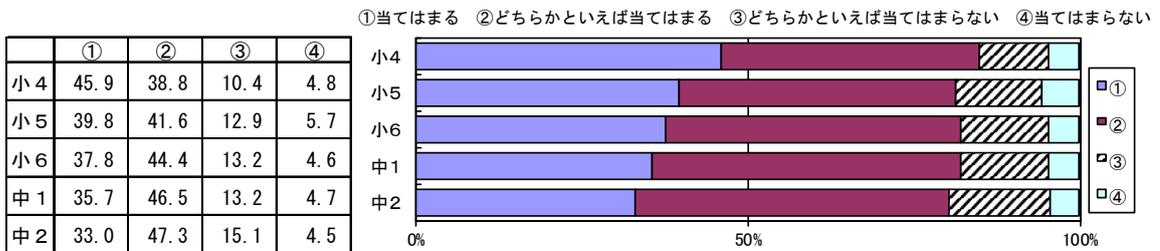
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



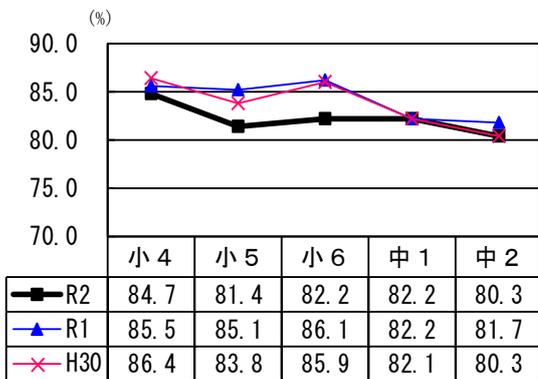
全ての学年で、肯定的な回答が91%以上であり、そのうち「当てはまる」という回答は60%以上である。

学校が児童生徒にとって伸び伸びと過ごせる楽しい場となるよう、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、教育活動を工夫していることがうかがえる。

[2-2] 自分にはよいところがあると思う



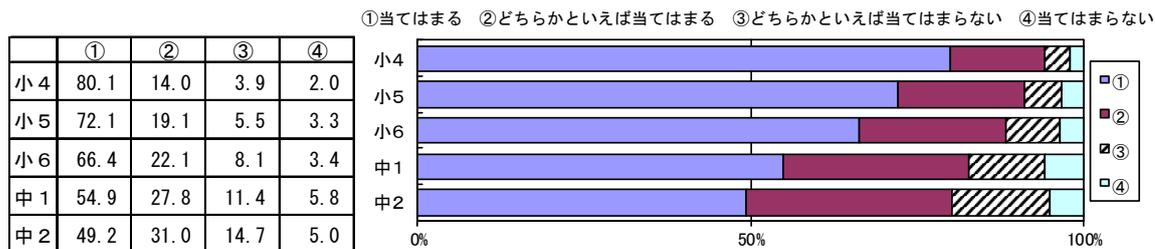
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



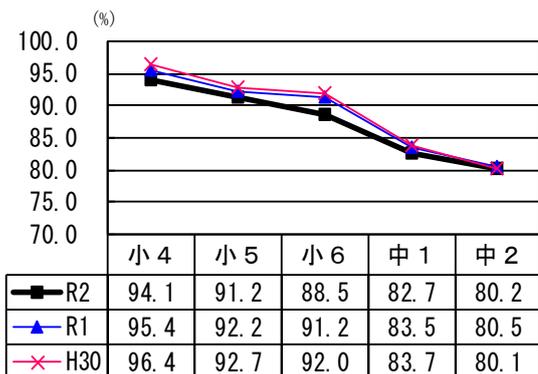
肯定的な回答の割合が、全ての学年で80%以上であるが、小学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。

学校生活の様々な場面において、教師が児童生徒のよさを積極的に認めるなど、児童生徒の自己肯定感を高める働き掛けを、一層充実させていく必要がある。

[2-3] 将来の夢や目標をもっている



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



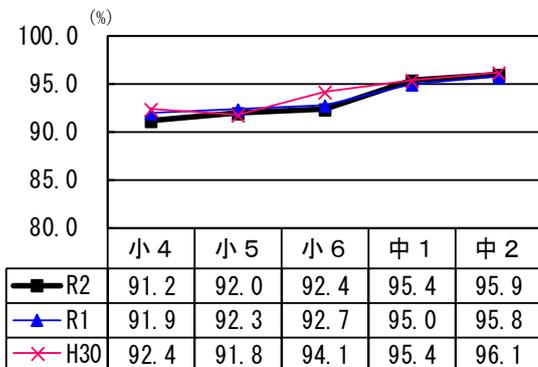
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなる状況は依然として見られるものの、小学校では88%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしている。

各学校では、児童生徒の発達の段階に応じて学級活動や職場体験活動等の内容を工夫し、児童生徒に将来のことについて考えさせる機会を確保している様子が見える。

[2-4] 学校のきまりを守っている



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



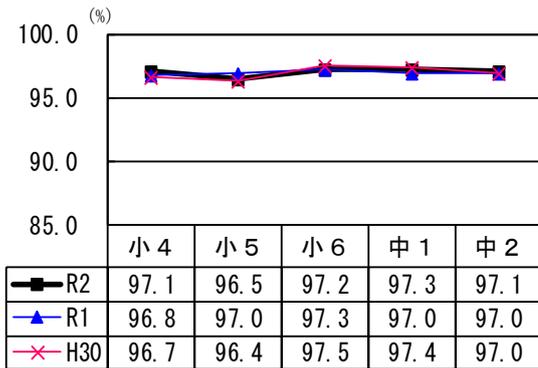
肯定的な回答の割合が、全ての学年で91%を超えており、学年が上がるに従って高くなっている。

学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組や働き掛けが行われていることがうかがえる。

[2-5] 人の役に立つ人間になりたいと思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



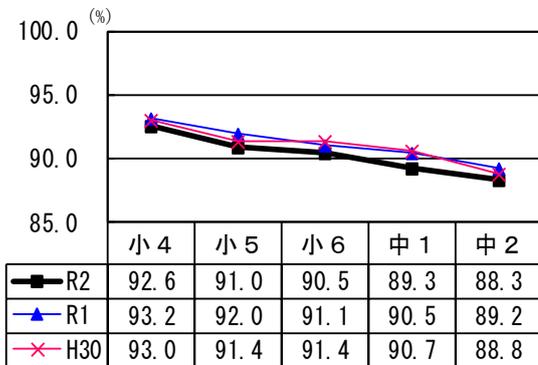
肯定的な回答の割合が、全ての学年で96%以上という高い状況である。

各学校において、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、他者と協働したり、公共のためになることに取り組もうとしたりする意欲を高める働き掛けが行われていることがうかがえる。

[2-6] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



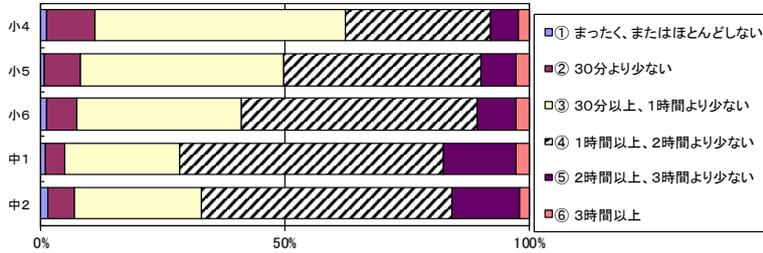
肯定的な回答の割合は、小学校では90%以上、中学校では88%以上である。

各学校の特色を生かしたふるさと教育やキャリア教育等の取組が、児童生徒の地域に対する愛着を育み、地域社会に貢献しようとする意欲の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤ 家庭学習について

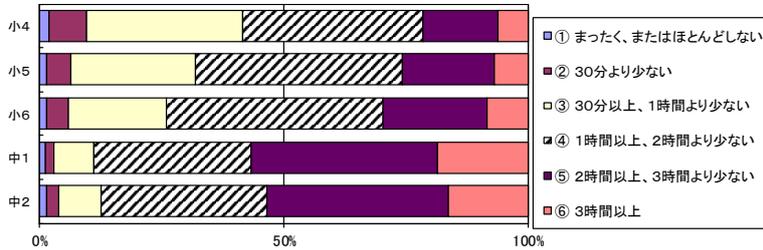
[グラフ等の見方]
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



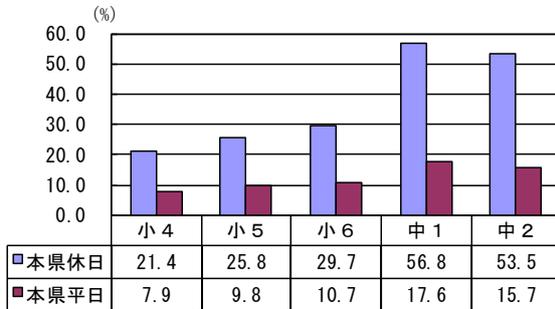
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.2	10.1	51.1	29.8	5.7	2.2
小5	0.9	7.3	41.7	40.4	7.2	2.6
小6	1.2	6.2	33.8	48.1	8.0	2.7
中1	1.1	4.0	23.3	53.9	14.9	2.7
中2	1.6	5.4	26.0	51.3	13.8	1.9

土曜日や日曜日の勉強時間

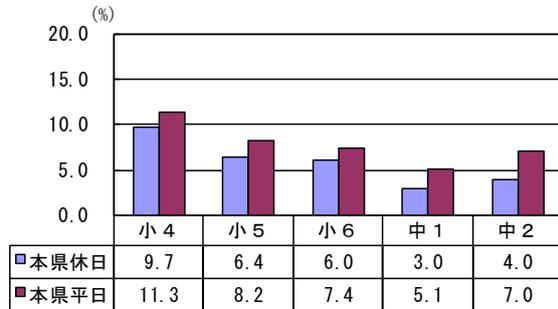


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	2.0	7.7	31.9	36.9	15.3	6.1
小5	1.5	4.9	25.5	42.3	18.8	7.0
小6	1.4	4.6	20.0	44.3	21.4	8.3
中1	1.2	1.8	8.1	32.2	38.3	18.5
中2	1.5	2.5	8.6	33.9	37.3	16.2

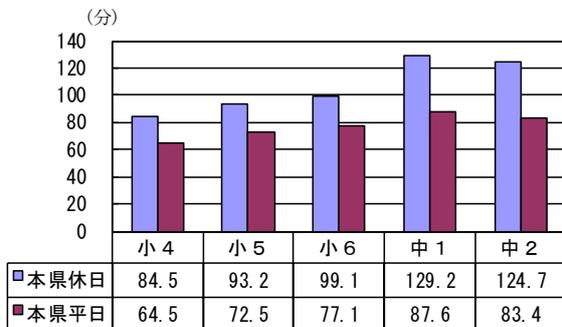
2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



家庭学習の平均時間



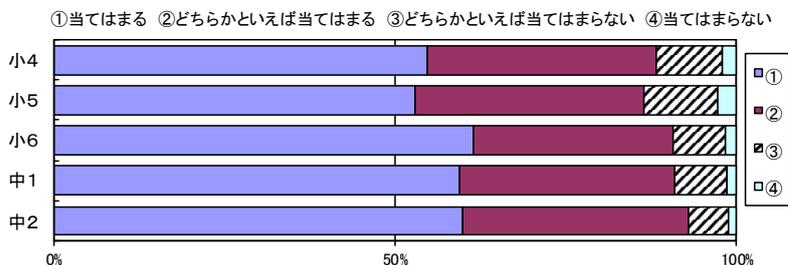
小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長いこと、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長いことなど、全体的には昨年度までと同様の傾向である。また、小・中学校とも、休日に2時間以上勉強している児童生徒の割合が、昨年度よりも増加している。一方、「全くしない又は30分未満」と回答した割合が、小学校第6学年では平日、休日とも昨年度と比べてやや増加している。

⑥ 授業について

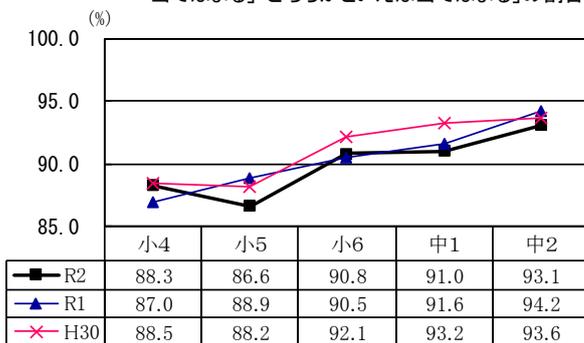
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

	①	②	③	④
小4	54.7	33.6	9.7	1.9
小5	52.9	33.7	10.7	2.7
小6	61.5	29.3	7.7	1.6
中1	59.6	31.4	7.6	1.4
中2	59.9	33.2	5.8	1.1



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

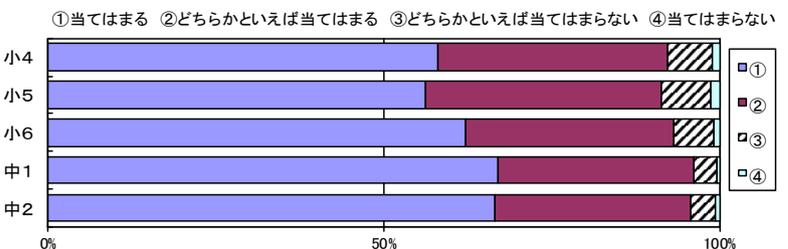


肯定的な回答の割合が、小学校では86%以上、中学校では91%以上である。

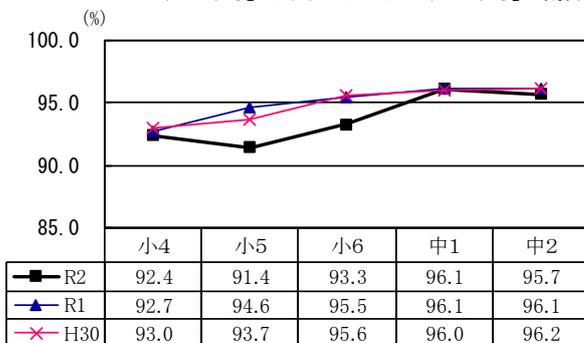
各学校においては、児童生徒が自分の考えを発表する機会を、授業の中に確実に設定していることがうかがえる。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う

	①	②	③	④
小4	58.2	34.2	6.5	1.1
小5	56.3	35.1	7.4	1.2
小6	62.3	31.0	5.8	0.9
中1	67.1	29.0	3.5	0.4
中2	66.6	29.1	3.7	0.6



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



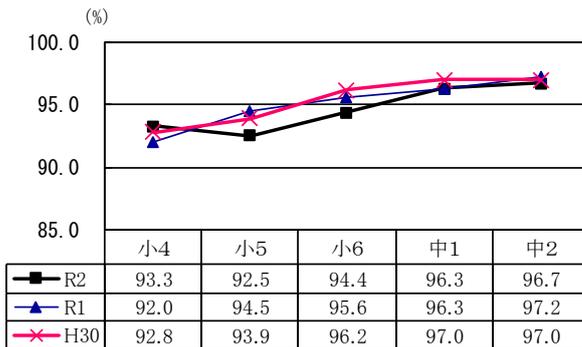
肯定的な回答の割合が、前年度と比べるとどの学年も同程度又は低くなっているものの、全ての学年で91%以上と高い状況にある。

各学校において、新型コロナウイルス感染症への感染防止の対策を講じながら児童生徒による話し合いの場を工夫して設定し、児童生徒同士が協働して課題解決に取り組んだり探究したりする学習活動を充実させようとしている様子が見られる。

[4-3] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



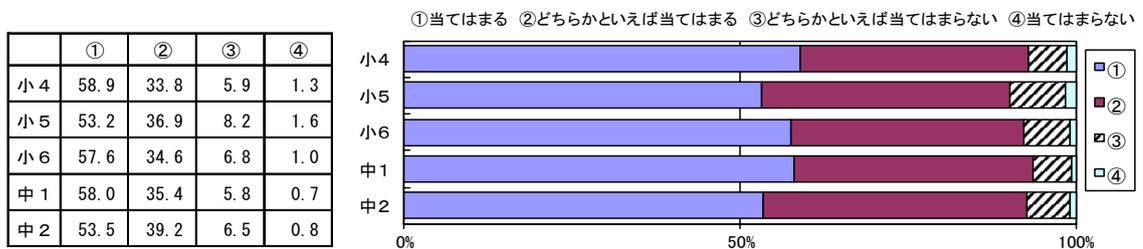
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



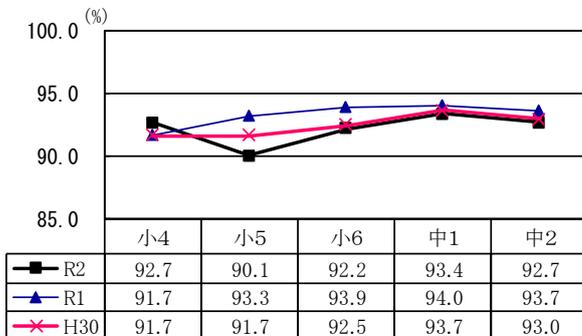
肯定的な回答の割合が、小学校では92%以上、中学校では96%以上と高くなっている。

各学校において、授業の導入の手立てを工夫するなどして、課題を解決したいという児童生徒の意欲を高めたり、学習の見通しをもたせたりすることで、主体的に学習活動に取り組むことができるようにしている様子が見える。

[4-4] ふだんの授業では、自分の学習活動を振り返る活動を行っていると思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



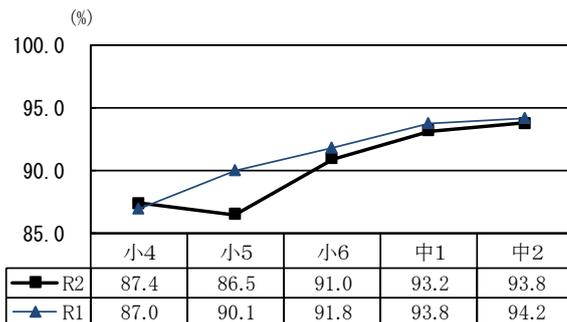
肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%以上と高い状況である。

各学校においては、学習した内容や課題解決の方法等を振り返る場を大切に、児童生徒が自身の学びや変容等を実感できるようにしている様子が見える。

[4-5] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、小学校では86%以上、中学校では91%以上である。小学校よりも中学校の方が数値が高い傾向にある。また、小学校第5学年は他学年に比べて低くなっている。

他者の多様な考えに触れることが、自分の考えを広げたり深めたりする上で役立つことを児童生徒が自覚できるように、各教科等の特質に応じて、話し合う活動を一層充実させる必要がある。

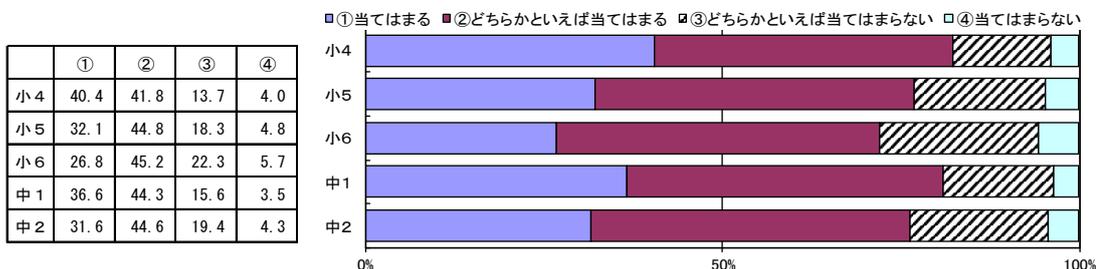
⑦ 各教科等の学習に対する意識について

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

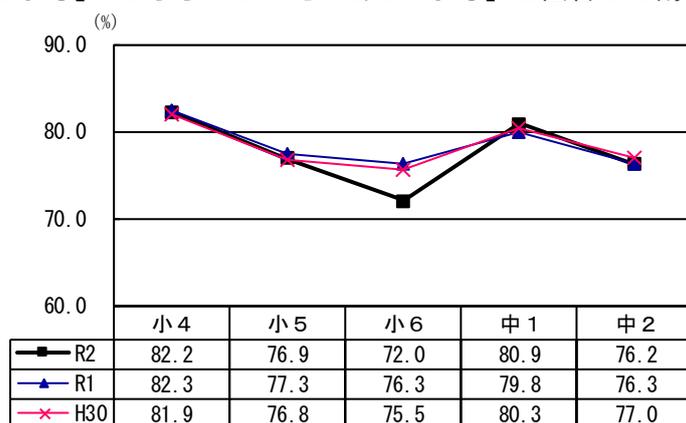


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

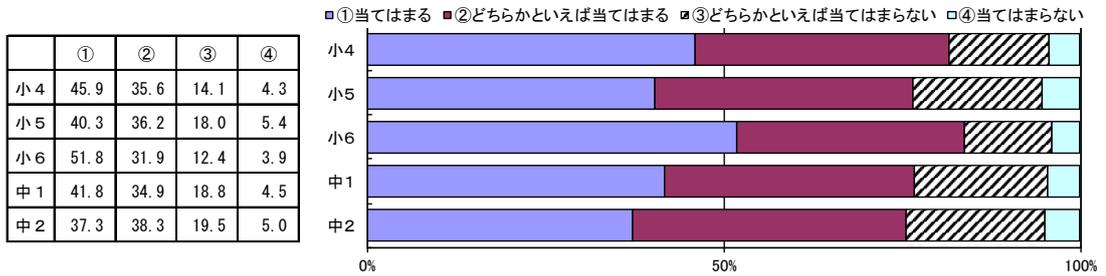
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と 回答した理由	① 内容に興味がある	21.4%	20.6%	17.1%	20.9%	19.1%
	② 分かりやすい	15.1%	12.7%	10.4%	15.0%	14.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.7%	12.9%	16.8%	15.3%	14.4%
	④ 生活の中で役立つ	9.2%	8.7%	9.2%	8.1%	8.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.6%	12.7%	10.0%	11.5%	9.1%
	⑥ 得意	7.1%	5.7%	4.8%	5.8%	6.1%
「当てはまらない」等と 回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.4%	4.1%	6.1%	4.5%	7.5%
	⑧ 分かりにくい	3.5%	3.7%	3.4%	2.3%	3.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.7%	2.5%	2.9%	1.7%	2.0%
	⑫ 不得意	8.0%	11.4%	14.3%	9.4%	9.4%
	⑬ その他	3.8%	4.5%	4.7%	5.3%	5.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校は72%以上、中学校は76%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第6学年は、他学年に比べて低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。また、小学校では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が学年が上がるに従って高くなっており、中学校では、「分かりやすい」の割合も比較的高くなっている。一方、小学校では、「不得意」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

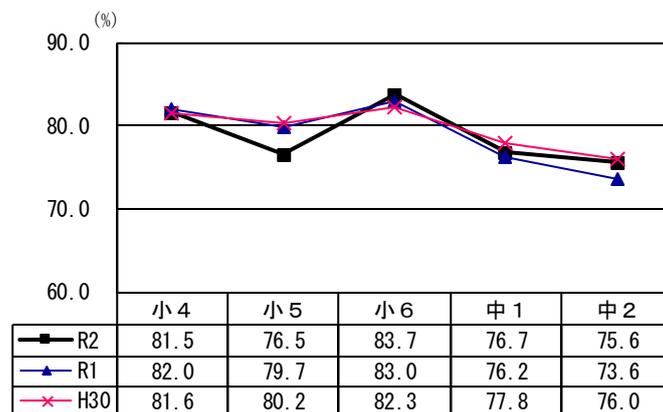


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

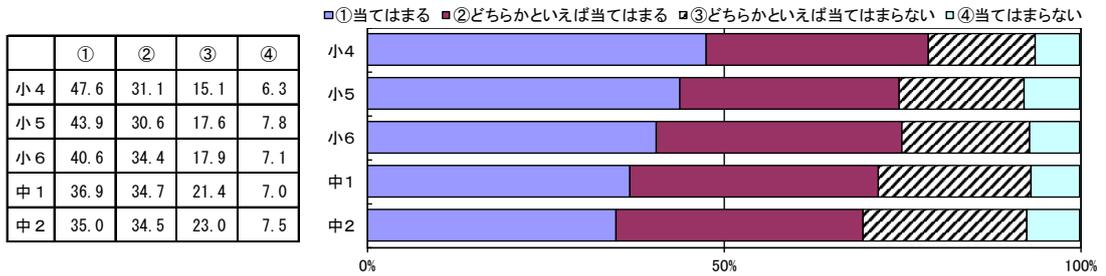
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.8%	17.6%	37.0%	32.3%	31.3%
	② 分かりやすい	9.0%	8.8%	9.0%	10.8%	12.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	30.9%	29.7%	15.8%	12.4%	10.3%
	④ 生活の中で役立つ	9.4%	6.5%	2.7%	2.4%	3.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.6%	7.7%	10.9%	10.6%	9.0%
	⑥ 得意	5.1%	4.5%	6.2%	4.5%	5.7%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.9%	4.3%	3.3%	3.7%	5.4%
	⑧ 分かりにくい	4.3%	5.2%	3.0%	4.0%	4.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.1%	0.2%	1.0%	1.0%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.2%	0.1%	0.3%	0.5%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.5%	2.0%	1.0%	0.7%	0.9%
	⑫ 不得意	7.6%	10.6%	7.8%	12.6%	11.6%
	⑬ その他	2.4%	2.8%	2.6%	4.6%	4.7%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では76%以上、中学校では75%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第5学年は、昨年度と比べて3.2ポイント低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小学校第4学年と第5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校第6学年と中学校第1学年、第2学年では、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、小・中学校とも「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

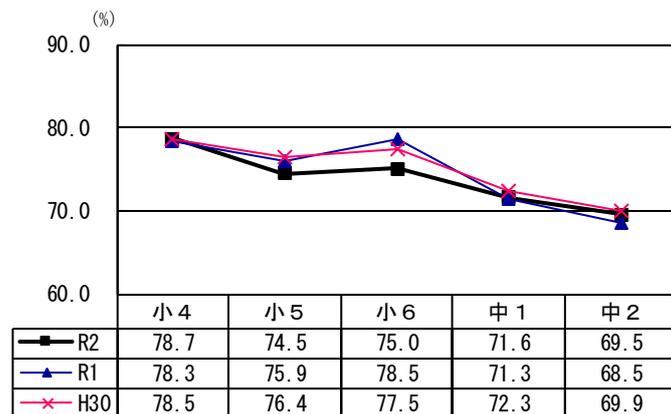


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

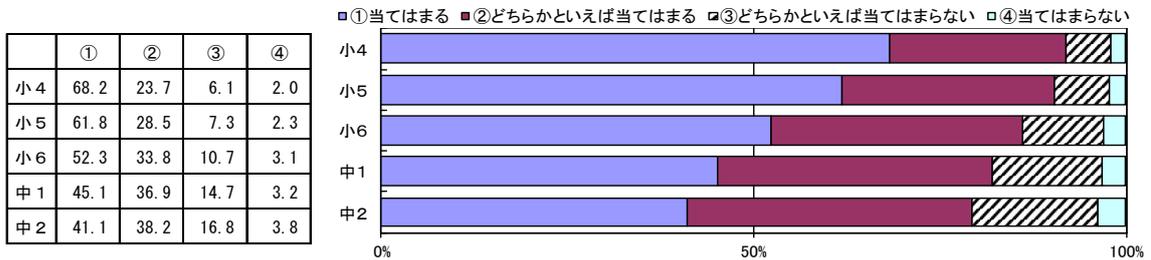
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と 回答した理由	① 内容に興味がある	8.3%	8.4%	7.6%	8.8%	9.0%
	② 分かりやすい	11.7%	10.3%	9.3%	9.4%	9.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.5%	12.9%	16.8%	15.0%	13.2%
	④ 生活の中で役立つ	13.0%	10.5%	11.2%	9.0%	6.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	17.7%	18.7%	17.9%	18.4%	20.7%
	⑥ 得意	14.6%	11.4%	10.7%	8.6%	8.4%
「当てはまらない」等と 回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.6%	2.0%	2.4%	2.4%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	5.8%	6.2%	4.0%	5.0%	5.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.5%	3.8%	3.3%	3.2%	3.3%
	⑫ 不得意	10.3%	12.7%	14.2%	16.6%	17.0%
	⑬ その他	2.7%	2.9%	2.4%	3.1%	3.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



昨年までと同様に、肯定的な回答の割合は、中学校よりも小学校の方が高いという傾向にある。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「考えるのが楽しい」の割合が最も高くなっている。また、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」を理由として挙げた割合が比較的高くなっている。一方、小学校第5学年から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、学年が上がるに従って「不得意」と「得意」の割合の差が広がる傾向が見られる。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

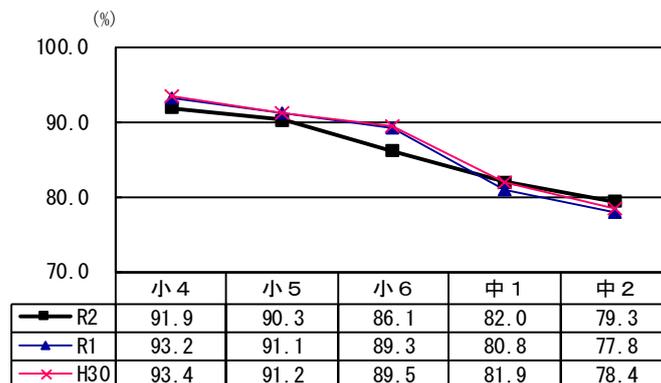


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

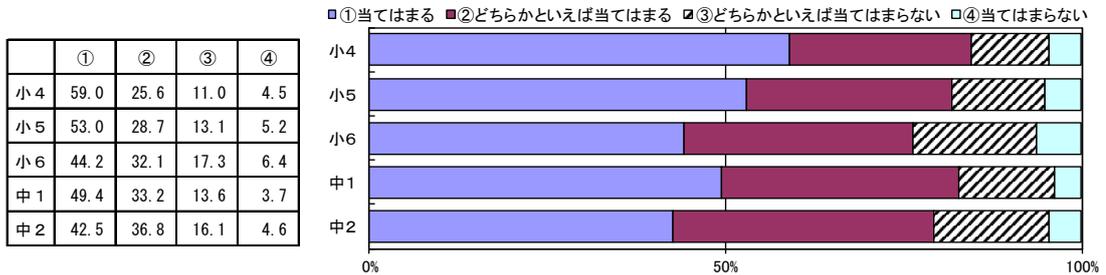
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と 回答した理由	① 内容に興味がある	28.2%	33.3%	30.8%	31.7%	31.2%
	② 分かりやすい	9.6%	9.7%	9.8%	9.2%	10.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	5.2%	4.4%	5.8%	4.7%	5.1%
	④ 生活の中で役立つ	10.2%	7.1%	7.1%	7.4%	7.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	24.0%	22.9%	21.5%	19.2%	15.4%
	⑥ 得意	12.0%	9.8%	8.1%	6.2%	6.0%
「当てはまらない」等と 回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.4%	1.6%	3.2%	2.9%	3.4%
	⑧ 分かりにくい	1.5%	2.1%	2.9%	3.6%	4.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.3%	0.8%	0.8%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.8%	0.8%	0.8%	1.1%	1.3%
	⑫ 不得意	3.5%	3.5%	5.2%	8.2%	9.5%
	⑬ その他	3.2%	4.0%	3.8%	4.5%	4.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では86%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしており、中学校第1学年、第2学年においては、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高い傾向にある。また、「生活の中で役立つ」の割合が、全ての学年で、昨年度よりも高くなっている。一方、「不得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って高くなっている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

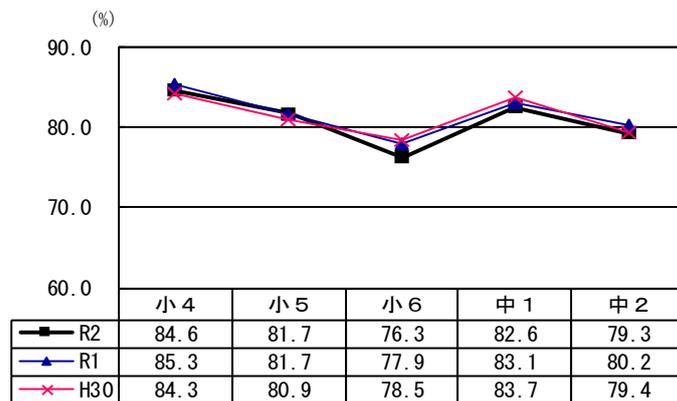


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	21.9%	26.2%	25.0%	33.6%	34.8%
	② 分かりやすい	13.1%	11.5%	10.2%	9.8%	8.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.2%	2.1%	2.1%	1.9%	1.9%
	④ 生活の中で役立つ	3.0%	2.5%	2.2%	2.0%	1.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	8.4%	8.5%	6.9%	9.3%	9.0%
	⑥ 得意	27.3%	21.7%	19.2%	14.9%	12.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味が無い	3.0%	3.3%	4.5%	4.4%	6.9%
	⑧ 分かりにくい	1.7%	1.7%	2.0%	0.8%	0.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.0%	1.7%	2.3%	2.2%	2.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.8%	1.0%	1.3%	1.2%	1.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.7%
	⑫ 不得意	7.9%	9.5%	12.3%	7.7%	7.6%
	⑬ その他	9.3%	9.8%	11.6%	11.8%	12.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では76%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高くなっている。また、小学校では「分かりやすい」、中学校では「考えるのが楽しい」の割合も比較的高くなっている。一方、小学校では、「不得意」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

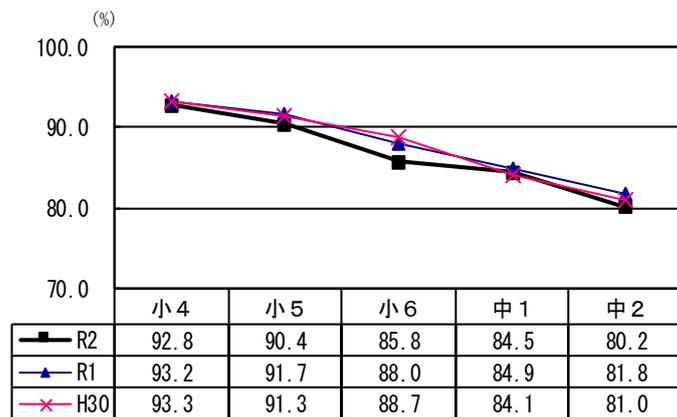


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

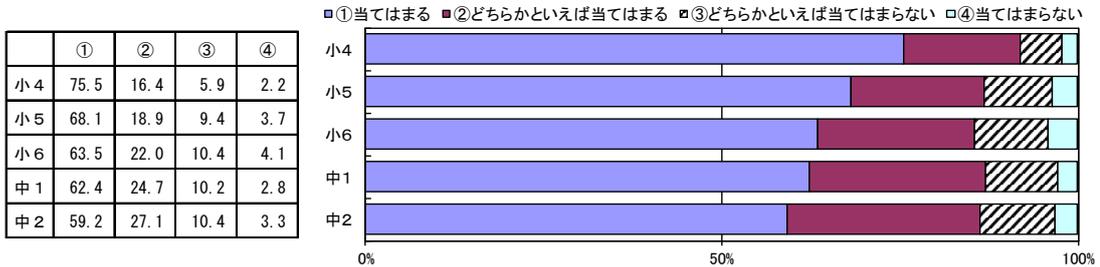
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	24.5%	27.2%	26.9%	30.7%	30.3%
	② 分かりやすい	5.5%	4.3%	4.4%	5.9%	4.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.4%	2.3%	2.3%	1.9%	1.8%
	④ 生活の中で役立つ	3.6%	3.4%	3.3%	2.7%	1.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	23.0%	25.5%	26.4%	21.3%	22.5%
	⑥ 得意	28.2%	22.7%	16.6%	14.1%	11.1%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.0%	1.3%	2.1%	3.1%	4.9%
	⑧ 分かりにくい	0.7%	0.3%	0.4%	0.5%	0.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.5%	1.0%	1.4%	2.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.4%	0.6%	0.9%	1.0%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.7%	0.7%	0.9%	0.6%	0.8%
	⑫ 不得意	3.9%	5.8%	8.3%	8.6%	9.5%
	⑬ その他	6.0%	5.6%	6.8%	8.3%	8.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では85%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。また、小学校では「得意」の割合も高い傾向にある。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

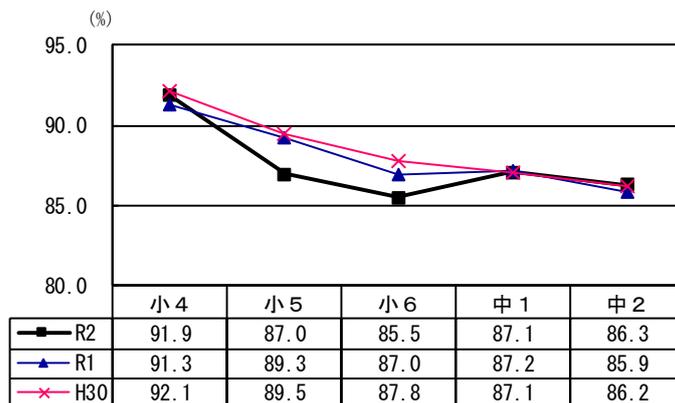


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

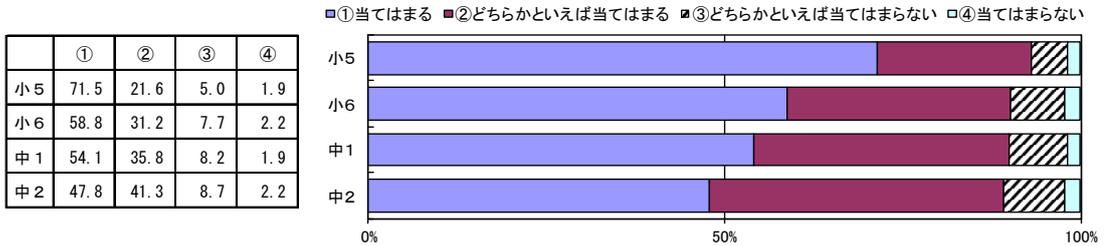
		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	21.0%	22.6%	24.8%	26.5%	28.8%
	② 分かりやすい	5.3%	4.8%	4.5%	5.1%	3.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.3%	5.0%	4.7%	4.6%	4.1%
	④ 生活の中で役立つ	8.5%	5.6%	5.3%	6.3%	6.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.7%	3.1%	2.9%	4.5%	5.3%
	⑥ 得意	40.8%	36.6%	33.5%	30.4%	28.1%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味が無い	1.0%	1.0%	1.3%	1.8%	1.6%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%
	⑫ 不得意	6.1%	9.9%	11.2%	9.1%	9.9%
	⑬ その他	9.5%	10.1%	10.5%	10.3%	10.8%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では85%以上、中学校では86%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示しているが、小学校第5学年と第6学年は、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「得意」「内容に興味がある」の割合が高くなっている。「得意」の数値は中学校よりも小学校の方が、「内容に興味がある」の数値は小学校よりも中学校の方が高い傾向にある。一方、小・中学校とも、「不得意」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

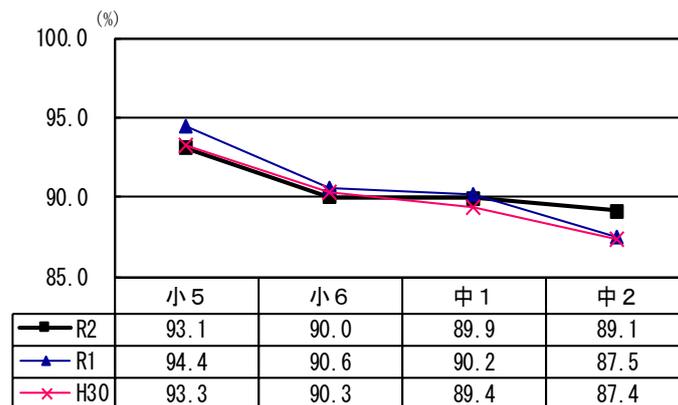


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

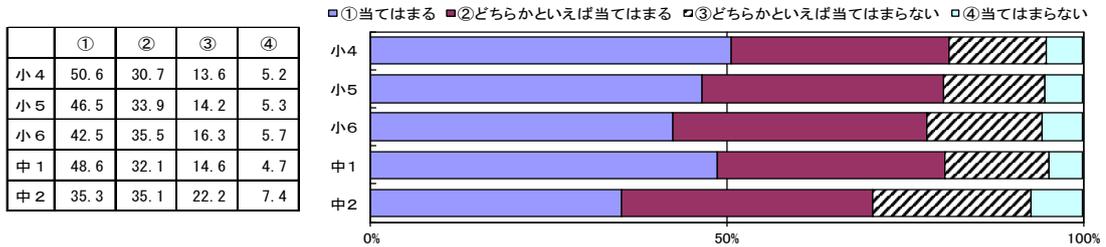
		小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	17.8%	16.2%	23.0%	23.2%
	② 分かりやすい	4.8%	4.4%	4.7%	4.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.3%	18.7%	17.9%	19.4%
	④ 生活の中で役立つ	31.9%	34.2%	23.5%	22.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	4.0%	3.0%	7.7%	8.2%
	⑥ 得意	14.6%	11.0%	9.5%	7.8%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.1%	2.4%	3.0%	3.9%
	⑧ 分かりにくい	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.5%	0.8%	0.9%
	⑫ 不得意	3.8%	5.5%	4.5%	4.1%
	⑬ その他	3.2%	3.1%	4.3%	4.6%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は小学校で90%、中学校で89%以上と全教科の中で最も高く、中学校第2学年においては、この3年間で最も高くなっている。また、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少の程度も小さい。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「生活の中で役立つ」「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高くなっている。

【外国語活動、外国語】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

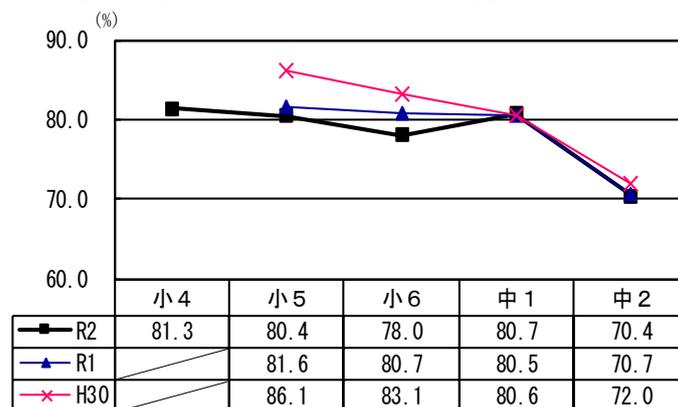


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	11.1%	12.3%	12.0%	12.3%	11.7%
	② 分かりやすい	10.5%	9.3%	8.0%	9.5%	7.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	25.8%	30.4%	33.3%	31.7%	29.8%
	④ 生活の中で役立つ	10.1%	6.9%	5.6%	4.8%	4.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	10.1%	8.8%	7.5%	7.3%	6.3%
	⑥ 得意	9.5%	8.9%	8.4%	12.1%	7.3%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.4%	2.5%	3.6%	2.1%	3.1%
	⑧ 分かりにくい	6.4%	5.7%	5.6%	4.1%	6.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.1%	1.0%	0.9%	0.9%	1.6%
	⑫ 不得意	7.4%	8.6%	10.1%	10.8%	17.3%
	⑬ その他	4.9%	5.0%	4.4%	3.6%	4.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移

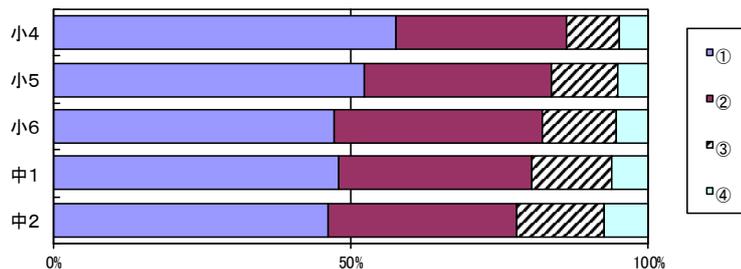


小学校は78%以上、中学校は70%以上が肯定的な回答をしているが、平成30年度と比べると小学校第5学年は5.7ポイント、小学校第6学年は5.1ポイント低くなっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。一方、小・中学校とも学年が上がるに従って、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回る傾向が見られる。また、小学校第4学年においては、「分かりにくい」の割合が、他学年や他教科と比べて高くなっている。

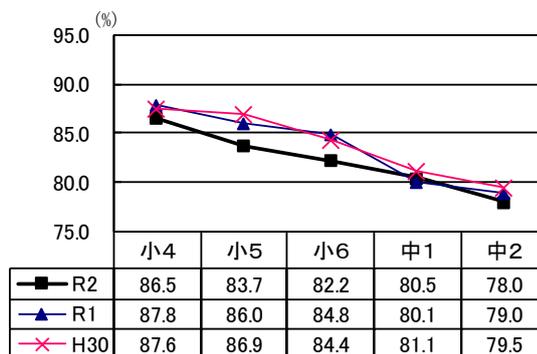
⑧ 読書について
[読書は好きだ]

	①	②	③	④
小4	57.8	28.7	8.9	4.7
小5	52.3	31.4	11.3	5.0
小6	47.2	35.0	12.4	5.4
中1	47.9	32.6	13.4	6.0
中2	46.2	31.8	14.8	7.2

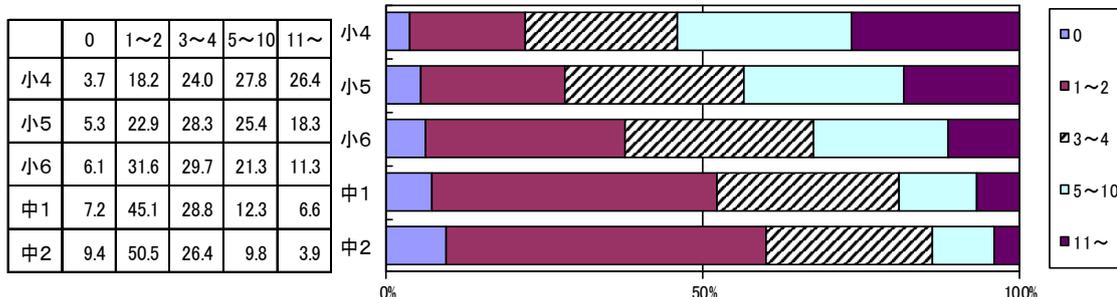
①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



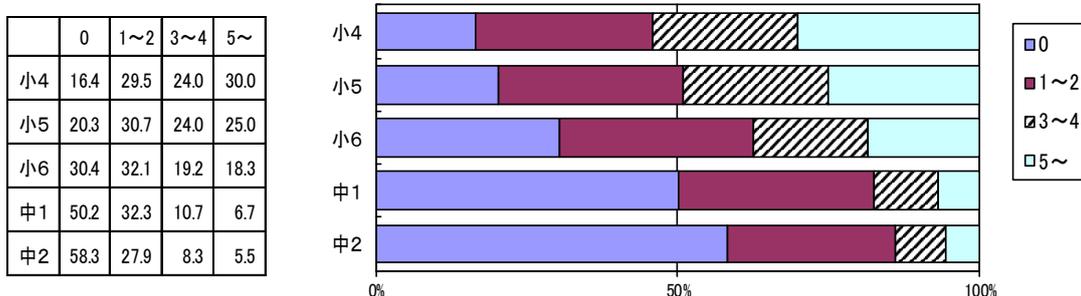
「当てはまる」「どちらかという当てはまる」の割合



[1か月に何冊くらい本を読むか (教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く)]



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]



全ての学年において、児童生徒の78%以上は読書が好きだと回答している。また、全ての学年の児童生徒の90%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では、1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が32%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館等の利用回数について、月に1回以上利用しているのは、小学校ではおよそ7割以上、中学校では4割程度である。

4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

4 結果と考察 (1)国語

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容		評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現
第 4 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
		・第3学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○		
			4)	○		
	(1)カ (1・2年)	・文の中における主語を捉えている。	5)	○		
		(3)イ (3・4年)	・ことわざの意味と使い方を理解している。	6)	○	
学 年	思 考 力、 判 断 力、 表 現 力 等	B(1)ウ (3・4年)	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	12)		○
		C(1)イ (3・4年)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	7)		○
				8)		○
				11)		○
		C(1)エ (3・4年)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	9)		○
		10)		○		

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

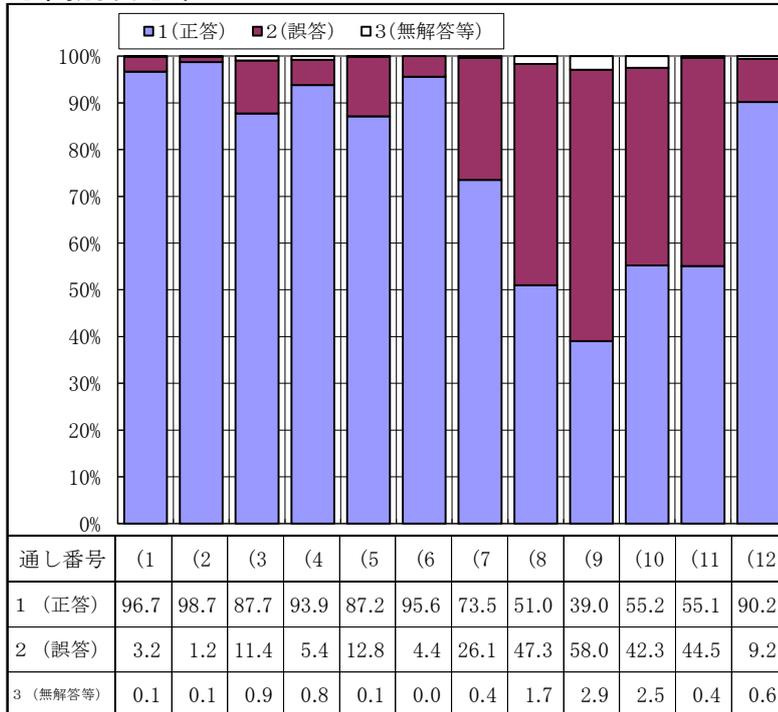
平均通過率 77.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (ぶんるい)	96.7	90.0	
(2)	漢字を読む (おぼえる)	98.7	90.0	
(3)	漢字を書く (荷物)	87.7	70.0	
(4)	漢字を書く (等しい)	93.9	80.0	
(5)	主語	87.2	70.0	
(6)	ことわざ	95.6	70.0	
(7)	叙述を基に状況を捉える	73.5	80.0	
(8)	叙述を基に状況を捉える	51.0	70.0	
(9)	登場人物の心情の変化を捉える	39.0	60.0	
(10)	登場人物の心情の変化を捉える	55.2	65.0	
(11)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	55.1	60.0	
(12)	がんばっていることとその理由を書く	90.2	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (192校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	86	130	33	78	43	72	13	5	1	5	3	64	
90%~100%	94	61	59	76	54	96	15	2	3	2		63	6
80%~90%	10	1	70	33	66	23	39	9	3	17	6	40	63
70%~80%	2		18	3	19	1	61	17	10	20	17	14	107
60%~70%			7	1	9		41	21	13	37	43	9	16
50%~60%			4	1	1		18	48	26	54	59	2	
40%~50%							4	51	43	31	37		
30%~40%			1				1	21	42	16	17		
20%~30%								14	30	9	9		
10%~20%								4	18	1	1		
0%~10%									3				

小学校4年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別			計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
		書くこと	読むこと	
+10% より高い	4	1	0	5
±10% の範囲内	2	0	3	5
-10% より低い	0	0	2	2
計	6	1	5	12

2 考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ① [知識及び技能] では、漢字を読むことや主語を捉えること、ことわざの使い方を把握することについて、指導の成果が見られる。
- ② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、自分の考えとそれを支える理由などを明確にするとともに、表現を工夫して書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

[思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、次の2点について、課題が見られる。

- ①登場人物の行動や気持ちを、叙述を基に捉えること。
- ②登場人物の気持ちの変化について、場面と結び付けて想像し、まとめること。

3 今後の指導

登場人物の行動やその背景にある気持ちを、複数の叙述に着目して捉える指導の手立てを工夫する。

- ・登場人物の行動や気持ちは、会話や行動を直接表現した叙述や、気持ちが表現されている地の文など、複数の叙述を基に捉えさせるとともに、叙述から読み取ることができる登場人物の境遇や性格も踏まえて捉えさせることが必要である。
- ・登場人物の行動や気持ちについての理解を深めるため、児童の実態に即して、叙述を基に動作化や図示する活動を取り入れ、感じたことや気付いたことを話し合わせたり、児童自身の生活経験を想起させ叙述の解釈につなげたりするなど、手立てを工夫することも有効である。

2 「参考 通し番号 8」

葉っぱらしくない とありますが、せかせかひつじが葉っぱをうまくかない理由を次のようにまとめるとき、文中から**五**字でぬき出して書きなさい。

せかせかひつじが、葉っぱをから。

複数の場面における叙述を結び付けながら、登場人物の気持ちの変化を具体的に想像して読む指導の充実を図る。

- ・複数の場面の叙述同士を関連付けたり比較したりしながら、登場人物の気持ちの変化を具体的に想像できるようにする。その際、「気持ちがどのように変化したか」「変化のきっかけは何か」「根拠となる叙述は何か」など、気持ちの変化が捉えやすくなるよう、読むための視点を明確に与えるようにする。
- ・文章を模造紙や電子黒板等で提示し、気持ちの変化に対応させて叙述を色別にマーキングするなど、変化を視覚的に捉えさせることも有効である。
- ・登場人物の気持ちの変化や出来事の推移に着目して読むことが、物語を読む上での大きな楽しみの一つであることに気付かせるなど、日常的に読書に親む態度につなげるよう指導することも大切である。

3 「参考 通し番号 9」

次は、あれ、森が、かんせいしていると書かれている前と後で、のろのろひつじの気持ちがどう変化したかについて話し合っている場面です。けんさんになったつもりで①に入るふさわしい内容を書きなさい。

けん

森の絵がかんせいしていることに気づく前、のろのろひつじは、せかせかひつじに①ことと、せかせかひつじのかいた絵が下手だと感じたことから、残念で悲しい気持ちになつていました。

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	
第 5 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
		(1)エ (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
		(2)イ (3・4年)	・漢字辞典の使い方を理解している。	5)	○	
		(1)カ (3・4年)	・主語と述語との関係について理解している。	6)	○	
		(3)ウ (5・6年)	・漢字の由来, 特質について理解している。	7)	○	
		(3)ウ (5・6年)	・漢語, 和語などの区別について理解している。	8)	○	
		(3)イ (3・4年)	・慣用句の意味と使い方を理解している。	9)	○	
	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において, 話の内容を捉え, 話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。	10)		○
		A(1)オ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において, 互いの立場を明確にしながらか話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。	11)		○
		B(1)ウ (5・6年)	・「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	16)		○
		C(1)ア (5・6年)	・「読むこと」において, 事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に捉えている。	12)		○
				13)		○
		C(1)カ (5・6年)	・「読むこと」において, 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 考えを広げている。	14)		○
C(1)ウ (5・6年)	・「読むこと」において, 書き手の論の進め方について考えている。	15)		○		

※前学年までの評価規準と評価の観点については, 小学校学習指導要領(平成29年告示)に基づき作成している。

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

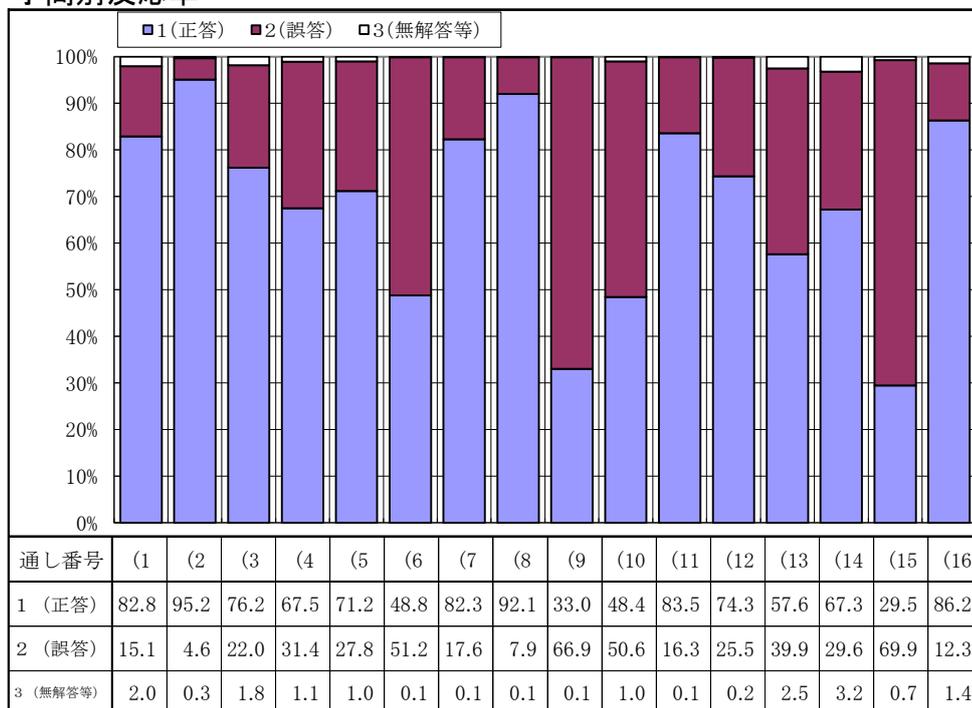
平均通過率 68.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (ぼうえき)	82.8	80.0	
(2)	漢字を読む (つげる)	95.2	90.0	
(3)	漢字を書く (観察)	76.2	70.0	
(4)	漢字を書く (寒さ)	67.5	70.0	
(5)	漢字辞典の使い方	71.2	65.0	
(6)	主語と述語との関係	48.8	60.0	
(7)	漢字の成り立ち	82.3	70.0	
(8)	和語と漢語	92.1	80.0	
(9)	慣用句	33.0	70.0	
(10)	話の内容を捉え, 考えをまとめる	48.4	60.0	
(11)	話合いの進め方について理解する	83.5	70.0	
(12)	叙述を基に事実と感想, 意見などとの関係を捉える	74.3	80.0	
(13)	叙述を基に事実と感想, 意見などとの関係を捉える	57.6	60.0	
(14)	意見や感想を共有し, 考えをまとめる	67.3	65.0	
(15)	筆者の論の進め方を捉える	29.5	65.0	
(16)	秋らしさを感じるもののよさが伝わるよう, 書き表し方を工夫して書く	86.2	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	35	66	11	6	14	7	19	34	1	6	16	4	7	5		45	
90%~100%	48	98	22	11	20	5	33	97	2	12	25	6	12	5		60	
80%~90%	42	23	56	25	43	16	73	54	2	13	98	41	14	25	2	38	17
70%~80%	27	4	54	48	38	19	41	3	4	14	36	83	22	55	1	25	68
60%~70%	25	1	32	49	41	23	20	3	6	18	14	41	36	53	4	17	91
50%~60%	13		13	43	16	29	5	2	17	29	3	14	43	28	6	6	16
40%~50%	1		3	4	12	21	1		22	30		1	27	14	19		
30%~40%				2	5	32			45	39		3	19	6	55		
20%~30%	1			3	1	23			64	17			6		71		
10%~20%					1	12			23	9			3		25		1
0%~10%	1	1	2	2	2	6	1		7	6	1		4	2	10	2	

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	1	1	0	4
±10%の範囲内	5	0	0	3	8
-10%より低い	2	1	0	1	4
計	9	2	1	4	16

2 考察

(1) 全体について

16問中12問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、漢字辞典の使い方を理解することについて、指導の改善が図られている。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」では、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように工夫して書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、主語と述語との関係を理解すること、慣用句の意味と使い方を理解することに課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと、聞くこと」では、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

3 今後の指導

語句の役割や語句相互の関係に気を付けながら、文の構成を理解する指導の充実を図る。

- ・主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係についての理解を深めるため、構造が複雑な複文や重文なども取り上げて指導する。その際には、一文を二文に分け、それぞれの文における係り受けを整理して捉えさせるなど、学習活動を工夫する。
- ・文章の内容を理解する場合だけではなく、自分が表現する際にも適切な係り受けを意識させることが大切である。表現の意図が相手に正確に伝わるよう、語句の役割や語句相互の関係に留意して表現しようとする態度を育てていく必要がある。

「参考 通し番号6）」

4 次の文の 部に対応する主語をア、エの中から一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア ひなごさんは、母親が作ったサラダを食べた。

エ

□

話の内容を的確に捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる指導を重視する。

- ・話の内容を的確に捉えた上で、自分の考えをまとめるようにするためには、話し手と自分の考えの共通点や相違点を整理したり、話の中の共感した内容や納得した事例を取り上げながら自分の考えをまとめたりするなど、話し手の考えと自分の考えを比較する経験を積み重ねることが大切である。
- ・話し言葉には、発せられた途端に消えていくという特質があることに気付かせ、必要に応じて記録や質問をしながら聞いたり、自分がもっている情報と関連付けながら聞いたりすることの習慣化を図ることが大切である。

「参考 通し番号10）」

1 A に当てはまる島田さんの発言の内容を、「話し合いの様子」をもとにして考え、□の中に書きなさい。

島田 なるほど。村木さんと今野さんの意見をまとめると、手紙には A というよさがあると言えそうですね。

□

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現		
第 6 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を正しく読んでい	1)	○		
			る。	2)	○		
		(1)ウ (5・6年)	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるととも	・第5学年までに配当されている漢字を正しく書いてい	3)	○	
				る。	4)	○	
		(3)ウ (3・4年)	・漢字が，へんやつくりなどから構成されていることにつ	いて理解している。	5)	○	
					6)	○	
		(1)カ (3・4年)	・主語と述語との関係について理解している。		7)	○	
					8)	○	
		(3)イ (3・4年)	・慣用句の意味と使い方を理解している。		9)	○	
(1)キ (5・6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。						
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自分	10)		○	
			が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え，話し手の	11)		○	
		B (1)エ (5・6年)	・「書くこと」において，グラフを用いて，自分の考えが	伝わるように書き表し方を工夫している。	18)		○
		C (1)イ (5・6年)	・「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情など	について，描写を基に捉えている。	12)		○
					13)		○
					14)		○
					15)		○
		C (1)エ (5・6年)	・「読むこと」において，表現の効果を考えている。		16)		○
	17)				○		

※前学年までの評価規準と評価の観点については，小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

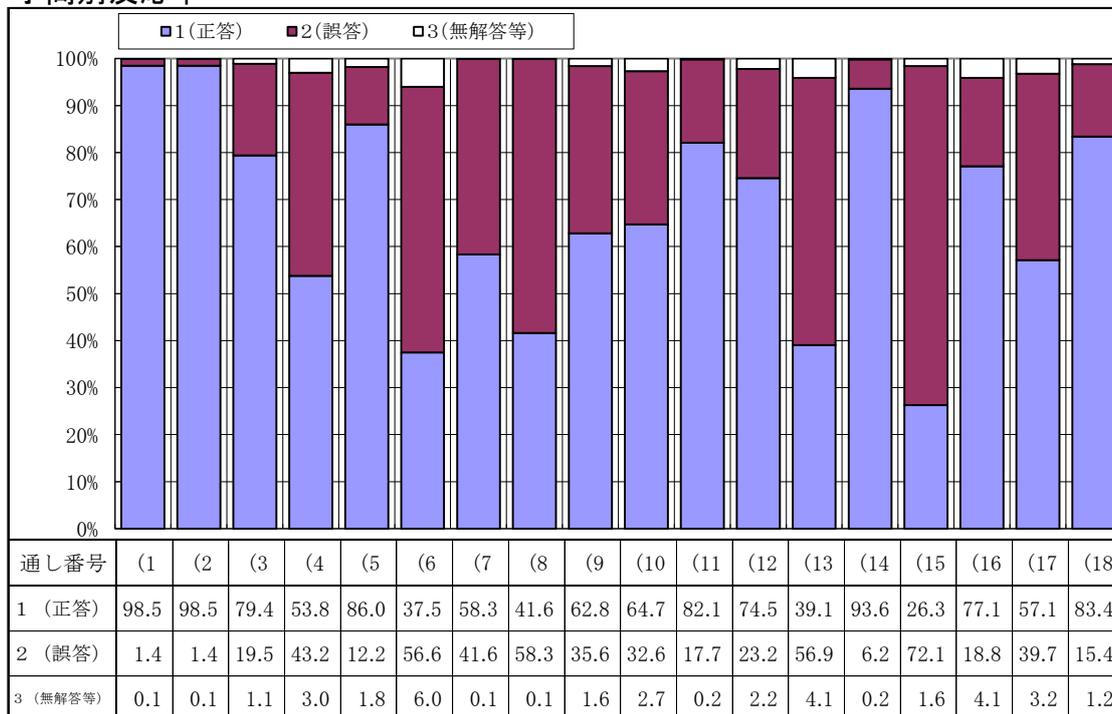
平均通過率 67.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (しげん)	98.5	90.0	
(2)	漢字を読む (そなえる)	98.5	90.0	
(3)	漢字を書く (提案)	79.4	70.0	
(4)	漢字を書く (修める)	53.8	60.0	
(5)	正しい送り仮名で漢字を書く (険しい)	86.0	70.0	
(6)	漢字の部首	37.5	60.0	
(7)	主語と述語との関係	58.3	65.0	
(8)	慣用句	41.6	70.0	
(9)	敬語	62.8	70.0	
(10)	話の内容を捉え, 質問する	64.7	70.0	
(11)	発言の仕方について理解する	82.1	80.0	
(12)	描写を基に登場人物の心情を捉える	74.5	70.0	
(13)	描写を基に登場人物の心情を捉える	39.1	60.0	
(14)	描写を基に登場人物の心情を捉える	93.6	80.0	
(15)	描写を基に過去の出来事を捉える	26.3	60.0	
(16)	表現の効果について考える	77.1	70.0	
(17)	表現の効果について考える	57.1	60.0	
(18)	グラフからわかったことを基に, 自分の考えが伝わるように書く	83.4	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	121	125	10	4	31	2	8	4	6	11	15	8	5	45		8	4	33	
90%~100%	67	63	29	4	51	2	5		6	5	19	20		106		17	6	44	1
80%~90%	4	4	62	25	72	5	23	5	27	28	91	49	7	32	2	56	9	59	17
70%~80%			56	17	23	15	24	5	25	30	48	41	2	10		63	29	29	53
60%~70%			28	31	11	12	34	13	45	46	16	52	10		8	31	42	17	95
50%~60%			4	32	3	18	47	24	41	42	4	14	16		10	13	47	5	25
40%~50%				31		25	25	46	17	21		4	42		14	2	28	2	
30%~40%			1	26		29	14	55	20	5		3	49		39	1	17	1	2
20%~30%			1	13		43	10	31	4	3			41		40		6		
10%~20%				6		26	1	9	1				15		57		4	1	
0%~10%			1	3	1	16	2	1	1	2		2	6		23	2	1	2	

小学校6年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	1	0	1	1	3
±10%の範囲内	6	2	0	3	11
-10%より低い	2	0	0	2	4
計	9	2	1	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、送り仮名に注意して正しく漢字を書くことについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、グラフから分かったことを基に、自分の考えが伝わるように書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

[知識及び技能] では、慣用句の意味や使い方についての理解に課題が見られる。

[思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、描写を基に登場人物の心情を読み取ることに課題が見られる。

3 今後の指導

慣用句などの意味や使い方についての理解を促すために、[思考力、判断力、表現力等] の各領域の学習と関連させた指導の充実を図る。

- ・学習や日常生活で出会った慣用句などの言葉の意味や使い方を「言葉の手帳」等として蓄積させ、普段の学習で必要に応じて活用できるようにする。
- ・[思考力、判断力、表現力等] の各領域の学習において実際に言葉を使うことを通して、言葉の意味や使い方についての理解を深めることができるよう指導する。その際、ことわざや慣用句などを使って話したり書いたりすることで、内容がより伝わりやすくなることや洗練された表現になることなどを実感させることが大切である。

登場人物の相互関係や心情などを、複数の描写を関係付けながら捉え、読み取ったことを適切に表現できるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・登場人物の行動や会話、情景など複数の描写を結び付けるとともに、登場人物の境遇や言動の要因なども根拠としながら、登場人物の相互関係や心情を具体的に想像できるように指導する。
- ・想像したことを互いに伝え合う際は、着目した描写を明らかにして具体的に説明させるとともに、互いの考えの共通点や相違点を基に新たな気づきを得られるよう、明確な視点に沿って比較・検討させる活動を取り入れるなど、学び合いの充実を図ることが大切である。
- ・読み取ったことを適切に表現することができるよう、キーワードを考えさせてからまとめさせたり、指定された字数の中で自分の考えを端的に表現させたりするなど、学習活動の工夫を図る。

6
【参考 通し番号 8】

次の慣用句の使い方として最もふさわしいものを、あとのア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

・目に余る

エ ウ イ ア
ケイ キの種類の多すぎて目に余る。
花束の色合いが美しく目に余る。
花見客のマナーの悪さが目に余る。
旅先での楽しい思い出が目に余る。

2
【参考 通し番号 13】

父がどれを選ぶのか、知りたくて、知りたくなくて、次のようにまとめました。□には、当てはまるふさわしい内容を**十字以内**で書きなさい。

父が選ぶ定期券の種類によって、①がわかるので、知りたいと思っ①ている。

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く こ と の 能 力	書 く こ と の 能 力	読 む こ と の 能 力	知 識 ・ 理 解 の 技 能
第 1 学 年	聞 く こ と	イ(中1)	・全体と部分、事実と意見との関係に注意した話の構成について理解している。	11)	○			
		エ(中1)	・必要に応じて質問し、自分の考えとの共通点や相違点を整理するための情報を聞き出している。	12)	○			
	書 く こ と	ウ(中1)	・自分の考えの根拠が明確になるよう、これまでの経験と関連付けて書いている。	18)		○		
	読 む こ と	イ(中1)	・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、内容を捉えている。	13)			○	
		エ(中1)	・説明的な文章の表現の特徴を捉えている。	15)			○	
		オ(中1)	・文章に表れている筆者のものの見方や考え方を捉えている。	16)			○	
				14)			○	
	国 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 化 と 事 項	(1)ウ(ア)(中1)	・小学校学習指導要領(平成20年告示)第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度の漢字を正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
		(1)ウ(ア)(小5・6)	・小学校学習指導要領(平成20年告示)第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)				○
(1)ウ(イ)(中1)		・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)				○	
(1)イ(エ)(小5・6)		・熟語の構成について理解している。	6)				○	
(1)イ(エ)(中1)		・文節の区切り方について理解している。	7)				○	
(1)イ(ウ)(中1)		・事象や行為などを表す多様な語句について理解している。	8)				○	
(1)ア(イ)(小3・4)		・慣用句の意味と使い方を理解している。	9)				○	
(1)イ(キ)(小3・4)	・主語と述語との関係について理解している。	10)				○		

中学校 1年 国語 小問別通過率と設定通過率

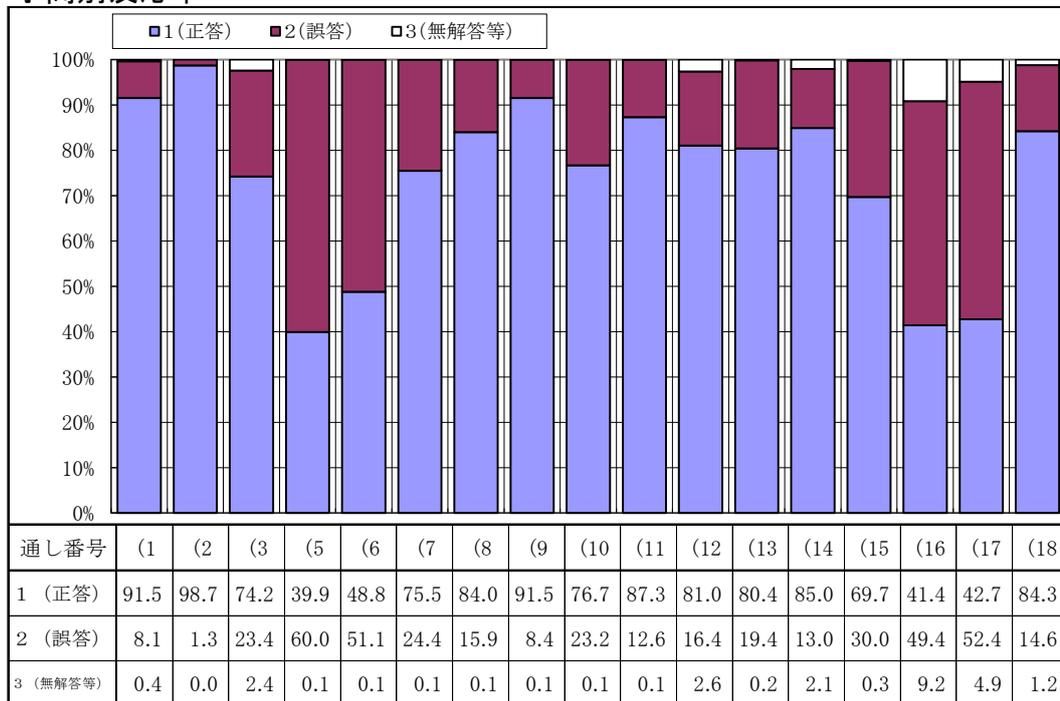
平均通過率 73.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (しゅうにん)	91.5	80.0	
(2)	漢字を読む (たずねる)	98.7	90.0	
(3)	漢字を書く (郵便)	74.2	70.0	
(5)	同じ訓をもつ漢字	39.9	60.0	
(6)	熟語の構成	48.8	60.0	
(7)	文節の数	75.5	70.0	
(8)	文脈に適した語句	84.0	70.0	
(9)	慣用句	91.5	70.0	
(10)	主語と述語との関係	76.7	75.0	
(11)	話の構成の工夫を捉える	87.3	80.0	
(12)	質問をして必要な情報を聞き出す	81.0	70.0	
(13)	段落相互の関係を捉える	80.4	80.0	
(14)	筆者のものの見方や考え方を捉える	85.0	80.0	
(15)	段落の役割を捉える	69.7	70.0	
(16)	表現の特徴を捉える	41.4	60.0	
(17)	筆者のものの見方や考え方を捉える	42.7	60.0	
(18)	大切なことを選んだ理由について、これまでの経験と関連付けて書く	84.3	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	16	70	2		1	3	7	13	8	6	5	4	9	3			14	
90%~100%	56	41	3			5	18	67	5	40	14	8	15	2			36	
80%~90%	35	1	22	2	1	39	54	30	29	51	55	50	59	8	2		25	11
70%~80%	3		42	3	4	43	27	1	50	9	21	35	25	45	2		22	79
60%~70%	3	1	27	7	15	14	4		16	5	12	13	5	38	4	6	8	20
50%~60%			12	19	32	4	2		3		2	2		12	14	26	5	2
40%~50%			3	29	33	1	1	1			1			2	34	38	2	1
30%~40%			1	26	19	4			2	2				3	35	30	1	
20%~30%			1	22	7						1				15	11		
10%~20%				3	1						2				5			
0%~10%				2				1				1			2	2		

中学校 1 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	領 域 別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	
+10%より高い	1	1	0	3	5
±10%の範囲内	1	0	3	4	8
-10%より低い	0	0	2	2	4
計	2	1	5	9	17

2 考察

(1) 全体について

- ① 17問中13問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 領域別では、昨年度と同様に「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」にやや課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「書くこと」では、自分の考えの根拠が明確になるよう、これまでの経験と関連付けて書くことについて、指導の成果が見られる。
- ② 「話すこと・聞くこと」では、質問をして必要な情報を聞き出すことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、説明的な文章の表現の特徴を捉えることや筆者のものの見方や考え方を捉えることについて、課題が見られる。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文脈に即して漢字を適切に使うことや熟語の構成を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

叙述を根拠として文章に表れた書き手のものの見方や考え方を捉えるとともに、読み取ったことを交流する活動を通して、自分のものの見方や考え方を広げる指導の充実を図る。

- ・ 説明的な文章における書き手のものの見方や考え方を捉える際は、文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分けて論の中心となる部分から判断したり、文末表現に着目して考えと事実を区別したりするなど、具体的な叙述を根拠として捉えることができるよう手立てを工夫する。
- ・ 読み取ったことを交流する際は、同じ叙述に着目しても読み手によって捉え方が異なる場合があることや、同じような考えをもっているが根拠が異なる場合があることに気付かせるなど、他者の考えを知ることで自分のものの見方や考え方を広げられるようにする。

文脈に即した漢字の使い方や熟語の構成などについて、漢字の意味や由来を基に理解を深める指導の充実を図る。

- ・ 文脈に即して漢字を適切に用いることができるよう、例えば同音異義語を取り上げ、漢字のもつ意味を考えて使い分けさせたり、漢語で言い換えさせた上でどの漢字を使うかを判断させたりするなど、学習活動を工夫する。
- ・ 熟語の構成について指導する際は、一字ずつの漢字の意味を基に考えさせたり、漢字や熟語同士がどのような関係で組み合わせられているかを基に考えさせたりする。また、三字熟語や四字熟語などについては、辞書で意味や使い方を調べさせるなどして、語彙を増やすことにつながるよう指導することも大切である。

② 「〇・〇六パーセント」という数値がもつ別の意味とは、どのような内容ですか。解答用紙にしたがい、「割合」につながるように書きなさい。

4 「話し合いの様子」のぞみ（中略）特に、「〇・〇六パーセント」という数値が、生活圏の中にある「本物の森」の割合を示しているだけでなく、別の意味をもっていることに気付かされたとき、読み手は自分の問題として危機感をもつと思うよ。

「参考 通し番号 17」

3 次のア～エの熟語の中から、成り立ちが他の熟語と異なるものを一つ選んで、記号を書きなさい。

エ ウ イ ア
苦 因 公 創
楽 果 私 造

「参考 通し番号 6」

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く す 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 の 技 能
第 2 学 年	聞 話 く す こ こ と	エ (中2)	・ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き，話している内容を捉えている。	1)	○			
		オ (中2)	・ 相手の立場や考え方を尊重した，目的に沿った話合いの進め方を理解している。	2) 3)	○ ○			
	書 く こ と	ウ (中2)	・ 自分の考えが相手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えながら文章を書いている。	18)		○		
	読 む こ と	ウ (中1)	・ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解している。	13)			○	
		ウ (中2)	・ 文章の表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめている。	14)			○	
		イ (中2)	・ 描写の効果や登場人物の言動の意味などを考え，内容を理解している。	15) 17)			○ ○	
		ア (中2)	・ 心情を表す語句や表現について理解している。	16)			○	
	国 伝 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 す 化 と 事 項	(1)ウ(ア) (中2)	・ 第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4) 5)			○ ○	
		(1)ウ(イ) (中1)	・ 小学校学習指導要領（平成20年告示）第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6) 7)			○ ○	
		(1)イ(ウ) (中1)	・ 四字熟語の意味と使い方を理解している。	8)			○	
		(1)ア(イ) (小3・4)	・ ことわざの意味と使い方を理解している。	9)			○	
		(1)イ(エ) (中1)	・ 単語の区切り方について理解している。	10)			○	
(1)イ(キ) (小3・4)		・ 主語と述語との関係について理解している。	11)			○		
(1)ア(ア) (中1)	・ 歴史的仮名遣いについて理解している。	12)			○			

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

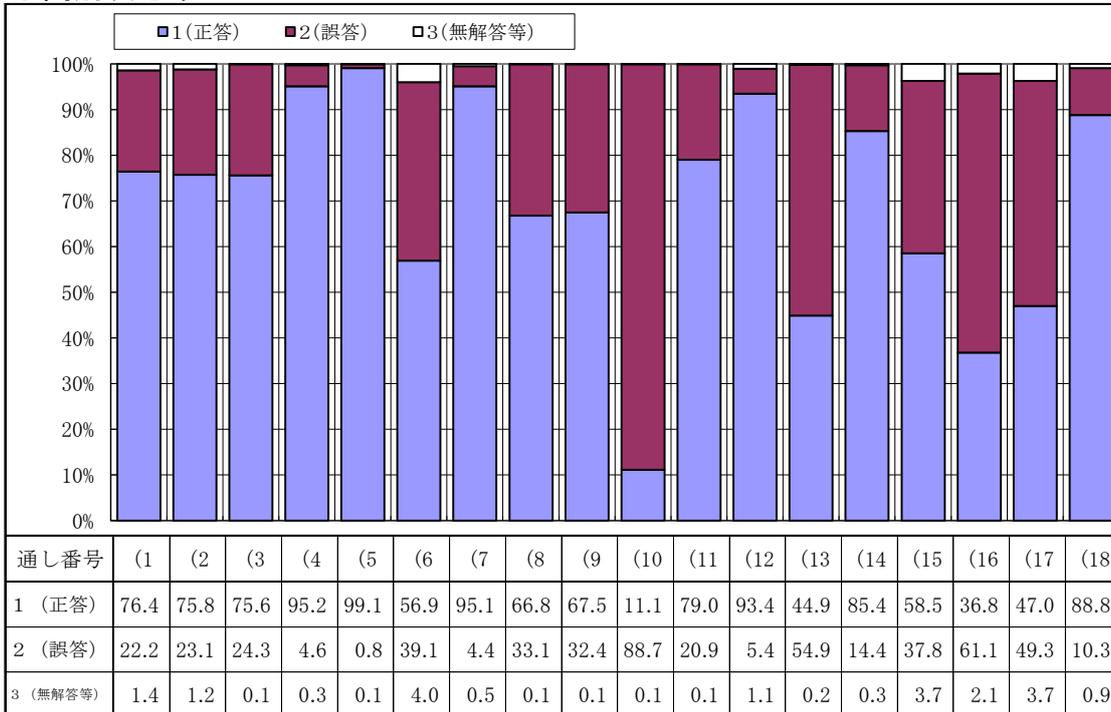
平均通過率 69.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	話の内容を捉える	76.4	80.0	
(2)	話の内容を捉える	75.8	70.0	
(3)	話合いの進め方について理解する	75.6	70.0	
(4)	漢字を読む (ゆうぜん)	95.2	80.0	
(5)	漢字を読む (かかる)	99.1	80.0	
(6)	漢字を書く (観衆)	56.9	60.0	
(7)	漢字を書く (痛い)	95.1	90.0	
(8)	四字熟語の構成	66.8	60.0	
(9)	ことわざ	67.5	70.0	
(10)	単語の数	11.1	60.0	
(11)	主語と述語との関係	79.0	80.0	
(12)	歴史的仮名遣い	93.4	80.0	
(13)	描写を基に内容を捉える	44.9	60.0	
(14)	表現の工夫を捉える	85.4	70.0	
(15)	描写の効果や登場人物の言動の意味を考える	58.5	60.0	
(16)	心情を表す表現を捉える	36.8	65.0	
(17)	登場人物の言動の意味を考える	47.0	60.0	
(18)	立場を明確にして、考えをまとめて書く	88.8	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	2	4	5	25	72	1	28	5	1		1	23		8	3		1	31	
90%~100%	12	12	4	72	40	1	72	5	2		6	66		22	2		1	44	
80%~90%	27	31	30	14	1	1	9	23	15	1	40	22		64	14	2	10	17	2
70%~80%	42	35	50	2		17	2	16	24	1	51	2		17	20	2	14	12	54
60%~70%	21	18	20			35	1	18	43		14		6	1	29	1	10	7	53
50%~60%	8	11	3			22		24	22	2	1		31		12	5	14	2	4
40%~50%	1	1	1			19		19	5	1			37	1	17	22	21		
30%~40%						13		3		5			31		13	45	20		
20%~30%						2				10			6		1	25	16		
10%~20%						1			1	28			1		1	7	4		
0%~10%		1				1	1			65			1		1	4	2		

中学校2年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	1	3	4
±10%の範囲内	3	1	1	5	10
-10%より低い	0	0	3	1	4
計	3	1	5	9	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では、「読むこと」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①「書くこと」では、自分の考えが相手に効果的に伝わるよう、説明や具体例を加えながら書くことについて、指導の成果が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み方や歴史的仮名遣いの理解などについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①「読むこと」では、文学的文章において、描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することについて、課題が見られる。
- ②古典では、場面の展開や登場人物の描写などに注意して読み、文章の内容を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えながら、文章全体を俯瞰して読むことで、内容の理解を深める指導の充実を図る。

- ・情景や人物の描写に着目して読む際は、描写が表現する内容や読み手に与える印象について、描写を個別に取り上げて考えるだけでなく、複数の描写を関連付けながら、文章全体の雰囲気づくりに与えている影響についても考えることが大切である。
- ・登場人物の言動の意味について考えるためには、場面の展開に即して、言動を整理して捉えることが必要である。その上で、どの人物の、どの言動が話の展開に大きく関わっているかを検討させたり、ある言動が話の展開や文章全体においてどのような意味をもっているかについて考えさせたりするなどの学習活動を設定する。

古典に描かれた言動や情景の描写を手掛かりにしながら、登場人物や作者の思いを豊かに想像する指導の充実を図る。

- ・原文に加えて語注や現代語訳等も手掛かりにしながら、登場人物の言動、情景描写、場面の展開等を捉えさせた上で、登場人物や作者の思いを想像させるとともに、他者との交流を通して自分の想像の妥当性を検証させることが大切である。
- ・単に古典の内容を理解させるだけでなく、古典の登場人物や作者の思いと現代の価値観とを比較させ、現代との共通点や相違点に気付かせるなど、新たな発見の喜びを感じたり、古典の世界への興味・関心を高めたりすることができるような学習活動を設定することも大切である。

4
「参考 通し番号 17」

胸のくもりが、すつと晴れていくようになった理由を次のようにまとめました。()に入るふさわしい内容を文章中の言葉を用いて二十字以内で書きなさい。

「自信をもつ」ということがどういうことか実感できていなかったが、小学校の記憶を思い出し、自分にとっての自信とは()ことだと納得することができたから。

2
「参考 通し番号 13」

あ、声が高い。低う、低う、と田夫が言った理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

ア 大変珍しい大豆であることを秘密にしたかったから。
 イ 大声だと驚いて鳩が大豆の畑から逃げたから。
 ウ 仲間の畑に勝手に大豆を蒔いている最中だったから。
 エ 大豆を蒔いていることを鳩には知られたくないから。

4 結果と考察 (2) 社会

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第3・4学年	(6) アイ	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	(6) アイ	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
	(1) ア	・公共施設の役割について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(1) ア	・地図記号と方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)	○	
	(4) ア	・複数の資料を基に、交通事故を防ぐための工夫とその影響について考え、適切に表現している。	(5)		○
	(4) イ	・人々の生活を守るために、地域の消防団などが緊急時に対処していることについて理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	(4) アイ	・生活の安全を守るための仕組みについて、資料を読み取り、適切に判断している。	(7)		○
	(4) アイ	・火災から学校を守るための仕組みについて、資料を読み取り、適切に判断している。	(8)		○
	(6) アイ	・秋田県の交通の広がりについて、地図を適切に読み取っている。	(9)	○	
	(6) アイ	・秋田県の交通の広がりについて、地図を活用してその特色を考え、適切に表現している。	(10)		○
	(5) ウ	・地域の発展に尽くした先人の働きについて理解し、その知識を身に付けている。	(11)	○	
第5学年	(1) イ(イ)	・地域によるレタスの出荷時期の違いに着目して学習問題を考え、適切に表現している。	(12)		○
	(1) イ(イ)	・農業が自然環境と深い関わりをもって営まれていることについて考え、適切に表現している。	(13)		○
	(2) ア	・米づくりの作業時間について、資料を適切に読み取っている。	(14)	○	
	(2) ア	・耕地整理による変化について、複数の資料を適切に読み取っている。	(15)	○	
	(2) イ	・米づくりの工夫とその影響について、複数の資料を基に考え、適切に表現している。	(16)		○
	(1) ア(ア)	・我が国の領土について理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	(1) イ(ア)	・世界における我が国の位置について、地図を活用して読み取り、適切に判断している。	(18)		○

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

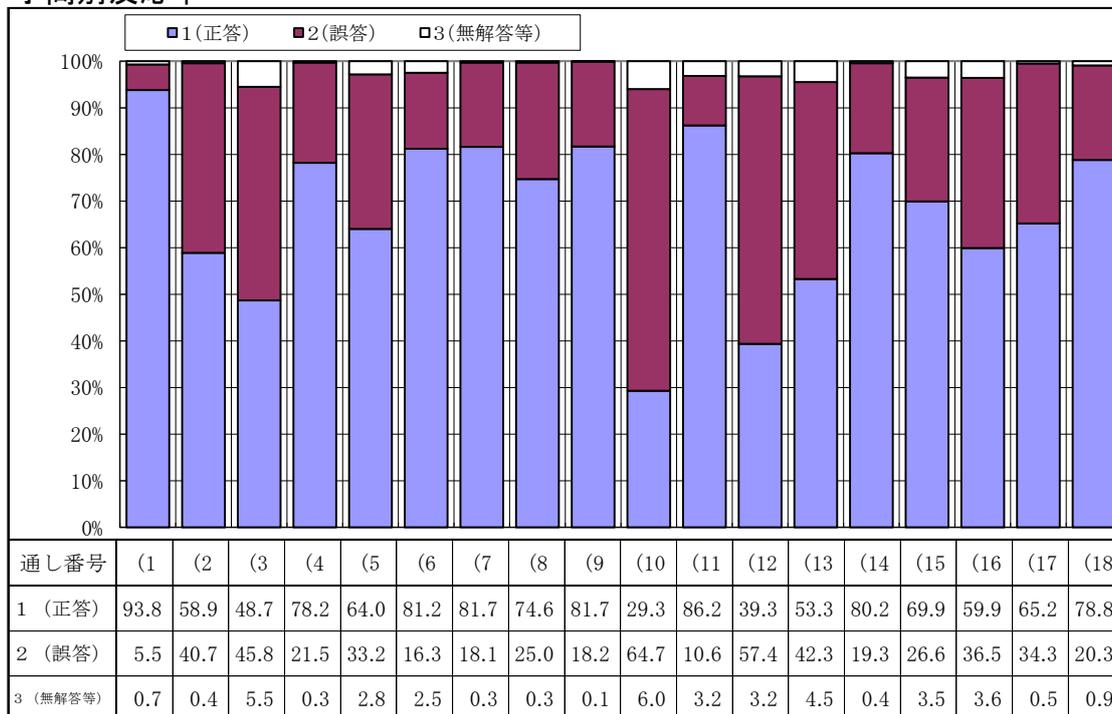
平均通過率 68.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	93.8	85.0	
(2)	地図の読み取り	58.9	65.0	
(3)	多くの市民が利用する施設	48.7	65.0	
(4)	地図記号と方位	78.2	75.0	
(5)	交通安全に備えた施設・設備の役割	64.0	70.0	
(6)	緊急時に備えた地域の人々の諸活動	81.2	70.0	
(7)	火事発生時の対応	81.7	75.0	
(8)	火事に備えた施設・設備	74.6	70.0	
(9)	秋田県の地理的環境の特色	81.7	80.0	
(10)	秋田県の交通網の広がり	29.3	60.0	
(11)	地域の発展に尽くした先人	86.2	85.0	
(12)	野菜の出荷時期と気候の関わり	39.3	60.0	
(13)	気候の特色を生かした野菜づくり	53.3	60.0	
(14)	米づくりの作業時間の変化	80.2	75.0	
(15)	耕地整理前後の変化	69.9	65.0	
(16)	米づくりにおける生産性を高める工夫	59.9	65.0	
(17)	我が国の領土	65.2	65.0	
(18)	世界における我が国の位置	78.8	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	66	5	2	19	11	30	9	10	18		59	3	5	10	10	6	8	12	
90%~100%	91	3	4	22	4	46	29	11	32	1	60	2	3	31	19	20	8	22	1
80%~90%	30	24	4	52	28	55	78	51	80	1	36	4	15	65	41	40	30	69	22
70%~80%	6	30	15	67	37	32	49	61	47	3	17	12	26	61	49	31	34	57	68
60%~70%		43	34	21	49	17	20	44	12	5	10	28	32	15	33	26	49	23	80
50%~60%		40	43	9	36	7	6	13	3	21	5	26	41	9	23	17	28	8	17
40%~50%		24	25	1	15	2		2		23	3	20	28		7	10	23	1	3
30%~40%		16	31	1	10			1		34	1	36	25	1	3	13	9		1
20%~30%		6	23		1	1				56	1	36	11		5	10	1		
10%~20%			8							34		15	4			16			1
0%~10%		2	4	1	2	3	2		1	15	1	11	3	1	3	4	3	1	

小学校5年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	共通問題	3・4年	地理的内容	
+10% より高い	1	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	8	6	4	6	4	14
-10% より低い	1	2	0	2	1	3
計	10	8	4	9	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①地図帳を活用したり地図記号などの情報を基に判断したりすることについて、位置や分布、広がりなどに着目して読み取り、全体の傾向や特色などを捉えることに指導の成果が見られる。
- ②緊急時に備えた対応などに関わる具体的な事象を、しくみや関わりなど、人々の相互関係の視点に着目して捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①秋田県の交通網の特色を捉えることについて、目的に応じた情報を選別して読み取り、関連付けて表現することに課題が見られる。
- ②自然環境を生かした産業の様子について、複数の資料を関連付け、その理由や背景などを考え、表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

社会的事象の見方・考え方を働かせて、その背景や目的、特色などを捉え、それを基に多角的に考察したり、表現したりする活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号 (12 (13) を例として)]

地形や気候に着目し、自然環境に適応して生活したり、自然環境を生かして産業を営んだりするなど、特色ある自然条件の下で暮らす人々の生活の工夫を考察させる。

○具体例

1 資料1を提示し、地域によって出荷時期が異なる事実を読み取り、本時の学習問題を設定する。

茨城県に比べて、長野県のレタスが夏の時期に多く出荷されているのはどうしてだろうか。

2 地形や気候に着目し、追究する。

- ①予想を出し合う。
- ②予想を基に、地図や資料2などの資料を用いて追究する。

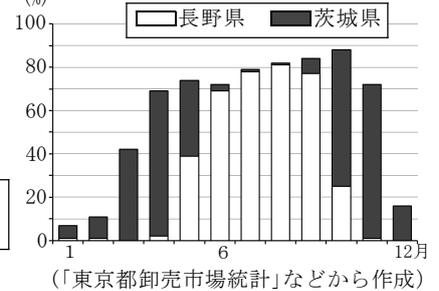
発問例

- ・長野県はどのような場所に位置しているか。
- ・特色ある自然環境をどのようにレタスの生産に生かしているのか。

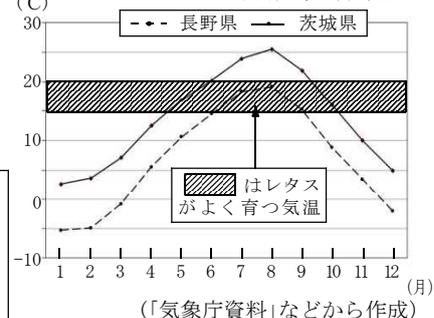
3 学習のまとめをする。

(例)レタスがよく育つ気温は15℃から20℃で、2つの県ともその気温に近い時期に合わせてレタスを生産しています。長野県のレタスが夏の時期に多く出荷されているのは、長野県のレタス生産地の多くは標高が高く、夏に涼しいという特色があり、その特色を生かして生産しているからです。

資料1 東京都に出荷されるレタスの長野県、茨城県の月別割合



資料2 長野県、茨城県のレタス生産地の月別平均気温



令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第5学年 (第3・4学年の内容を含む)	(6)◇	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	(6)◇	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
	(1)ア	・我が国の領土について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(1)ア	・世界における我が国の位置について、地図を活用して読み取り、適切に判断している。	(4)		○
	(3)イ	・我が国の工業が盛んな地域の分布について、資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(5)		○
	(5)ア	・我が国の森林資源の量の変化について、資料から適切に読み取っている。	(6)	○	
	(5)イ	・森林資源が果たす役割について、適切に表現している。	(7)		○
	(4)ア	・情報の伝え方について、複数の資料から適切に読み取っている。	(8)	○	
	(4)イ	・様々なメディアを活用して必要な情報を集めていることについて、適切に表現している。	(9)		○
第6学年	(1)ア	・日本国憲法の基本的な考え方について理解し、その知識を身に付けている。	(10)	○	
	(1)ア	・国会、内閣、裁判所の相互の関連について、資料から適切に読み取っている。	(11)	○	
	(1)ア	・国や地方公共団体の政治の働きと国民生活との関連について、資料から適切に読み取っている。	(12)	○	
	(1)イ	・国や地方公共団体の政治の取組について、資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(13)		○
	(2)ア(7)	・縄文から古墳の各時代の代表的な遺跡について理解し、その知識を身に付けている。	(14)	○	
	(2)ア(7)	・縄文から古墳の各時代の社会の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(15)	○	
	(2)イ	・縄文から古墳の各時代の生活の様子について、資料から読み取ったことと関連付けて、適切に判断している。	(16)		○
	(2)ア(イ)	・聖武天皇など奈良時代に活躍した人物について、その業績と結び付けて理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
(2)イ	・聖武天皇が行った国づくりについて、複数の資料から読み取ったことと関連付けて、適切に表現している。	(18)		○	

※◇は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

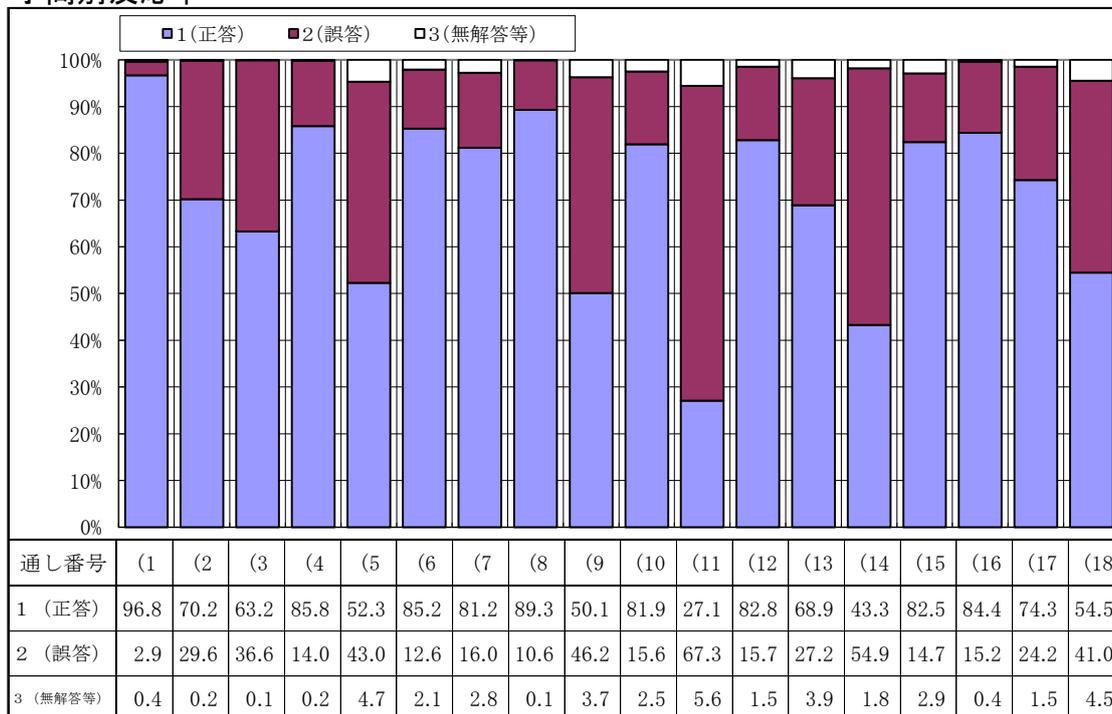
平均通過率 70.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	96.8	90.0	
(2)	地図の読み取り	70.2	70.0	
(3)	我が国の領土	63.2	70.0	
(4)	世界における我が国の位置	85.8	75.0	
(5)	我が国の工業の特色	52.3	60.0	
(6)	我が国の森林資源の量の変化	85.2	80.0	
(7)	森林資源の役割	81.2	70.0	
(8)	情報の集め方・伝え方の工夫や努力	89.3	75.0	
(9)	情報の活用の仕方	50.1	60.0	
(10)	日本国憲法の基本原則	81.9	80.0	
(11)	三権分立の仕組み	27.1	60.0	
(12)	地方公共団体と政治の動き	82.8	70.0	
(13)	政策決定の仕組み	68.9	65.0	
(14)	縄文・弥生・古墳の各時代の遺跡	43.3	60.0	
(15)	古代の住居	82.5	75.0	
(16)	縄文・弥生・古墳の各時代の生活の様子	84.4	80.0	
(17)	聖武天皇と奈良時代に活躍した人物の業績	74.3	65.0	
(18)	大仏造営の様子	54.5	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	89	11	5	27	5	28	34	33	3	35	2	30	8	3	34	20	21	5	
90%~100%	88	12	9	48	5	40	38	70	2	56		43	10		53	47	26	5	4
80%~90%	13	31	21	78	17	72	50	73	15	46	2	60	34	5	46	73	49	15	35
70%~80%	2	49	34	33	22	36	34	15	18	20	7	38	45	7	25	43	35	29	76
60%~70%		48	41	6	37	13	19		31	14	9	14	53	25	20	8	24	29	56
50%~60%		28	46	1	34	2	13	1	24	10	21	6	27	36	8	2	17	47	20
40%~50%		9	17		25		2		31	5	16		10	34	3		5	24	
30%~40%		2	16		20		2		33	2	20	1	3	42	1		9	20	1
20%~30%		1	2		21				19	2	31			32			4	14	1
10%~20%					4				11	3	26		1	6	1		1	4	
0%~10%	1	2	2		3	2	1	1	6		59	1	2	3	2		2	1	

小学校6年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	共通問題	地理的内容	歴史的内容	公民的内容	
+10% より高い	2	2	1	2	0	1	4
±10% の範囲内	7	5	3	3	4	2	12
-10% より低い	2	0	0	0	1	1	2
計	11	7	4	5	5	4	18

2 考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①世界における我が国の位置に関する学習において、地図を活用して必要な情報を読み取り、適切に判断することについて、指導の成果が見られる。

②情報の集め方・伝え方に関する学習において、従事する人々の工夫や努力に関する情報を資料から正しく読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があることについて、理解したり、資料から適切に読み取ったりすることに課題が見られる。

②縄文から古墳の各時代の代表的な遺跡について、遺跡や遺物、地図などの資料を基に理解することに課題が見られる。

3 今後の指導

社会的事象を自分たちの生活との関わりで捉え、情報を読み取ったり、まとめたりする活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号 (11 を例として)]

国会、内閣、裁判所の働きと国民との関わりについて、既習事項を基に、具体的な事例を取り上げ、自分たちの生活との関連で考えさせるとともに、図表などにまとめさせ、それを基に説明させたり、根拠や理由を明確にして議論させたりする。

○具体例

◇学習問題の例

私たちは、どのようにして自分たちの意思を政治に反映させているのだろうか。

◇学習活動の例

1 障害者差別解消法を例に、既習事項（三権のそれぞれの働き）を確認しながら、次のカードを図に貼る。

カード1 法案を審議したり、可決したりする。

カード2 障がいのある人を支えるための仕事を厚生労働省などが行う。

カード3 障がいのある人の人権が尊重されていないなどの訴えに対し、法にもとづき判断する。

2 三権と私たちの関わりについて、カードを基にグループで意見を出し合う。

発問例 国民から伸びている矢印は、それぞれどんなことを表しているのだろう。

※例えば、グループAは国会との関わりについて意見を出し、その後、他のグループと意見交流するなどの活動も考えられる。

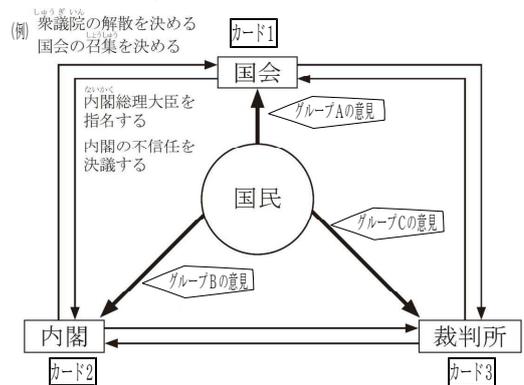
3 各グループで出した意見を全体で共有し、それを基に私たちの関わりについて考える。

4 国会と内閣を例に、三権相互の関わりについて、図の矢印の向きに着目して考える。

※考える手立てとして、教師が図の例のように具体例を挙げることも考えられる。

5 図を基に、学習のまとめをする。

図 三権と国民のつながり



◇学習活動の例1～4を通じ、児童の意見や教師の説明等を順次貼ったり、書いたりしながら、図を作成する。

◇導入で使った資料を、授業のまとめとしても活用する。

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
小学校第6学年	(1)キ	・明治政府が行った諸改革や工業の近代化について、資料からの確に読み取っている。	(1)		○	
	(1)ク	・近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことについて理解し、その知識を身に付けている。	(2)			○
	(1)ケ	・我が国の戦後の復興と経済の発展について理解し、その知識を身に付けている。	(3)			○
	(1)ケ◇	・公害が起こった都道府県の位置を理解し、その知識を身に付けている。	(4)			○
	(2)ア	・国や地方公共団体の政治の働きと国民生活との関連について、資料からの確に読み取っている。	(5)		○	
	(2)イ	・日本国憲法の基本的な考え方について、適切に表現している。	(6)	○		
	(2)イ	・国会、内閣、裁判所の三権を示した図を基に、三権分立の仕組みについて考察し、適切に表現している。	(7)	○		
	(3)イ	・我が国の国際協力の現状について、資料からの確に読み取っている。	(8)		○	
中学校地理的分野	(1)ア	・世界の地域構成を大観して大陸や州の位置と名称を理解し、その知識を身に付けている。	(9)			○
	(1)ア	・地球儀の模式図を活用して、日本の位置を的確に読み取っている。	(10)		○	
	(1)イ	・冷帯の気候や自然条件について、資料からの確に読み取っている。	(11)		○	
	(1)イ	・冷帯に暮らす人々の生活の工夫について、資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(12)	○		
中学校歴史的分野	(2)ア	・世界の古代文明の特色について理解し、その知識を身に付けている。	(13)			○
	(2)ア	・世界の古代文明がおこった背景について、資料を基に考察し、その理由を適切に表現している。	(14)	○		
	(2)ア	・歴史の大きな流れについて、各時代の特色を比較しながら考察し、その結果を適切に表現している。	(15)	○		
	(2)ア	・大和朝廷による統一の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(16)			○
	(2)イ	・古代の政治の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(17)	○		
	(2)イ◇	・政治の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(18)			○

※◇は〔第3学年及び第4学年〕2内容(6)アの47都道府県の名称と位置に関する内容も含まれる。

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

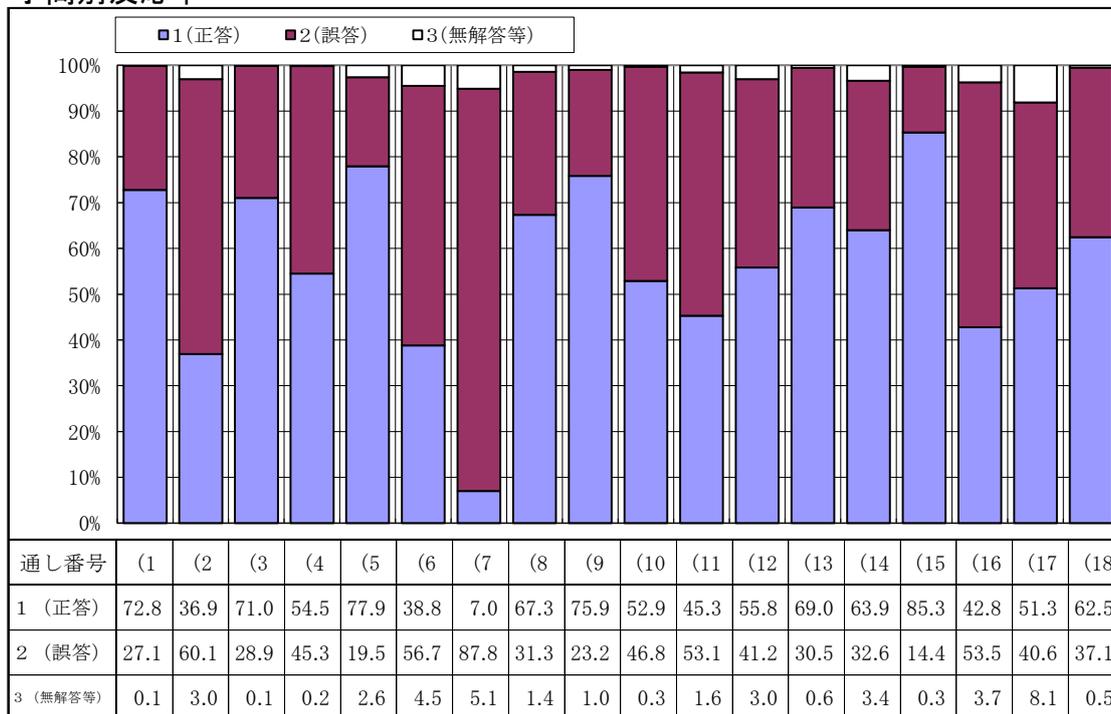
平均通過率 57.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	明治政府による工業の近代化	72.8	70.0	
(2)	富国強兵の目的	36.9	65.0	
(3)	我が国の復興と経済の発展	71.0	75.0	
(4)	公害が起こった都道府県の位置	54.5	70.0	
(5)	復旧・復興に向けた政治の働き	77.9	80.0	
(6)	日本国憲法の基本原則とその考え方	38.8	70.0	
(7)	三権分立の仕組み	7.0	70.0	
(8)	我が国の国際協力の様子	67.3	65.0	
(9)	州の名称と位置	75.9	80.0	
(10)	地球上の我が国の位置	52.9	60.0	
(11)	冷帯の気候の特色	45.3	70.0	
(12)	冷帯に暮らす人々の生活の工夫	55.8	65.0	
(13)	古代文明で使われた文字	69.0	75.0	
(14)	古代文明のおこり	63.9	70.0	
(15)	歴史の大きな流れと各時代の様子	85.3	85.0	
(16)	大和政権による統一の様子	42.8	60.0	
(17)	古代の政治の特色	51.3	60.0	
(18)	古代の政治の中心地	62.5	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	6	1	5		7	1		5	6		1	1	1	5	11		2	2	
90%~100%	4		1		17			9	10			5	1	4	20	1	1	1	
80%~90%	24	5	13	1	32	4		22	25	4	2	13	18	20	59	1	10	9	
70%~80%	40	7	45	7	40	3		20	38	9	2	13	34	13	19	1	10	26	7
60%~70%	28	11	38	34	12	5		20	24	23	14	22	34	30	2	16	19	30	34
50%~60%	9	9	9	39	2	10		19	6	32	21	17	18	19	2	10	19	29	53
40%~50%	2	8		23		23		7	3	28	33	13	5	12		30	19	9	18
30%~40%		16	2	7	3	32	3	6	1	13	24	10	2	6		35	23	6	1
20%~30%		32		2		19	2	4		4	9	7		3		15	6		
10%~20%		20				10	21				4	9				4	4		
0%~10%		4				6	87	1			3	3		1				1	

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	4	4	4	4	3	5	12
－10% より低い	2	1	3	4	1	1	6
計	6	5	7	8	4	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中6問が設定通過率の「－10%より低い」という結果で、特に小学校における学習内容の定着状況に課題が見られる。

(2) 成果

- ①我が国が国際社会において果たしている役割を、グラフや写真などの資料から適切に読み取ることについて、指導の改善が図られている。
- ②我が国の歴史の大きな流れを、各時代の社会の様子や文化の特色などを比較しながら考察し、その結果を適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①地図帳や地球儀、統計などの基礎的資料から、社会的事象についての有用な情報を選択して読み取り、それらを関連付けて考察し、表現することに課題が見られる。
- ②大和朝廷による統一の様子や古代における政治の中心地について、年表や地図などの資料を基に理解することに課題が見られる。

3 今後の指導

地図帳や地球儀、統計などの基礎的資料から、社会的事象についての有用な情報を選択して読み取り、比較・関連付け・総合しながらまとめる活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(11 (12を例として)]

異なる自然環境ながら似通った生活の工夫が行われている事例を基に、自然環境と生活との関わりを考察させる。

○具体例

- 1 地図を見て、アマゾン川流域とシベリアがどこに位置し、どのような場所なのかを発表する。
- 2 それぞれの場所に見られる住居の写真1、2を見て、問いをもつ。

自然環境が異なるのに、なぜ同様の高床式の住居が見られるのだろうか。

- 3 異なる環境下で、類似の生活の工夫が見られる理由を考える。

- ①個でその理由を予想する。
- ②図を基に、それぞれの気候区分を調べる。
- ③自然及び社会的条件などに着目してグループで調べ、発表する。

- 4 学習のまとめをする。

(例)

場所(気候)	アマゾン川流域(熱帯)	シベリア(冷帯)
高床式の住居が見られる理由	水害を防いだり暑さや湿気に対応したりするため。	永久凍土が解けても住居が傾かないようにするため。
学習課題に対する自分の考え	高床式の住居がどちらにも見られるが、建てられた理由には違いがあった。このように、人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然や社会的条件から影響を受けている。	

写真1 アマゾン川流域に見られる住居

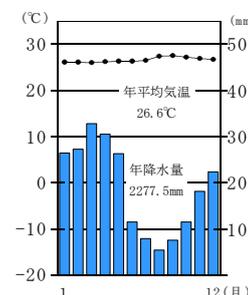


写真2 シベリアに見られる住居

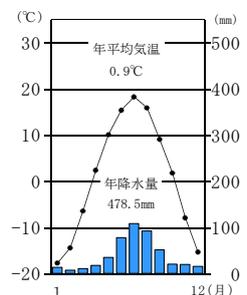


図 気温と降水量

アマゾン川流域のある地点



シベリアのある地点



(「理科年表平成29年」から作成)

分野	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考・判断・表現	技能	知識・理解
地理的分野	(1)	・アジア州の区分を地図上で理解し、その知識を身に付けている。	(1)			○
	(1)	・地球儀の模式図を活用して、日本の位置を的確に読み取っている。	(2)		○	
	(1)	・地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を、的確に読み取っている。	(3)		○	
	(1)	・気候や住居などの特色について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(4)	○		
	(2)	・日本の領域の特色について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(5)	○		
	(1)	・世界の各州の地域的特色を、諸条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(6)			○
	(1)	・オーストラリアの歴史について、年表からの的確に情報を読み取っている。	(7)		○	
	(1)	・オーストラリアとアジア州の結び付きについて、資料を基に考察し、適切に表現している。	(8)	○		
	(2)	・日本の工業の特色について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(9)	○		
	(2)	・日本の農業の特色を、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(10)	○		
歴史的分野	(2)	・律令国家の下で作成された戸籍について、情報を的確に読み取っている。	(11)		○	
	(2)	・古代の政治の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(12)	○		
	(3)	・鎌倉幕府の支配が全国に広まる過程を、資料から読み取れることを関連付けて考察し、適切に表現している。	(13)	○		
	(3)	・応仁の乱後の社会について、資料から各地の支配の様子を読み取り、適切に表現している。	(14)	○		
	(3)	・中世の文化を示す資料を、適切に選択している。	(15)		○	
	(4)	・江戸幕府の政治改革について理解し、その知識を身に付けている。	(16)			○
	(4)	・資料から、百姓一揆や打ちこわしの発生状況と農村の変化を、的確に読み取っている。	(17)		○	
	(4)	・北方の調査が行われた理由について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(18)	○		

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

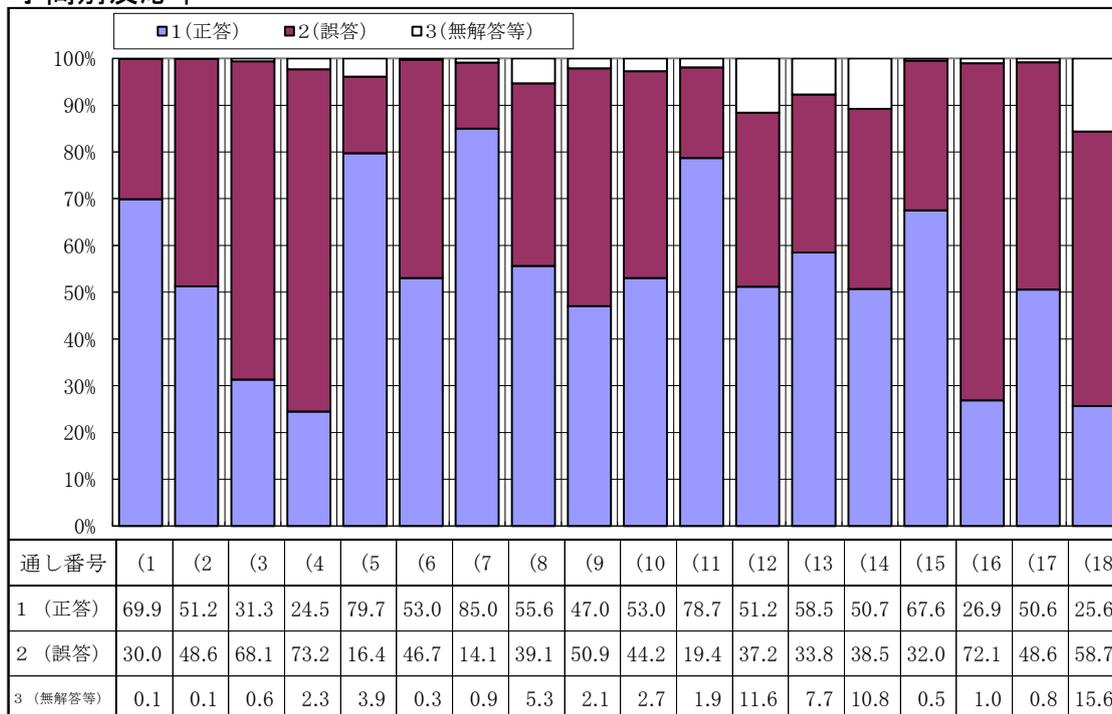
平均通過率 53.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	アジア州の区分	69.9	75.0	
(2)	地球上の我が国の位置	51.2	65.0	
(3)	地球上の正反対の位置	31.3	70.0	
(4)	乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫	24.5	70.0	
(5)	我が国の領域の特色	79.7	85.0	
(6)	各州の小麦の生産量と原油の消費量	53.0	60.0	
(7)	オーストラリアの歴史	85.0	85.0	
(8)	オーストラリアとアジア州の結び付き	55.6	65.0	
(9)	我が国の工業の特色	47.0	65.0	
(10)	我が国の農業の特色	53.0	60.0	
(11)	戸籍の整備	78.7	85.0	
(12)	古代の政治の特色	51.2	65.0	
(13)	鎌倉幕府の支配の様子	58.5	65.0	
(14)	応仁の乱後の社会	50.7	60.0	
(15)	中世の文化	67.6	75.0	
(16)	江戸幕府の政治改革	26.9	70.0	
(17)	百姓一揆や打ちこわしの発生と農村の変化	50.6	75.0	
(18)	外国船の接近と江戸幕府の対応	25.6	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%		1			12		8	1	2		3	1	5	2	5	1			
90%~100%	3				30		28	4	6	7	9	4	5	2	1				
80%~90%	12	2			26	3	54	11	12	13	45	8	14	3	16	1	1		
70%~80%	37	12		1	22	8	18	14	15	14	36	12	18	9	28	2	8		4
60%~70%	45	16	3	1	14	26	5	22	9	16	15	18	19	30	43	1	10	3	27
50%~60%	11	31	6	2	5	31		14	13	17	5	17	21	26	16	10	39	2	44
40%~50%	3	35	19	17	2	25		19	16	13		27	12	15	4	12	35	13	30
30%~40%		9	30	23		17		16	11	12		11	9	8		12	15	25	8
20%~30%		6	42	32	1	2		10	5	15		6	7	10		26	2	33	
10%~20%			8	20					12	3		7	1	5		38	1	22	
0%~10%	2	1	5	17	1	1		2	12	3		2	2	3		9	1	14	

4 結果と考察 (3)算数、数学

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	A 数 と 計 算	(3)ア (イ)	・数量の関係を捉え、倍の計算に乘法を用いることができる。	(9)	○	
		(5)ア (ア)	・小数の構成について理解している。	(6)	○	
		(5)ア (イ)	・1/10の位までの小数の減法で、(整数)－(小数)の場合の計算ができる。	(2)	○	
		(6)ア (ア)	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(11)	○	
		(7)ア (ア)	・問題場面を△を用いて式に表したり、未知の数量を求めたりすることができる。	(13)	○	
	B 図 形	(1)ア (ウ)	・円と正方形の関係に着目し、円の半径の長さを利用して、正方形の一辺の長さを求めることができる。	(8)	○	
		(1)イ (ア)	・辺の長さに着目して、正三角形になることを説明することができる。	(12)		○
	C 測 定	(1)ア (ア)	・長さや重さ、かさの単位について理解している。	(15)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ (ア)	・グラフと示された情報を関連付けて考え、判断することができる。	(17)		○
	第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア (ア)	・十進位取り記数法の意味を理解している。	(5)	○
(3)ア (イ)			・3位数を1位数で割る計算ができる。	(1)	○	
			・比較量と倍から、除法を用いて基準量を求めることができる。	(4)	○	
(3)ア (ウ)			・除法について、(除数)×(商)+(余り)=(被除数)の関係を理解している。	(7)	○	
(3)イ (ア)			・問題場面に合わせて除法の余りの処理について考えることができる。	(10)		○
			・除法に関して成り立つ性質を用いて、計算の工夫を考えることができる。	(16)		○
B 図 形		(5)ア (イ)	・180°より大きい角度を求めることができる。	(3)	○	
			・三角定規の角を組み合わせてできた角の大きさを求めることができる。	(14)	○	
D デ ー タ の 活 用		(1)イ (ア)	・折れ線グラフから読み取った情報について、説明することができる。	(18)		○

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

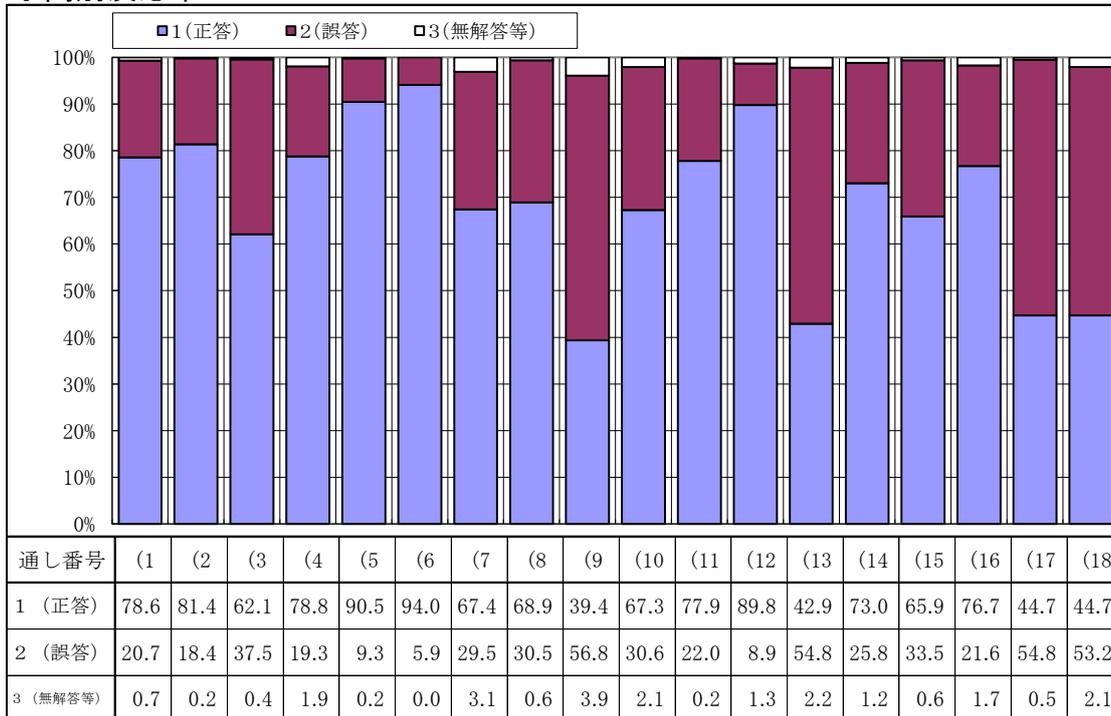
平均通過率 69.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(3位数) ÷ (1位数) の計算	78.6	85.0	
(2)	小数の減法	81.4	85.0	
(3)	180° より大きい角度の測定	62.1	70.0	
(4)	基準量に当たる大きさの計算	78.8	70.0	
(5)	十進位取り記数法の意味理解	90.5	85.0	
(6)	小数の構成	94.0	90.0	
(7)	被除数、除数、商及び余りの間の関係	67.4	65.0	
(8)	円の性質	68.9	75.0	
(9)	乗法の立式	39.4	65.0	
(10)	除法の余りの処理	67.3	65.0	
(11)	分数の意味理解と表現	77.9	70.0	
(12)	正三角形の性質	89.8	70.0	
(13)	△を用いた式	42.9	65.0	
(14)	二枚の三角定規でつくる角の大きさ	73.0	75.0	
(15)	量の単位換算	65.9	65.0	
(16)	除法の性質	76.7	70.0	
(17)	棒グラフの読み取り	44.7	60.0	
(18)	折れ線グラフの読み取り	44.7	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (192校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	28	29	5	18	44	60	8	13	2	6	26	44	2	12	6	15	1	3	
90%~100%	34	50	6	24	69	96	11	11	1	7	40	76	3	12	7	16		2	4
80%~90%	50	45	19	59	69	31	30	43	1	27	57	52	8	40	24	58	8	4	29
70%~80%	39	35	35	54	7	4	41	48	5	39	23	11	10	54	40	59	6	15	61
60%~70%	17	22	47	21	2	1	51	35	12	66	19	3	24	50	58	32	18	21	77
50%~60%	14	8	42	14	1		31	25	23	34	12	3	33	21	40	10	36	21	20
40%~50%	7	2	26	1			12	9	49	11	8	2	24	3	12	2	52	47	1
30%~40%	3		9	1			6	6	54	2	4		33		4		45	43	
20%~30%		1	3				2		28		1		44		1		22	26	
10%~20%								1	12		1		8				2	6	
0%~10%								1	5		1	1	3				2	4	

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係測定	データの活用	
設定通過率の +10% より高い	0	1	0	1	0	0	1
±10% の範囲内	1 1	2	9	3	1	0	1 3
-10% より低い	2	2	2	0	0	2	4
計	1 3	5	1 1	4	1	2	1 8

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では「図形」は良好であるが、「データの活用」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①分数の意味や分数の表し方を理解することについて、改善が図られている。
- ②除法に関して成り立つ性質を用いて計算の工夫を考えることについて、改善が図られている。

(3) 課題

- ①数量の関係を捉え、倍の計算に乘法を用いることについて、課題が見られる。
- ②折れ線グラフから読み取った情報を基に説明することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

求めた数量が何を表しているのかを明らかにしたり、複数の求め方を比較・検討したりする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(9)】 平均通過率39.4% (設定通過率65%)

次の【問題】について、ゆうきさんとゆみさんが下のようにそれぞれ考えています。ゆみさんの考えの **ア** にあてはまる式を の中に書きましょう。

【問題】
同じ重さのビー玉が1ふくろに3こ入っていて、重さをはかったら、99gでした。このビー玉24こ分の重さは何gですか。ただし、ふくろの重さは考えないものとします。

ゆうきさん はじめに、ビー玉1こ分の重さを求めると、 $99 \div 3 = 33$ になります。だから、 33×24 を計算すれば答えが求められます。

ゆみさん はじめに、何ふくろで24こになるかを求めると、 $24 \div 3 = 8$ となります。だから、**ア** を計算すれば答えが求められます。

- ・ゆうきさんの考えた式に着目させ、例えば、「33は何を表しているか」を問うなどして、求めた数量が何を表しているのかを明らかにすることが大切である。
- ・自分の求め方と違う求め方を理解したり、複数の求め方を比較・検討したりする学び合いの充実を図ることが重要である。
- ・学び合いの後に、自分の求め方と違う求め方で解かせるなどして、学びの広がりや深まりを実感できる時間を設定することが必要である。

折れ線グラフから情報を読み取る学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(18)】 平均通過率44.7% (設定通過率60%)

次のグラフは、ある年の1年間の東京の気温のかわり方を表したものです。

【あおいさんのノート】
気温の変わり方が前の月と比べたときに最も大きい月は、11月で、10月とくらべて、気温が8度下がっています。

あおいさんがノートに書いたことを参考にし、気温の変わり方が前の月と比べたときに最も小さい月について、「気温の変わり方が前の月とくらべたときに最も小さい月は、」の後に続けて「」の中に書きましょう。

あおいさんは、上のグラフを見てわかったことについて、ノートにまとめました。

- ・グラフの一目盛りの大きさ、変化量、最大値、最小値など、折れ線グラフから読み取ったことを伝え合う場を充実させ、必要な情報やグラフの特徴を自ら読み取ることができるようにすることが大切である。
- ・折れ線グラフの変化について、グラフの傾きの大きさに着目する、縦の目盛りの数を数える、変化前後の値の差を求めるなど、多様な求め方を比較・検討させる中で、グラフから読み取った数値と傾きを関連付けて変化の大きさを捉えさせることが重要である。

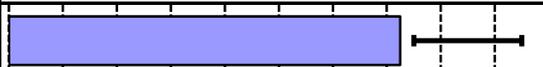
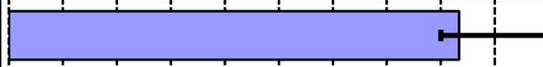
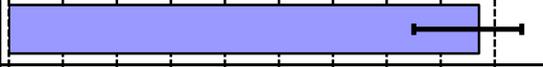
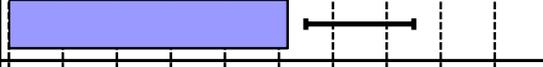
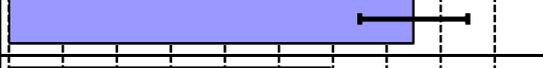
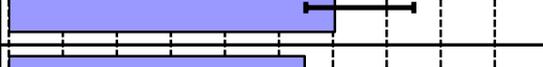
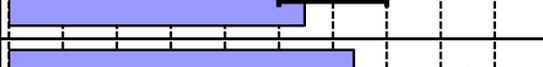
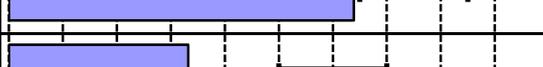
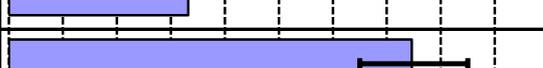
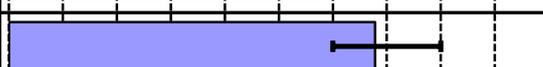
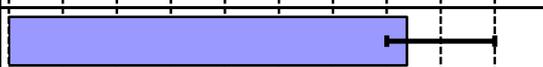
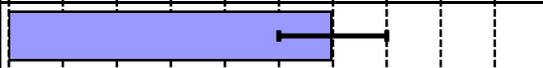
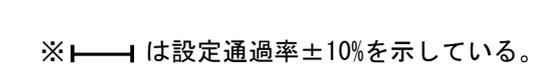
令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(2)ア(イ)	・概数で表したときの整数の範囲を、「以上」「未満」を用いて表すことができる。	(12)	○	
		(3)ア(イ)	・3位数を1位数で割る計算ができる。	(2)	○	
		(5)ア(イ)	・(整数)－(分数)の計算ができる。	(1)	○	
		(6)ア(ア)	・計算の順序を考え、適切に()を用いることができる。	(13)	○	
		(7)イ(ア)	・計算の工夫を読み取り、それを用いて異なる数値の計算の仕方を考えることができる。	(18)		○
	B 図 形	(1)ア(イ)	・四角形の性質を理解している。	(8)	○	
		(2)ア(イ)	・直方体の面と辺の垂直の関係を理解している。	(5)	○	
		(4)イ(ア)	・示された図形の面積の求め方を解釈し、求め方を言葉や数を用いて説明することができる。	(16)		○
		(5)ア(イ)	・二枚の三角定規でつくる角の大きさを求めることができる。	(15)	○	
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・表や図を基に、伴って変わる2つの数量の関係を表す式を考えることができる。	(11)		○
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(2)イ(ア)	・小数の表し方を十進位取り記数法を基に考えることができる。	(7)		○
		(3)ア(ア)	・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(4)	○	
			・小数の除法における除数と商の大きさの関係を理解している。	(9)	○	
	(3)ア(イ)	・1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。	(3)	○		
	B 図 形	(1)イ(ア)	・合同な三角形をかくために必要な条件を考えることができる。	(10)		○
		(4)ア(ア)	・1m ³ と1cm ³ の単位の関係を理解している。	(14)	○	
		(4)イ(ア)	・図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方の式を考え、判断することができる。	(17)		○
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・表を基に、簡単な場合の比例の関係を考え、判断することができる。	(6)		○

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

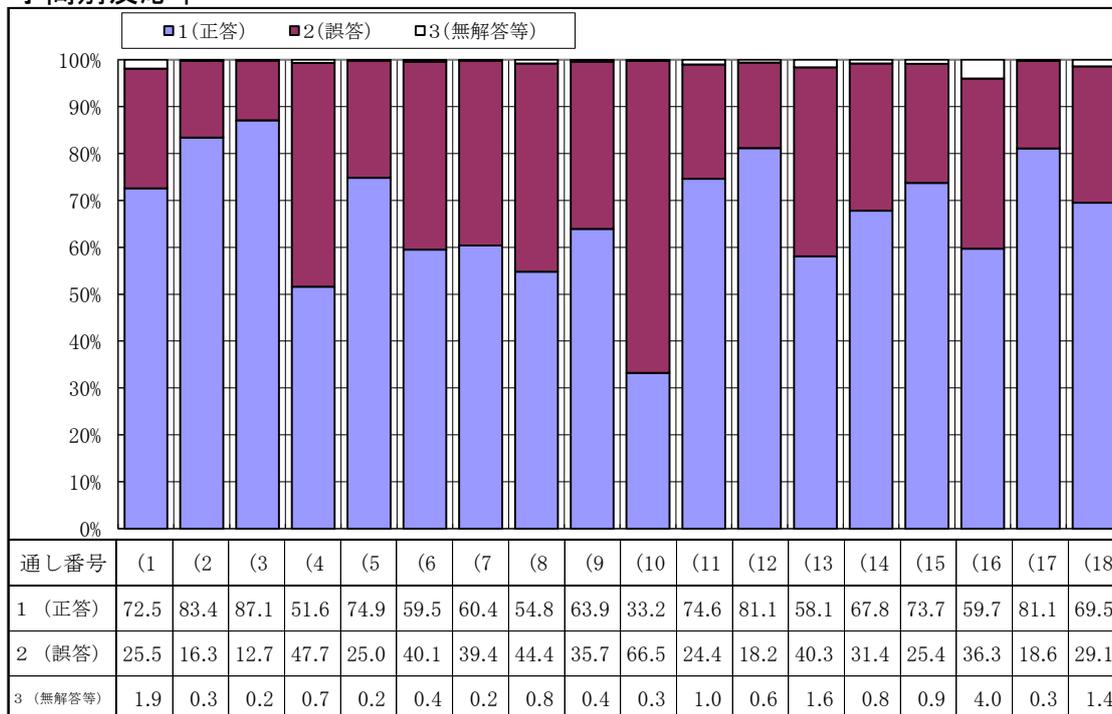
平均通過率 67.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(整数) - (分数) の計算	72.5	85.0	
(2)	(3位数) ÷ (1位数) の計算	83.4	90.0	
(3)	(小数) × (小数) の計算	87.1	85.0	
(4)	基準量の求め方	51.6	65.0	
(5)	直方体の面と辺の位置関係	74.9	75.0	
(6)	比例の関係	59.5	65.0	
(7)	小数の仕組み	60.4	65.0	
(8)	四角形の性質	54.8	60.0	
(9)	除数と商の大きさの関係	63.9	75.0	
(10)	三角形の合同条件	33.2	60.0	
(11)	伴って変わる数量の関係の読み取り	74.6	75.0	
(12)	四捨五入する数の範囲	81.1	75.0	
(13)	() を用いた計算のきまり	58.1	70.0	
(14)	1 cm³ と 1 m³ の単位の関係	67.8	70.0	
(15)	二枚の三角定規でつくる角の大きさ	73.7	80.0	
(16)	複合図形の面積の求め方	59.7	60.0	
(17)	直方体を組み合わせた立体の体積の求め方	81.1	70.0	
(18)	計算の工夫	69.5	70.0	

※  は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	9	25	34	4	11	5	4		7		12	32	4	8	11	1	19	10	
90%~100%	14	33	61	7	21	3	8	1	2		24	41	3	15	20	6	28	7	1
80%~90%	44	70	65	14	43	7	27	5	16	1	46	57	11	30	39	18	75	34	23
70%~80%	53	41	25	27	54	26	32	23	42	5	47	33	31	44	64	30	51	49	62
60%~70%	45	19	4	19	39	58	39	43	60	7	41	13	40	49	35	44	13	51	66
50%~60%	19	4	2	35	20	53	45	64	48	33	16	11	50	30	19	47	7	27	35
40%~50%	5			23	1	20	13	39	13	24	1	3	35	6	3	27		9	5
30%~40%	1			29		12	15	11	2	42	1	1	15	8		12		4	
20%~30%	1		1	26	1	6	5	4	1	46	1	1	3	2		5			
10%~20%				7		1	1			25	1								
0%~10%	2	1	1	2	3	2	4	3	2	10	3	1	1	1	2	3		2	1

小学校5年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		領 域 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	
＋10% より高い	0	1	0	1	0	1
±10% の範囲内	7	5	5	5	2	12
－10% より低い	4	1	4	1	0	5
計	11	7	9	7	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中13問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別では「知識・技能」にやや課題が見られる。領域別では「数と計算」の設問において、9問中4問が設定通過率の「－10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①直方体の面と辺の垂直の関係を理解することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②表や図を基に、伴って変わる2つの数量の関係を表す式を考えることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

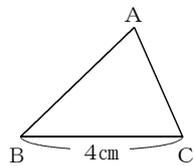
- ①合同な三角形をかくために必要な条件を考えることについて、課題が見られる。
- ②計算の順序を考え、適切に()を用いることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

合同な三角形を見付けたり、かいたり、つくったりする活動を通して、三角形の形や大きさが一つに決まる要素を考える学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(10) 平均通過率33.2% (設定通過率60%)

三角形ABCと合同な三角形をかくために、辺の長さや角の大きさを調べることにしました。右の図のように辺BCの長さを調べたとき、あと2つ、どこどこを調べると合同な三角形をかくことができますか。次のア～エから2つ選んで、その記号を の中に書きましょう。



- ア 辺ABの長さと角Aの大きさ
- イ 辺ABの長さと辺ACの長さ
- ウ 辺ACの長さと角Bの大きさ
- エ 辺ACの長さと角Cの大きさ

- ・合同な三角形をかくためには何に着目してどのような方法でかけばよいのかを話し合ったり、基になる三角形の辺の長さや角の大きさを測ったりする活動を通して、三つの頂点の位置を決める必要があることを実感を伴って理解できるようにする。
- ・合同な三角形をかくことができる場合だけを取り上げるのではなく、あえて合同な三角形をかくことができない場合を取り上げ、実際にかいてみるなどの活動を通して、三角形の形や大きさが一つに決まる要素の理解を深めることも有効である。

具体的な問題場面を設定して、()を用いて数量の関係をひとまとまりとして表すことができるよさを実感できる学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(13) 平均通過率58.1% (設定通過率70%)

みさきさんとあきとさんは、次の【問題】について考えています。

【問題】

1本110円のえん筆2本と1こ70円の消しゴム1こを買って、500円出しました。おつりは何円になりますか。

~~~~~ 中略 ~~~~~

あきとさんの式が正しくなるように、次の式に( )を書きましょう。

$$500 - 110 \times 2 + 70 = 210$$

- ・複数の式を一つの式に表現し直す場を設定したり、言葉の式を基にして( )を用いて表したりする活動を通して、( )が表している意味を理解できるようにするとともに、数量の関係を簡潔に表すことができるよさを実感できるようにする。
- ・( )をつける位置により、計算結果が異なることを確認する活動を取り入れ、計算の順序やきまりを確認することも大切である。
- ・式から具体的な場面や一般的な関係を読み取る活動を通して、計算の順序やきまりの理解を深めることも有効である。

| 学<br>年                      | 領<br>域                                   | 内<br>容  | 評<br>価<br>規<br>準                           | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|-----------------------------|------------------------------------------|---------|--------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                             |                                          |         |                                            |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>5<br>学<br>年            | A<br>数<br>と<br>計<br>算                    | (3)ア(ア) | ・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。                | (3)              | ○                     |                                      |
|                             | B<br>図<br>形                              | (1)ア(ウ) | ・円に内接している正五角形を基にして、角の大きさを求めることができる。        | (17)             | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (1)ア(エ) | ・円周と円周率から、直径の長さを求める方法を理解している。              | (5)              | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (1)イ(ア) | ・示された図や考えを解釈して、多角形の角の大きさの和の求め方を考えることができる。  | (13)             |                       | ○                                    |
|                             |                                          | (2)ア(ア) | ・三角柱の面と辺の位置関係を理解している。                      | (14)             | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (3)ア(ア) | ・必要な部分の長さに着目して、平行四辺形の面積を求めることができる。         | (11)             | ○                     |                                      |
|                             | C<br>変<br>化<br>と<br>関<br>係               | (2)イ(ア) | ・異種の二つの数量の大きさの比べ方を説明することができる。              | (8)              |                       | ○                                    |
|                             |                                          | (3)ア(イ) | ・比較量と割合から基準量を求めることができる。                    | (4)              | ○                     |                                      |
|                             | D<br>デ<br>ー<br>タ<br>の<br>活<br>用          | (1)イ(ア) | ・二つの帯グラフから、必要な情報を読み取って判断し、その理由を説明することができる。 | (18)             |                       | ○                                    |
|                             |                                          | (2)ア(ア) | ・示された数値を基に平均を求めることができる。                    | (9)              | ○                     |                                      |
| 第<br>6<br>学<br>年            | A<br>数<br>と<br>計<br>算                    | (1)ア(ア) | ・示された場面における数量の関係を数直線図に表すことができる。            | (10)             | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (1)ア(イ) | ・小数÷分数の計算ができる。                             | (1)              | ○                     |                                      |
|                             |                                          |         | ・辺の長さが分数で表された長方形の面積を求めることができる。             | (12)             | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (1)ア(ウ) | ・除法に関して成り立つ性質を理解している。                      | (7)              | ○                     |                                      |
|                             |                                          | (2)イ(ア) | ・具体的な場面で、数量の関係に着目して、文字を使って式に表現することができる。    | (2)              |                       | ○                                    |
|                             | ・具体的な事象において、数量の関係を捉え、その関係を表した式を選ぶことができる。 |         | (6)                                        |                  | ○                     |                                      |
|                             | B<br>図<br>形                              | (1)ア(イ) | ・線対称な図形を理解している。                            | (15)             | ○                     |                                      |
| ・与えられた条件を基に点対称な図形をかくことができる。 |                                          |         | (16)                                       | ○                |                       |                                      |

※前学年までの評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

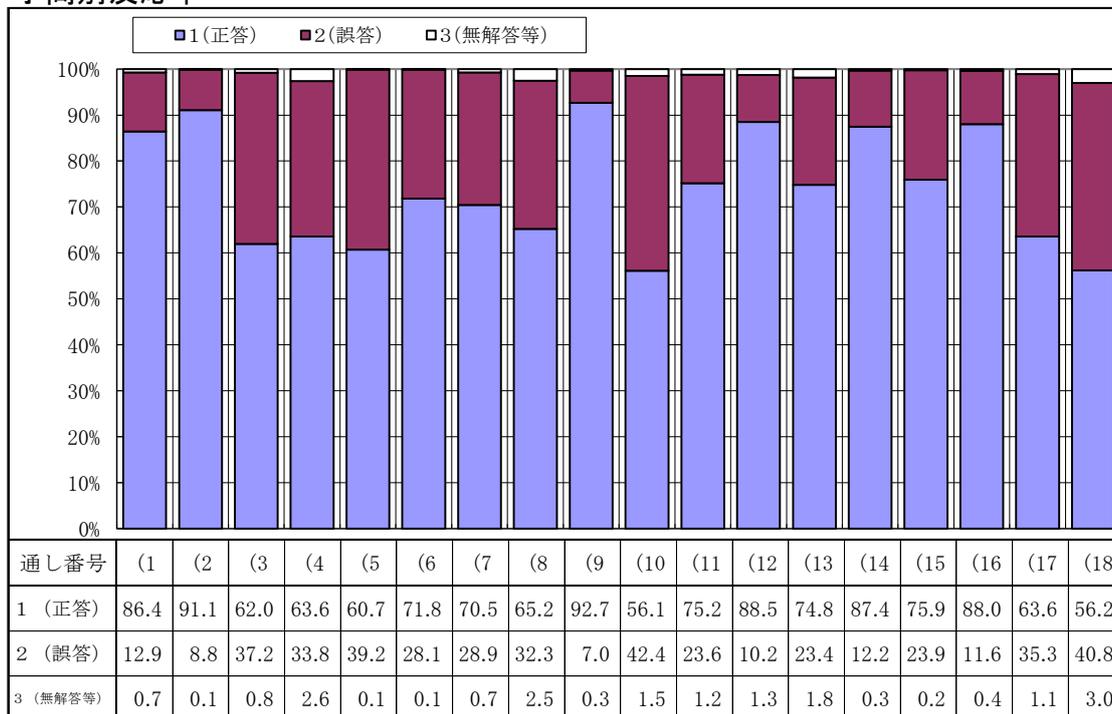
平均通過率 73.9%

| 通し番号 | 出題内容               | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|--------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | (小数) ÷ (分数) の計算    | 86.4    | 90.0      |                                            |
| (2)  | 文字を用いた式            | 91.1    | 85.0      |                                            |
| (3)  | 基準量の求め方            | 62.0    | 75.0      |                                            |
| (4)  | 割合を含む数量の関係         | 63.6    | 65.0      |                                            |
| (5)  | 円周と直径の関係           | 60.7    | 70.0      |                                            |
| (6)  | 文字を用いた式            | 71.8    | 60.0      |                                            |
| (7)  | 除法の性質              | 70.5    | 70.0      |                                            |
| (8)  | 速さの比較              | 65.2    | 60.0      |                                            |
| (9)  | 平均の求め方             | 92.7    | 70.0      |                                            |
| (10) | 基準量と比較量の関係         | 56.1    | 65.0      |                                            |
| (11) | 平行四辺形の面積           | 75.2    | 80.0      |                                            |
| (12) | 長さが分数の長方形の面積       | 88.5    | 80.0      |                                            |
| (13) | 多角形の角の大きさの和        | 74.8    | 70.0      |                                            |
| (14) | 三角柱の面と辺の位置関係       | 87.4    | 80.0      |                                            |
| (15) | 線対称な図形             | 75.9    | 75.0      |                                            |
| (16) | 点対称な図形             | 88.0    | 80.0      |                                            |
| (17) | 正多角形の角の大きさ         | 63.6    | 65.0      |                                            |
| (18) | 必要な情報の読み取りと、数学的な説明 | 56.2    | 60.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 27  | 51  | 5   | 6   | 5   | 13  | 12  | 5   | 51  | 2    | 17   | 40   | 17   | 29   | 13   | 44   | 7    | 5    |       |
| 90%~100% | 56  | 71  | 8   | 5   | 3   | 20  | 19  | 7   | 99  | 7    | 25   | 61   | 14   | 67   | 15   | 62   | 6    | 1    | 7     |
| 80%~90%  | 63  | 55  | 27  | 33  | 20  | 47  | 46  | 21  | 38  | 13   | 51   | 70   | 53   | 63   | 55   | 64   | 27   | 11   | 56    |
| 70%~80%  | 30  | 13  | 42  | 33  | 36  | 35  | 36  | 43  | 4   | 33   | 45   | 18   | 55   | 27   | 66   | 15   | 36   | 33   | 74    |
| 60%~70%  | 12  | 2   | 35  | 45  | 46  | 33  | 30  | 51  |     | 46   | 26   | 3    | 41   | 6    | 25   | 6    | 45   | 39   | 40    |
| 50%~60%  | 3   | 1   | 32  | 33  | 38  | 22  | 35  | 38  |     | 28   | 21   |      | 10   |      | 14   |      | 37   | 48   | 14    |
| 40%~50%  |     |     | 19  | 23  | 24  | 15  | 9   | 15  |     | 31   | 7    | 1    | 2    |      | 2    |      | 24   | 27   |       |
| 30%~40%  |     |     | 15  | 9   | 12  | 5   | 4   | 9   |     | 21   |      |      |      |      | 1    |      | 6    | 18   | 1     |
| 20%~30%  |     |     | 7   | 2   | 7   | 1   | 1   | 2   |     | 9    |      |      | 1    |      |      |      | 3    | 7    | 1     |
| 10%~20%  |     |     |     | 2   | 1   |     |     |     |     | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 2    |       |
| 0%~10%   | 2   |     | 3   | 2   | 1   | 2   | 1   | 2   | 1   | 2    | 1    |      |      | 1    | 2    | 2    | 2    | 2    |       |

# 小学校6年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類  | 観 点 別 |          | 領 域 別 |    |       |        | 計  |
|-----------|-------|----------|-------|----|-------|--------|----|
|           | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 数と計算  | 図形 | 変化と関係 | データの活用 |    |
| +10% より高い | 1     | 1        | 1     | 0  | 0     | 1      | 2  |
| ±10% の範囲内 | 11    | 4        | 5     | 7  | 2     | 1      | 15 |
| -10% より低い | 1     | 0        | 1     | 0  | 0     | 0      | 1  |
| 計         | 13    | 5        | 7     | 7  | 2     | 2      | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ① 示された数値を基に平均を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 円に内接する正五角形を基にして角の大きさを求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 基準量を求めるために除法を用いることを理解することについて、課題が見られる。
- ② 示された場面における数量の関係を数直線に表すことについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

小数や分数の除法を用いて、1に当たる量を求める計算の理解を深める学習の充実を図る。

【参考 通し番号(3)】平均通過率62.0% (設定通過率75%)

次の【問題】の答えを求めるための式を  の中に書きましょう。ただし、計算の答えを求める必要はありません。

板を  $1.6\text{ m}^2$  ぬるには、 $1.2\text{ dL}$  のペンキが必要です。  
板を  $1\text{ m}^2$  ぬるには、このペンキは何dL必要ですか。

- ・ 1に当たる量を求める除法の計算は、除数が整数の場合には、いわゆる等分除の考えに当たり、その関係を捉えやすいが、除数が小数や分数の場合には、見方を一般化して、1に当たる大きさ（基準にする大きさ）を求めるといった説明で除法を捉え直す必要がある。
- ・ 公式や言葉の式だけでなく、数直線や図を用いるなどして、数量の関係を整理して捉えやすくすることが大切である。また、はじめに乗法の式に表してから除法で求めるという考えを用いることも有効である。

問題場面を数直線に表現して、比較量、基準量、割合の関係を正しく捉えることができるようにする学習活動の充実を図る。

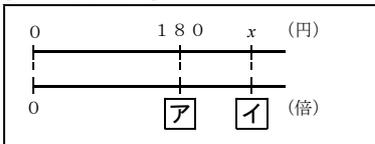
【参考 通し番号(10)】平均通過率56.1% (設定通過率65%)

シュークリームの値段とショートケーキの値段について、次のことがわかっています。

シュークリームの値段は、 $180$ 円です。  
シュークリームの値段は、ショートケーキの値段の  $\frac{2}{3}$  倍です。

あかねさんは、ショートケーキの値段を  $x$  円として、シュークリームの値段とショートケーキの値段の関係を数直線で表しました。【あかねさんの考え】が正しくなるように、アとイにあてはまる数を  の中にそれぞれ書きましょう。

【あかねさんの考え】



- ・ 比較量、基準量、割合に小数や分数が含まれる問題場面でも、数量の関係を数直線に表すことができるようにするためには、あえて不完全な数直線を提示して、問題場面から読み取れる数量の関係を記入させたり、数値を入れ替えた二つの数直線を比較させ、どちらが問題場面に適しているかを選ばせたりするなどの活動を設定することが必要である。
- ・ 乗法の結果が被乗数よりも小さくなる時や、除法の結果が被除数よりも大きくなる時に、数量の関係が捉えにくくなるといったつまづきを解消するためには、数直線に矢印を書き込ませるなどした上で、数直線と式を関連付けながら計算の意味を捉えられるようにすることが大切である。

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 数学 評価規準と評価の観点

| 学<br>年                          | 領<br>域                | 内<br>容                                        | 評<br>価<br>規<br>準                          | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点      |        |                       |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------|------------------|-------------|--------|-----------------------|
|                                 |                       |                                               |                                           |                  | 考<br>え<br>方 | 技<br>能 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解 |
| 小<br>学<br>校<br>第<br>6<br>学<br>年 | B<br>量<br>と<br>測<br>定 | (3)ア<br>角柱及び円柱の体積                             | ・高さが等しい二つの円柱の体積の関係を、底面積の関係を基に考えることができる。   | (10)             | ○           |        |                       |
|                                 |                       | (5)<br>メートル法の単位の<br>仕組み                       | ・体積の単位とメートル法の仕組みを理解している。                  | (7)              |             |        | ○                     |
|                                 | C<br>図<br>形           | (1)ア<br>縮図や拡大図                                | ・縮図の意味を理解している。                            | (12)             |             |        | ○                     |
|                                 | D<br>数<br>量<br>関<br>係 | (2)イ<br>比例                                    | ・具体的な場面で、比例の関係をを用いて答えを求める方法を考えることができる。    | (13)             | ○           |        |                       |
|                                 |                       | (3)ア<br>文字を用いた式                               | ・具体的な事象において、数量の関係を捉え、その関係を表した等式を選ぶことができる。 | (9)              | ○           |        |                       |
| (4)イ<br>資料の考察                   |                       | ・柱状グラフから必要な情報を読み取って判断し、その根拠を明らかにして説明することができる。 | (16)                                      | ○                |             |        |                       |
|                                 | (5)<br>起こり得る場合        | ・起こり得る場合について、落ちや重なりがないように求めることができる。           | (11)                                      |                  | ○           |        |                       |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>1<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式      | (1)アイウ<br>正の数・負の数                             | ・分数÷小数の計算ができる。                            | (1)              |             | ○      |                       |
|                                 |                       |                                               | ・正負の数の累乗や乗法の計算ができる。                       | (2)              |             | ○      |                       |
|                                 |                       |                                               | ・四則計算の結果の特徴を的確に捉え、数の集合と四則計算の可能性を理解している。   | (3)              |             |        | ○                     |
|                                 |                       |                                               | ・自然数を素数の積に表すことができる。                       | (4)              |             | ○      |                       |
|                                 |                       | (2)アイエ<br>文字を用いた式                             | ・四則計算における数量の関係を式に表すことができる。                | (6)              |             | ○      |                       |
|                                 |                       |                                               | ・数の範囲に基づいた式の値を理解している。                     | (15)             |             |        | ○                     |
|                                 |                       |                                               | ・分子に項が二つある一次式の約分の仕方を理解している。               | (17)             |             |        | ○                     |
|                                 |                       |                                               | ・式と図を関連付けて、基石の個数の求め方を文字を用いて説明することができる。    | (18)             | ○           |        |                       |
|                                 |                       | (3)アイウ<br>一元一次方程式                             | ・一次方程式の解を用いて、その方程式を成り立たせる文字の値を求めることができる。  | (5)              |             | ○      |                       |
|                                 |                       |                                               | ・分子が一次式である分数の一次方程式を解くことができる。              | (8)              |             | ○      |                       |
| ・一次方程式を解く過程で根拠となる等式の性質を理解している。  | (14)                  |                                               |                                           |                  | ○           |        |                       |

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

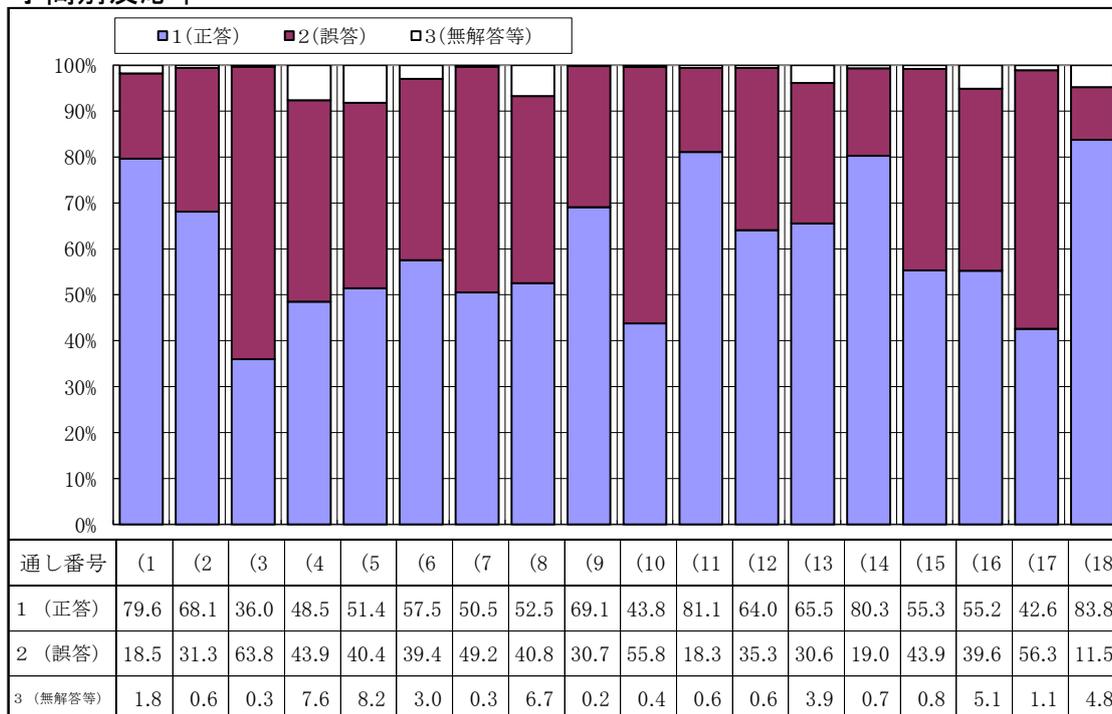
平均通過率 60.3%

| 通し番号 | 出題内容              | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|-------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | (分数) ÷ (小数) の計算   | 79.6    | 85.0      |                                            |
| (2)  | 累乗を含む正の数, 負の数の計算  | 68.1    | 70.0      |                                            |
| (3)  | 四則計算の結果の特徴        | 36.0    | 65.0      |                                            |
| (4)  | 素因数分解             | 48.5    | 70.0      |                                            |
| (5)  | 一次方程式の解           | 51.4    | 65.0      |                                            |
| (6)  | 数量の関係             | 57.5    | 65.0      |                                            |
| (7)  | 体積の単位とメートル法       | 50.5    | 60.0      |                                            |
| (8)  | 分子が一次式である分数の一次方程式 | 52.5    | 70.0      |                                            |
| (9)  | 文字を用いた式           | 69.1    | 65.0      |                                            |
| (10) | 円柱の体積             | 43.8    | 70.0      |                                            |
| (11) | 起こり得る場合の数         | 81.1    | 80.0      |                                            |
| (12) | 縮図の意味             | 64.0    | 70.0      |                                            |
| (13) | 比例の利用             | 65.5    | 75.0      |                                            |
| (14) | 等式の性質             | 80.3    | 85.0      |                                            |
| (15) | 数の範囲に基づいた式の値      | 55.3    | 65.0      |                                            |
| (16) | 柱状グラフの読み取り        | 55.2    | 65.0      |                                            |
| (17) | 項が二つの一次式の約分       | 42.6    | 65.0      |                                            |
| (18) | 文字式の利用            | 83.8    | 70.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 7   | 1   |     |     |     | 2   |     | 1   | 5   | 1    | 8    | 3    | 2    | 8    | 1    | 2    |      | 9    |       |
| 90%~100% | 18  | 4   |     | 1   | 1   | 2   |     |     | 5   | 1    | 7    | 1    | 3    | 10   | 1    |      | 1    | 20   | 1     |
| 80%~90%  | 33  | 10  |     | 7   | 2   | 6   | 5   | 5   | 11  | 1    | 50   | 8    | 5    | 43   | 5    | 5    | 4    | 54   | 1     |
| 70%~80%  | 35  | 35  | 2   | 12  | 7   | 4   | 6   | 6   | 34  | 1    | 34   | 20   | 22   | 35   | 10   | 7    | 2    | 22   | 11    |
| 60%~70%  | 18  | 39  | 5   | 13  | 15  | 37  | 15  | 11  | 39  | 6    | 11   | 43   | 50   | 17   | 22   | 15   | 13   | 5    | 41    |
| 50%~60%  | 1   | 17  | 9   | 18  | 33  | 33  | 35  | 38  | 13  | 17   | 3    | 25   | 23   |      | 39   | 48   | 14   | 2    | 49    |
| 40%~50%  |     | 5   | 23  | 12  | 33  | 18  | 30  | 24  | 5   | 43   |      | 13   | 4    |      | 21   | 28   | 26   |      | 9     |
| 30%~40%  |     | 2   | 33  | 20  | 18  | 5   | 18  | 20  | 1   | 31   |      |      | 3    |      | 11   | 6    | 24   | 1    |       |
| 20%~30%  |     |     | 30  | 17  | 3   | 4   | 3   | 5   |     | 10   |      |      |      |      | 2    | 1    | 16   |      | 1     |
| 10%~20%  | 1   |     | 9   | 9   | 1   | 1   | 1   | 2   |     |      |      |      |      |      |      | 1    | 11   |      |       |
| 0%~10%   |     |     | 2   | 3   |     | 1   |     | 1   |     | 2    |      |      | 1    |      | 1    |      | 2    |      |       |

# 中学校 1 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類                  | 観 点 別  |    |       | 領 域 別 |      |    |      | 計  |
|---------------------|--------|----|-------|-------|------|----|------|----|
|                     | 見方・考え方 | 技能 | 知識・理解 | 数と式   | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |    |
| 設定通過率の<br>+10% より高い | 1      | 0  | 0     | 1     | 0    | 0  | 0    | 1  |
| ±10% の範囲内           | 3      | 4  | 4     | 5     | 1    | 1  | 4    | 11 |
| -10% より低い           | 1      | 3  | 2     | 5     | 1    | 0  | 0    | 6  |
| 計                   | 5      | 7  | 6     | 11    | 2    | 1  | 4    | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 設定通過率の「-10%より低い」設問が、小学校の内容に関しては7問中1問、中学校の内容に関しては11問中5問あり、小学校に比べて中学校の学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ② 観点別では、「技能」「知識・理解」に課題が見られる。特に、「知識・理解」の設問では、全ての設問が設定通過率に達しておらず、基本的な知識の定着に課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 式と図を関連付けて、基石の個数の求め方を文字を用いて説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 選んだ理由や解決の過程を記述する設問については、全ての設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 高さが等しい二つの円柱の体積の関係を、底面積の関係を基に考えることについて、課題が見られる。
- ② 分子に項が二つある一次式の約分の仕方を理解することについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

角柱や円柱について、底面積（又は高さ）と体積の関係を調べたり、体積の公式の意味を比例の学習と関連付けて考えたりする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(10)】平均通過率43.8%（設定通過率70%）  
次の図1、図2のような高さが等しい2つの円柱があります。この2つの円柱の体積の関係について説明した下の文が正しくなるように、Aにあてはまる数を書きなさい。



図2の円柱の体積は、図1の円柱の体積の  $\boxed{A}$  倍です。

- ・単に体積を求める公式を使うだけでなく、図形を構成する要素に着目し、公式の意味について考察する場面を設定する。
- ・角柱や円柱の体積について、高さ（底面積）を固定した場合の底面積（高さ）と体積の関係を、対応表をかくなどして調べたり、体積の公式と比例の式を比較したりする活動を取り入れ、公式の意味を比例の学習と関連付けて理解できるようにすることが大切である。

分子に項が二つある一次式の計算や方程式の解法において、複数の方法を比較したり、誤答を生かして学び合ったりする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(17)】  
平均通過率42.6%  
(設定通過率65%)  
なつみさん、よしきさん、ともかさん、たかしさんの4人は、 $(24a+3) \div 6$ をそれぞれ次のように計算しました。  
4人の中で、正しく計算している人を1人選んで、その名前を書きなさい。

【なつみさんの計算】

$$\begin{aligned} & (24a+3) \div 6 \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= 4a+3 \end{aligned}$$

【よしきさんの計算】

$$\begin{aligned} & (24a+3) \div 6 \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{24a+1}{2} \end{aligned}$$

【ともかさんの計算】

$$\begin{aligned} & (24a+3) \div 6 \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{8a+1}{2} \end{aligned}$$

【たかしさんの計算】

$$\begin{aligned} & (24a+3) \div 6 \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= \frac{24a+3}{6} \\ &= 12a+1 \end{aligned}$$

- ・本設問で示しているそのまま約分する方法と、二つの分数の項に分けて約分する方法を比較する活動を取り入れ、約分の意味や正しい約分の仕方について理解を深めることが大切である。
- ・文字式の通分と分数の方程式における分母を払う操作との違いを理解して正しく計算できるようにするために、二つの計算の違いを比較させたり、誤答を取り上げて学び合わせたりするなどして、学び直しの機会を設定することも大切である。

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 数学 評価規準と評価の観点

| 学<br>年                             | 領<br>域                          | 内<br>容           | 評<br>価<br>規<br>準                          | 通<br>し<br>番<br>号                    | 観<br>点                |        |                       |   |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|---|
|                                    |                                 |                  |                                           |                                     | 考<br>え<br>方           | 技<br>能 | 知<br>識<br>・<br>理<br>解 |   |
| 小学<br>校<br>第<br>6<br>学<br>年        | D<br>数<br>量<br>関<br>係           | (3)ア<br>文字を用いた式  | ・具体的な事象において、数量の関係を捉え、その関係を表した等式を選ぶことができる。 | (7)                                 | ○                     |        |                       |   |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>1<br>学<br>年    | A<br>数<br>と<br>式                | (1)アウ<br>正の数・負の数 | ・分数÷小数の計算ができる。                            | (1)                                 |                       | ○      |                       |   |
|                                    |                                 |                  | ・自然数を素数の積に表すことができる。                       | (2)                                 |                       | ○      |                       |   |
|                                    | B<br>図<br>形                     | (1)アイ<br>平面図形    | ・対称移動について理解している。                          | (6)                                 |                       |        | ○                     |   |
|                                    |                                 |                  | ・円周上の点を通る円の接線を作図することができる。                 | (11)                                |                       | ○      |                       |   |
|                                    | C<br>関<br>数                     | (2)エ<br>文字を用いた式  | ・四則計算における数量の関係を式に表すことができる。                | (8)                                 |                       | ○      |                       |   |
|                                    |                                 |                  | (2)ウ<br>空間図形                              | ・柱体と錐体の体積の関係を理解している。                | (14)                  |        |                       | ○ |
|                                    | D<br>資<br>料<br>の<br>活<br>用      | (1)エ<br>比例, 反比例  |                                           | ・反比例の表から, $x$ と $y$ の関係を式で表すことができる。 | (9)                   |        | ○                     |   |
|                                    |                                 |                  | (1)イ<br>代表値                               | ・相対度数を基にして, 資料の傾向を読み取ることができる。       | (17)                  | ○      |                       |   |
|                                    | 中<br>学<br>校<br>第<br>2<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式 |                                           | (1)アイウ<br>式の計算                      | ・等式を目的に応じて変形することができる。 | (3)    |                       | ○ |
|                                    |                                 |                  | ・分数を含む多項式の減法について, その計算の仕方を理解している。         |                                     | (5)                   |        |                       | ○ |
| ・式の値を求めることができる。                    |                                 |                  | (12)                                      |                                     |                       | ○      |                       |   |
| ・整数の性質について, 文字を使った式を用いて説明することができる。 |                                 |                  | (18)                                      |                                     | ○                     |        |                       |   |
| C<br>関<br>数                        |                                 | (2)ウ<br>連立方程式    | ・連立方程式の代入法の解き方について理解している。                 | (4)                                 |                       |        | ○                     |   |
|                                    |                                 |                  | ・具体的な事象において, 数量の関係を捉えて連立方程式をつくることができる。    | (15)                                | ○                     |        |                       |   |
| C<br>関<br>数                        |                                 | (1)イ<br>一次関数     | ・一次関数の変化の割合について理解している。                    | (10)                                |                       |        | ○                     |   |
|                                    | ・一次関数の変域を求めることができる。             |                  | (13)                                      |                                     | ○                     |        |                       |   |
|                                    | ・与えられた条件から一次関数の式を求めることができる。     |                  | (16)                                      |                                     | ○                     |        |                       |   |

中学校 2年 数学 小問別通過率と設定通過率

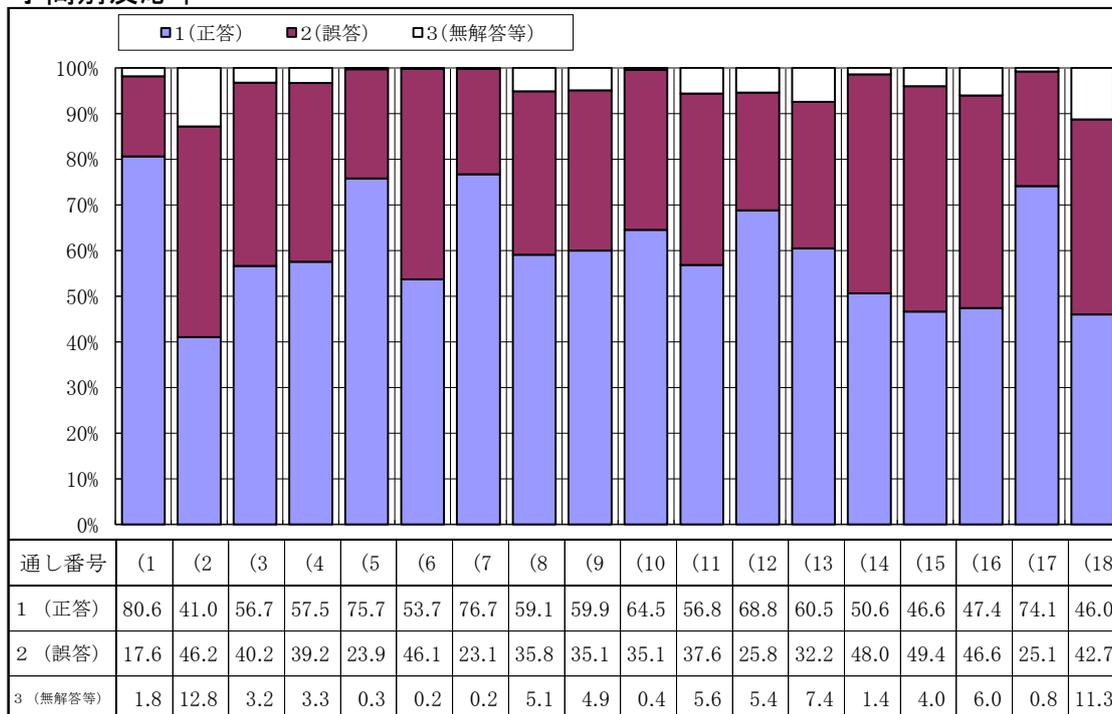
平均通過率 59.8%

| 通し番号 | 出題内容            | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|-----------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | (分数) ÷ (小数) の計算 | 80.6    | 90.0      |                                            |
| (2)  | 素因数分解           | 41.0    | 75.0      |                                            |
| (3)  | 等式の変形           | 56.7    | 65.0      |                                            |
| (4)  | 連立方程式の解き方       | 57.5    | 65.0      |                                            |
| (5)  | 分数を含む文字式の計算     | 75.7    | 75.0      |                                            |
| (6)  | 図形の対称移動         | 53.7    | 70.0      |                                            |
| (7)  | 文字を用いた式         | 76.7    | 70.0      |                                            |
| (8)  | 数量の関係           | 59.1    | 70.0      |                                            |
| (9)  | 反比例の式           | 59.9    | 65.0      |                                            |
| (10) | 一次関数の変化の割合      | 64.5    | 70.0      |                                            |
| (11) | 作図の利用           | 56.8    | 65.0      |                                            |
| (12) | 式の値             | 68.8    | 75.0      |                                            |
| (13) | 一次関数の変域         | 60.5    | 70.0      |                                            |
| (14) | 柱体と錐体の体積の関係     | 50.6    | 60.0      |                                            |
| (15) | 連立方程式の立式        | 46.6    | 65.0      |                                            |
| (16) | 一次関数の式を求めること    | 47.4    | 70.0      |                                            |
| (17) | 資料の傾向の読み取り      | 74.1    | 80.0      |                                            |
| (18) | 文字を用いた説明        | 46.0    | 60.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 5   | 1   | 1   |     | 6   |     | 4   | 1   | 3   | 3    | 3    | 1    | 2    | 1    |      | 2    | 3    | 1    |       |
| 90%~100% | 17  | 1   | 2   | 2   | 8   |     | 7   | 3   | 2   | 2    | 2    | 3    | 2    |      | 1    |      | 5    | 1    |       |
| 80%~90%  | 44  | 5   | 3   | 8   | 34  | 2   | 34  | 3   | 7   | 14   | 8    | 14   | 6    | 5    | 2    | 2    | 25   | 4    | 3     |
| 70%~80%  | 36  | 3   | 19  | 13  | 33  | 10  | 44  | 10  | 16  | 18   | 9    | 30   | 14   | 6    | 3    | 3    | 44   | 3    | 8     |
| 60%~70%  | 9   | 16  | 20  | 24  | 20  | 25  | 19  | 36  | 31  | 31   | 28   | 40   | 37   | 16   | 12   | 17   | 31   | 9    | 42    |
| 50%~60%  | 1   | 14  | 28  | 33  | 7   | 37  | 3   | 38  | 29  | 35   | 19   | 20   | 30   | 33   | 26   | 25   | 3    | 18   | 48    |
| 40%~50%  | 1   | 11  | 29  | 20  | 4   | 25  | 2   | 15  | 16  | 6    | 23   | 4    | 17   | 31   | 32   | 27   | 1    | 39   | 11    |
| 30%~40%  |     | 17  | 9   | 10  |     | 9   |     | 5   | 6   | 2    | 14   |      | 1    | 15   | 20   | 17   |      | 24   | 1     |
| 20%~30%  |     | 23  | 1   | 2   |     | 4   |     | 1   | 3   | 2    | 3    |      | 4    | 4    | 12   | 17   | 1    | 13   |       |
| 10%~20%  |     | 13  |     |     |     |     |     | 1   |     |      | 3    |      |      |      | 3    | 2    |      |      |       |
| 0%~10%   |     | 9   | 1   | 1   | 1   | 1   |     |     |     |      | 1    | 1    |      | 2    | 2    | 1    |      | 1    |       |

# 中学校 2 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類        | 観 点 別  |    |       | 領 域 別 |    |            |       | 計  |
|-----------|--------|----|-------|-------|----|------------|-------|----|
|           | 見方・考え方 | 技能 | 知識・理解 | 数と式   | 図形 | 数量関係<br>関数 | 資料の活用 |    |
| ＋10% より高い | 0      | 0  | 0     | 0     | 0  | 0          | 0     | 0  |
| ±10% の範囲内 | 2      | 6  | 4     | 5     | 2  | 4          | 1     | 12 |
| －10% より低い | 2      | 3  | 1     | 4     | 1  | 1          | 0     | 6  |
| 計         | 4      | 9  | 5     | 9     | 3  | 5          | 1     | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 設定通過率の「－10%より低い」設問が18問中6問あり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ② 昨年度の本調査で課題が見られた「図形の対称移動」「柱体と錐体の体積の関係」「連立方程式の立式」について、課題の改善が十分進んでいるとは言えない状況である。
- ③ 観点別では「見方・考え方」「技能」に課題が見られる。領域別では「数と式」において、設定通過率の「－10%より低い」設問が9問中4問あり、課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 分数を含む多項式の減法において、その計算の仕方を理解することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 一次関数の変域を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 与えられた条件から一次関数の式を求めることについて、課題が見られる。
- ② 整数の性質について、文字を使った式を用いて説明することについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

与えられた条件に着目し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(16)】 平均通過率47.4%  
(設定通過率70%)

y は x の一次関数で、そのグラフが点(2, 1)を通り、傾きが－3の直線であるとき、この一次関数の式を求めなさい。

- ・ 一次関数の式を求める手順を形式的に理解させるのではなく、例えば、本設問を扱う前に「一次関数の式を求めるためには何が分かればよいか」「1つの座標だけが分かっているとき、式を求めることはできるか」を問うなどして、課題意識を高めた上で、解決の見通しをもたせることが重要である。
- ・ 与えられた条件を基に簡単なグラフをかいたり、求めた式とグラフが一致しているか吟味したりする活動を取り入れるなど、問題場面に応じて、生徒自らが表、式、グラフを相互に関連付けて考えることができるようにすることが大切である。

つまずきを取り上げた必要感のある学び合いを通して、文字を使った式を用いた説明を検討したり、発展的に考えたりする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(18)】 平均通過率46.0%  
(設定通過率60%)

かずきさんとみのりさんは、2けたの自然数と、その自然数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数について、どのような性質が成り立つか調べました。

~~~~~ 中略 ~~~~~  
みのりさんはかずきさんの考えを参考に、この2つの数の差について調べました。

【みのりさんの考え】

| 【調べたこと】 | 【予想】 |
|-----------------|--|
| 31-13=18 18=9×2 | 2けたの自然数と、その自然数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数の差は、9の倍数になる。 |
| 54-45=9 9=9×1 | |
| 62-26=36 36=9×4 | |

みのりさんの予想の説明が成り立つように、[]に続きを書きなさい。

【みのりさんの予想の説明】

「2けたの自然数の十の位の数をx、一の位の数をyとすると、
したがって、2けたの自然数と、その自然数の十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数の差は、9の倍数になる。」

- ・ 幾つかの具体的な数で計算することから、成り立つ性質を生徒が見いだしたり、帰納的に見いだした性質について文字を用いて表現する方法を検討したりするなどの機会を設けることが大切である
- ・ 事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして説明できるようにするためには、例えば、「入れかえてできる2けたの自然数を表すことができない」「9の倍数であることを示すための式の変形ができない」「x-yが整数であることを示す理由が分からない」など、解決の過程における様々なつまずきや誤答に応じた必要感のある学び合いを設定する必要がある。
- ・ 問題解決した後に、その問題の条件を変えるところのような性質が成り立つかを予想し、問題解決した説明の形式を参考にして新たな予想を説明する活動を取り入れる。その際、説明の仕方の共通点や相違点について考察する機会を設定することも大切である。

4 結果と考察 (4)理科

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 区
分 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観
点 | |
|------------------|----------------------------|-------------|--|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| | | | | | 知
識
・
技
能 | 思
考
・
判
断
・
表
現 |
| 第
3
学
年 | B
生
命
・
地
球 | (1)イ | ・植物の育ち方に一定の順序があることを理解している。 | (1) | ○ | |
| | | (3)ア | ・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。 | (2) | ○ | |
| | | (1)ア | ・昆虫の成虫の体は、頭、胸、腹からできていて、胸には3対6本のあしがあることを理解している。 | (3) | ○ | |
| | | (3)ア | ・地面にできる影の位置の変化と太陽の位置の変化を関係付けて考察し、表現している。 | (4) | | ○ |
| | A | (1)ア
イ | ・物は、形が変わっても重さは変わらないことや、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 | (5) | ○ | |
| 第
4
学
年 | B
生
命
・
地
球 | (5)ア
(ウ) | ・星座早見の使い方に関する技能を身に付けている。 | (6) | ○ | |
| | | (1)イ | ・人の体の動きと筋肉の働きを考え、表現している。 | (9) | | ○ |
| | | (1)ア
(イ) | ・関節について理解している。 | (10) | ○ | |
| | | (4)イ | ・気温の変化と天気を関係付けて考察し、表現している。 | (11) | | ○ |
| | | (3)イ | ・水のしみ込み方と土の粒の大きさを関係付けて考察し、表現している。 | (12) | | ○ |
| | A | (3)ア
(ア) | ・乾電池の向きによってモーターの回転する向きや電流の向きが変化することを理解している。 | (7) | ○ | |
| | | (3)イ | ・回路につないだモーターが速く回る回路のつなぎ方を考え、表現している。 | (8) | | ○ |

- ・区分欄のAは、「物質・エネルギー」を示している。
- ・内容欄の記号等については、第3学年は小学校学習指導要領（平成20年告示）に、第4学年は小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき示している。なお、第3学年の評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

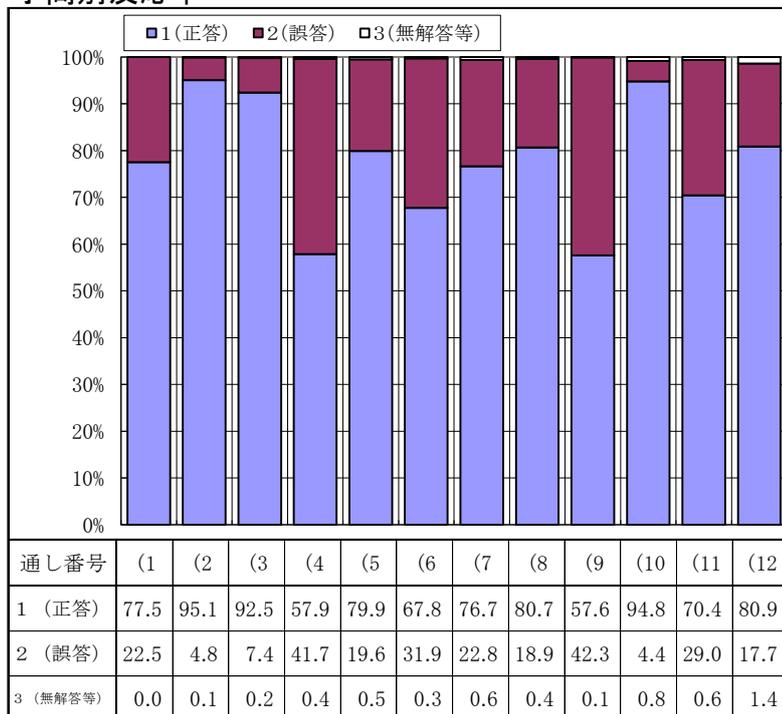
平均通過率 77.7%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|--------------------|---------|-----------|--|
| (1) | ホウセンカの育ち方 | 77.5 | 70.0 | |
| (2) | 方位磁針の使い方 | 95.1 | 80.0 | |
| (3) | 昆虫の成虫の体のつくり | 92.5 | 90.0 | |
| (4) | 太陽の位置と物にできる影の位置の関係 | 57.9 | 60.0 | |
| (5) | 物の体積と重さ | 79.9 | 70.0 | |
| (6) | 星座早見の使い方 | 67.8 | 70.0 | |
| (7) | 乾電池の向きと電流の向きの関係 | 76.7 | 70.0 | |
| (8) | 乾電池の直列つなぎ | 80.7 | 80.0 | |
| (9) | 筋肉の働き | 57.6 | 70.0 | |
| (10) | 関節の名称 | 94.8 | 90.0 | |
| (11) | 気温の変化と天気 | 70.4 | 70.0 | |
| (12) | 土の粒の大きさと水のしみ込み方の関係 | 80.9 | 70.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (192校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-------|
| 100% | 16 | 98 | 81 | 6 | 14 | 14 | 15 | 34 | 2 | 80 | 18 | 30 | |
| 90%~100% | 23 | 66 | 70 | 7 | 24 | 13 | 12 | 45 | | 90 | 23 | 35 | 17 |
| 80%~90% | 59 | 23 | 25 | 20 | 76 | 29 | 57 | 58 | 12 | 20 | 36 | 59 | 80 |
| 70%~80% | 49 | 3 | 11 | 27 | 54 | 38 | 61 | 26 | 20 | 2 | 34 | 45 | 74 |
| 60%~70% | 34 | 1 | 3 | 36 | 16 | 44 | 40 | 12 | 48 | | 42 | 15 | 20 |
| 50%~60% | 8 | 1 | 1 | 48 | 7 | 37 | 7 | 7 | 59 | | 21 | 6 | 1 |
| 40%~50% | 2 | | 1 | 28 | | 11 | | 6 | 38 | | 12 | 1 | |
| 30%~40% | 1 | | | 12 | | 1 | | 2 | 6 | | 4 | | |
| 20%~30% | | | | 7 | 1 | 4 | | 1 | 6 | | 1 | 1 | |
| 10%~20% | | | | | | | | 1 | 1 | | | | |
| 0%~10% | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | |

小学校4年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類
設定通過率の | 観 点 別 | | 内 容 区 分 別 | | 計 |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|----|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー | 生命・地球 | |
| +10%より高い | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| ±10%の範囲内 | 6 | 3 | 3 | 6 | 9 |
| -10%より低い | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 7 | 5 | 3 | 9 | 12 |

2 考察

(1) 全体について

12問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①観点が「知識・技能」の設問は、通過率の平均が83.5であり、良好な状況である。そのうち、類似問題は5問中3問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②観点が「思考・判断・表現」の設問のうち、小学校学習指導要領（平成29年告示）で新規に追加された内容である通し番号（12「土の粒の大きさと水のしみ込み方の関係」）の通過率は80.9であり、設定通過率よりも10.9ポイント高く、定着が図られている。

(3) 課題

- ①地面にできる影の位置の変化と太陽の位置の変化を関係付けて考察し、表現することについて、課題が見られる。
- ②人の体の動きと筋肉の働きの関係を考え、表現することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

児童に働かせたい見方・考え方を明確にした上で、考察したことを説明する活動の充実を図る。

- ・観察、実験の結果から差異点や共通点等が見いだせるように、視点を与えて考えさせたり、個で考えたことを互いに共有させたりすることで、学習のねらいに迫っていきけるように働き掛けることが大切である。その際、児童が問題を主体的に追究していくことができるよう、授業の構想の段階では、働かせたい理科の見方・考え方を想定することに加え、児童の実態に応じて、切り返しや揺さぶりの発問等を準備しておくことも大切である。
- ・考察を行う場面では、着目する点を明確にして働き掛け、考えたことを説明させる活動を充実させることが大切である。例えば、地面にできる棒の影の位置の変化と太陽の位置の変化が示された図を用いて、地面にできる棒の影の位置と太陽の位置の関係（空間的な視点）、その時刻（時間的な視点）に着目させ、影と太陽それぞれの動きの関係を指で示しながら、ペアやグループ等で説明させるなどの活動が考えられる。

学習したことを別の自然の事物・現象や日常生活に当てはめて考えたり、説明したりする活動を充実させる。

- ・学習したことを自然の事物・現象や日常生活との関わりの中で捉え直し、考えたり説明したりする活動を取り入れることは、理科を学習する有用性を感じ得ることにつながる。

- ・通し番号（9「筋肉の働き」）については、腕の筋肉で学習した内容を、腕以外の筋肉や他の動物（例：学校飼育動物等、身近で安全な哺乳類）に当てはめて考えたり、説明したりすることができるように、例えば、実際に足を動かして筋肉の動きを観察させたり、筋肉に見立てた模型や、筋肉の動きが読み取れる映像を活用して捉えさせたりするなどの活動が考えられる。

[参考 通し番号(9)]
足のほねやきん肉について、図1は足をのばしているときのようすを、図2は足を曲げているときのようすをそれぞれ表したものです。

(1) 図2の㉔と㉕のきん肉は、図1の㉒と㉓のきん肉がどのようなものですか。次のア～エから1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア ㉒のきん肉はゆるみ、㉓のきん肉もゆるんだ

イ ㉒のきん肉はゆるみ、㉓のきん肉はちぢんだ

ウ ㉒のきん肉はちぢみ、㉓のきん肉はゆるんだ

エ ㉒のきん肉はちぢみ、㉓のきん肉もちぢんだ

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 区
分 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観
点 | |
|------------------|---|-------------|---|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| | | | | | 知
識
・
技
能 | 思
考
・
判
断
・
表
現 |
| 第
4
学
年 | B | (2)ア
イ | ・季節による動物の活動の様子や植物の成長の様子を理解している。 | (1) | ○ | |
| | | (2)ア | ・動物の活動と季節の変化を関連付けて考え、表現している。 | (2) | | ○ |
| | A
物
質
・
エ
ネ
ル
ギ
ー | (1)ア | ・閉じ込めた空気を押し縮めたときの空気の押し返す力の大きさを考察し、表現している。 | (3) | | ○ |
| | | (1)イ | ・閉じ込めた空気と水を圧したときの体積の変化について考察し、表現している。 | (4) | | ○ |
| | | (2)ア | ・金属、水及び空気の温度による体積の変化を考察し、表現している。 | (5) | | ○ |
| | | (2)ア | ・金属、水及び空気の温度による体積の変化の違いを理解している。 | (6) | ○ | |
| | | (2)ウ | ・水が沸騰するときの温度の変化を理解している。 | (7) | ○ | |
| | | (2)ウ | ・水は温度によって水蒸気になることを理解している。 | (8) | ○ | |
| | | (2)イ | ・金属の熱の伝わり方を考察し、表現している。 | (9) | | ○ |
| | | (2)イ | ・空気の温まり方を考察し、表現している。 | (10) | | ○ |
| 第
5
学
年 | B
生
命
・
地
球 | (4)イ | ・数日間の気象情報を基に日本の天気の変化を考察し、表現している。 | (11) | | ○ |
| | | (4)ア
(7) | ・雲の量と天気の関係を理解している。 | (12) | ○ | |
| | | (4)ア
(7) | ・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。 | (13) | ○ | |
| | | (1)ア
(7) | ・でんぷんの存在を調べる方法を理解している。 | (14) | ○ | |
| | | (1)イ | ・種子の発芽について、関係する条件を考え、表現している。 | (15) | | ○ |
| | | (2)ア
(7) | ・メダカの雌雄の体の形状が異なることを理解している。 | (16) | ○ | |
| | | (2)ア
(7) | ・メダカの卵は、日がたつにつれて中の様子を変化することを理解している。 | (17) | ○ | |
| | | (2)イ | ・ふ化したメダカが数日間何も食べなくても育つ理由を考え、表現している。 | (18) | | ○ |

- ・区分欄の第4学年のBは、「生命・地球」を示している。
- ・内容欄の記号等については、第4学年は小学校学習指導要領（平成20年告示）に、第5学年は小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき示している。なお、第4学年の評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

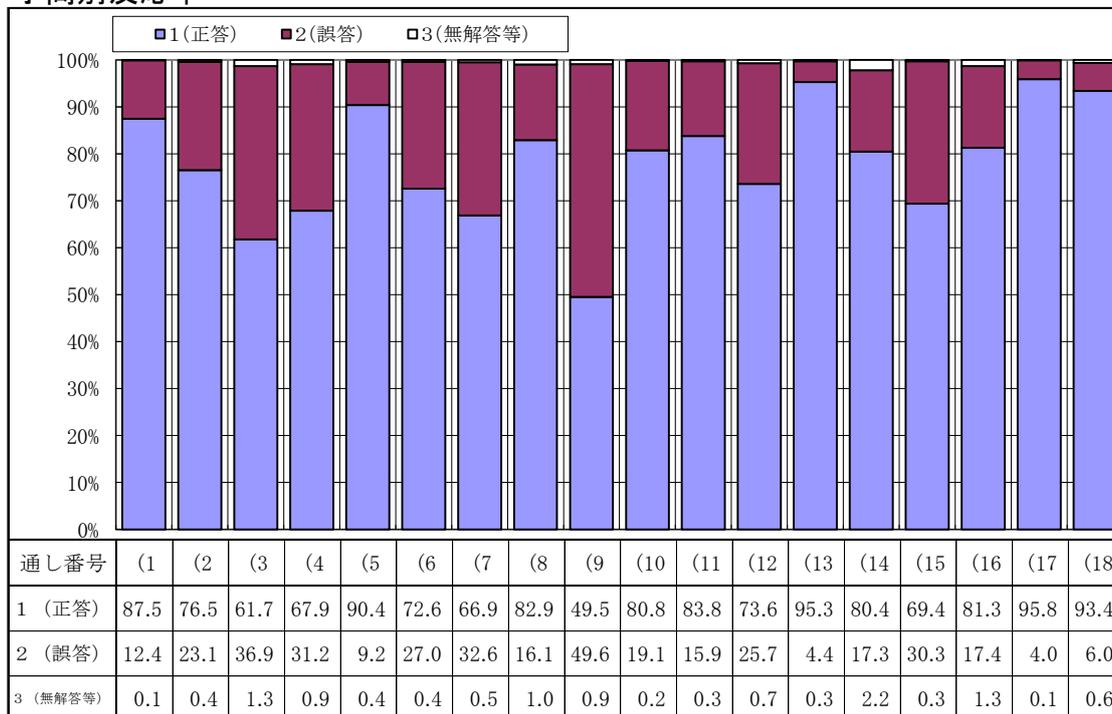
平均通過率 78.3%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|-----------------------|---------|-----------|--|
| (1) | 季節による動物の活動や植物の成長 | 87.5 | 70.0 | |
| (2) | 季節による動物の活動の変化 | 76.5 | 60.0 | |
| (3) | 閉じ込めた空気の押し返す力 | 61.7 | 60.0 | |
| (4) | 閉じ込めた空気と水の体積の変化 | 67.9 | 70.0 | |
| (5) | 温度による金属、水及び空気の体積変化 | 90.4 | 80.0 | |
| (6) | 温度による金属、水及び空気の体積変化の特徴 | 72.6 | 60.0 | |
| (7) | 水が沸騰するときの温度 | 66.9 | 60.0 | |
| (8) | 温度による水の状態の変化 | 82.9 | 80.0 | |
| (9) | 金属の温まり方 | 49.5 | 60.0 | |
| (10) | 空気の温まり方 | 80.8 | 80.0 | |
| (11) | 雲の動きと天気の変化 | 83.8 | 80.0 | |
| (12) | 雲の量と天気の関係 | 73.6 | 80.0 | |
| (13) | 方位磁針の使い方 | 95.3 | 90.0 | |
| (14) | デンプンの存在を調べる方法 | 80.4 | 70.0 | |
| (15) | インゲンマメの種子の発芽に必要な条件 | 69.4 | 60.0 | |
| (16) | メダカの雌雄の見分け方 | 81.3 | 80.0 | |
| (17) | メダカの卵が変化する順番 | 95.8 | 70.0 | |
| (18) | ふ化したメダカが数日間食べなくても育つ理由 | 93.4 | 70.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 35 | 10 | 10 | 7 | 44 | 13 | 9 | 27 | | 21 | 53 | 10 | 97 | 28 | 10 | 31 | 86 | 71 | |
| 90%~100% | 48 | 29 | 4 | 10 | 68 | 17 | 22 | 44 | | 32 | 39 | 9 | 71 | 39 | 12 | 41 | 92 | 82 | 5 |
| 80%~90% | 78 | 56 | 24 | 38 | 62 | 44 | 31 | 60 | 11 | 63 | 48 | 42 | 18 | 54 | 24 | 54 | 10 | 32 | 99 |
| 70%~80% | 24 | 50 | 33 | 42 | 18 | 46 | 40 | 37 | 14 | 46 | 32 | 64 | 4 | 34 | 44 | 30 | 2 | 4 | 66 |
| 60%~70% | 5 | 28 | 44 | 49 | 1 | 42 | 32 | 15 | 28 | 20 | 15 | 46 | 2 | 20 | 60 | 25 | 3 | 1 | 18 |
| 50%~60% | 3 | 13 | 38 | 21 | | 24 | 22 | 6 | 46 | 6 | 6 | 17 | | 12 | 34 | 6 | | 1 | 4 |
| 40%~50% | | 1 | 22 | 12 | | 4 | 16 | 1 | 45 | 2 | | 3 | | 2 | 5 | 3 | | 1 | |
| 30%~40% | | 4 | 11 | 9 | | 2 | 14 | | 23 | 1 | | 1 | | 2 | 2 | 1 | | | 1 |
| 20%~30% | | | 5 | 2 | | | 4 | 1 | 13 | | | | | | 1 | | | | |
| 10%~20% | | | 1 | 1 | | | 2 | | 7 | | | | | | | | | | |
| 0%~10% | | 2 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 6 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 1 | |

小学校 5年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類 | 観 点 別 | | 内 容 区 分 別 | | 計 |
|----------|-------|----------|-----------|-------|----|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー | 生命・地球 | |
| +10%より高い | 4 | 3 | 2 | 5 | 7 |
| ±10%の範囲内 | 5 | 5 | 5 | 5 | 10 |
| -10%より低い | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 9 | 9 | 8 | 10 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①類似問題は、10問中7問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。「温度による金属、水及び空気の体積変化の特徴」、「ふ化したメダカが数日間食べなくても育つ理由」の通過率は、昨年度と比較し23.0ポイント以上上昇した。
- ②「生命・地球」の内容に関する設問は、通過率の平均が83.7で、全ての設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。

(3) 課題

- ①金属の熱の伝わり方を考察し、表現することについて、課題が見られる。
- ②種子の発芽に係る条件を考え、表現することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

実験の結果から見いだした規則性や学習を通して獲得した知識を、自然の事物・現象や日常生活に当てはめて考えたり、説明したりする学習活動の充実を図る。

- ・理科で学習する規則性や原理などが日常生活や社会で活用されていることについて、児童が実感を伴って理解することができるように、生活経験を想起させた働き掛けをしたり、活用の例をICTを使って提示したりするなどの工夫が考えられる。
- ・通し番号(9)について、例えば、金属は熱せられたところから順に熱が伝わり、温まるということを見いだした後で、別の形の金属における温まり方や熱い湯につけた金属のスプーンの触れる位置による温かさの違いについて、考えたり、説明したりするなどの学習活動が考えられる。

【参考 通し番号(9)】
 まもるさんは、図1のとくと炎の大きさを変えずに、金ぞくのぼうにぬられたすべてのろうを速くとかすにはどうすればよいかについて、<結果>をもとに考えました。「まもるさんの考え」が正しくなるように、⑤には当てはまる内容を、①には当てはまる部分をA、B、Cから1つ選んで記号を、の中にそれぞれ書きなさい。

【まもるさんの考え】
 実験の結果から、金ぞくは熱せられたところから⑤、やがて全体があたたまることがわかりました。このことから、金ぞくのぼうの(①)の部分熱すると、金ぞくのぼうにぬられたすべてのろうを速くとかすことができると考えました。

図1
ろう A B C
熱するところ
炎

<結果>
ろうをぬった金ぞくのぼうの一方のはしを熱すると、A→B→Cの順番でとけた。

解決の方法を発想する際に、変化させる要因と変化させない要因を区別しながら計画的に観察、実験を行う活動の充実を図る。

- ・解決の方法を発想する際に、何について明らかにするのかを明確にした上で、変化させる要因と変化させない要因を表で区別して整理するなどの学習活動が考えられる。
- ・変化させる要因と変化させない要因が、予想や仮説を確かめられるものとして妥当かどうかを、グループや全体で検討する場を設定する。また、観察、実験の結果を基に考察する場面では、何と何を比べてそのような結論が言えるかを明確にさせることが考えられる。
- ・通し番号(15)について、発芽に空気が必要かを調べる際には、変化させる要因と変化させない要因を表に整理し、条件の違いが妥当かどうかをグループや全体で検討させたり、実験の結果を基に考察する際には、変化させた要因と変化させなかった要因を実験の結果と照らし合わせて考察させたりするなどの学習活動が考えられる。

令和2年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 区
分 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観
点 | |
|------------------|------------|-------------|---|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| | | | | | 知
識
・
技
能 | 思
考
・
判
断
・
表
現 |
| 第
5
学
年 | 物質・エネルギー | (3)ア | ・電磁石は、磁石と同じようにN極とS極があることを理解している。 | (1) | ○ | |
| | | (3)ア | ・電磁石の性質と身の回りでの利用を関係付けて考え、表現している。 | (2) | | ○ |
| | | (1)イ | ・メスシリンダーの読み方に関する技能を身に付けている。 | (6) | ○ | |
| | | (1)イ | ・一定の量の物を溶かすための水の温度や水の量を考え、表現している。 | (7) | | ○ |
| | | (2)ア | ・ふりこの1往復する時間について、変える条件を制御した実験の方法を理解している。 | (8) | ○ | |
| | | (2)ア | ・ふりこが1往復する時間とその条件を関係付けて考察し、表現している。 | (9) | | ○ |
| | 生命・地球 | (3)ア | ・流れる水における侵食や運搬について理解している。 | (3) | ○ | |
| | | (2)ウ | ・子宮内のへその緒について理解している。 | (4) | ○ | |
| | | (2)ウ | ・羊水の働きを理解している。 | (5) | ○ | |
| 第
6
学
年 | A | (1)ア
(ア) | ・気体の捕集に関する技能を身に付けている。 | (10) | ○ | |
| | | (1)イ | ・酸素の量と物を燃やす働きを関係付けて気体の性質を考察し、表現している。 | (11) | | ○ |
| | | (1)ア
(ア) | ・二酸化炭素の有無を確かめる方法を理解している。 | (12) | ○ | |
| | B
生命・地球 | (1)ア
(イ) | ・でんぷんの存在を調べる方法を理解している。 | (13) | ○ | |
| | | (1)イ | ・でんぷんに対するだ液の働きについて、実験の結果を基に考察し、表現している。 | (14) | | ○ |
| | | (3)ア
(イ) | ・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。 | (15) | ○ | |
| | | (3)イ | ・生物の食う食われるという関係から、身近な生物同士の関わりを考え、表現している。 | (16) | | ○ |
| | | (2)ア
(イ) | ・植物の根から吸い上げられた水は、植物の体内の決まった通り道を通ることを理解している。 | (17) | ○ | |
| | | (2)イ | ・植物の体内にある水の行方について、実験の結果を基に考察し、表現している。 | (18) | | ○ |

- ・区分欄の第6学年のAは「物質・エネルギー」を示している。
- ・内容欄の記号等については、第5学年は小学校学習指導要領（平成20年告示）に、第6学年は小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき示している。なお、第5学年の評価規準と評価の観点については、小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づき作成している。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

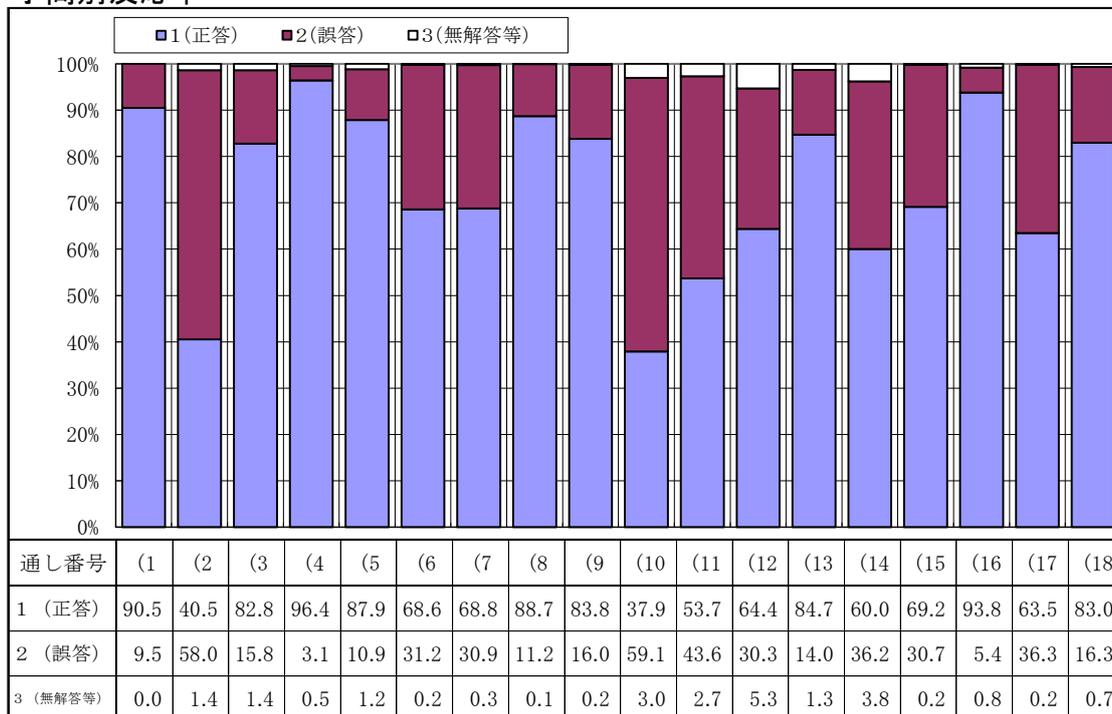
平均通過率 73.2%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|----------------------|---------|-----------|--|
| (1) | 電磁石の極のでき方 | 90.5 | 80.0 | |
| (2) | 電磁石の性質 | 40.5 | 60.0 | |
| (3) | 川岸の様子と水の働き | 82.8 | 70.0 | |
| (4) | へその緒の働き | 96.4 | 80.0 | |
| (5) | 羊水の働き | 87.9 | 70.0 | |
| (6) | メスシリンダーの量り方 | 68.6 | 80.0 | |
| (7) | 一定量の物をとかすための水の温度、水の量 | 68.8 | 60.0 | |
| (8) | ふりこの実験の条件制御 | 88.7 | 80.0 | |
| (9) | ふりこの長さや時間の関係 | 83.8 | 70.0 | |
| (10) | 気体の捕集方法 | 37.9 | 60.0 | |
| (11) | 酸素の割合と燃えている時間の関係 | 53.7 | 60.0 | |
| (12) | 二酸化炭素の有無の調べ方 | 64.4 | 60.0 | |
| (13) | デンプンの存在を調べる方法 | 84.7 | 80.0 | |
| (14) | だ液の働き | 60.0 | 60.0 | |
| (15) | 顕微鏡の使い方 | 69.2 | 70.0 | |
| (16) | 食物連鎖の仕組み | 93.8 | 80.0 | |
| (17) | 茎の中の水の通り道 | 63.5 | 70.0 | |
| (18) | 蒸散の働き | 83.0 | 70.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (193校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 46 | 3 | 40 | 94 | 40 | 8 | 12 | 28 | 20 | 2 | 2 | 11 | 22 | 8 | 9 | 72 | 11 | 28 | |
| 90%~100% | 74 | 1 | 47 | 86 | 71 | 13 | 10 | 71 | 29 | 1 | 2 | 2 | 52 | 9 | 13 | 88 | 18 | 40 | 6 |
| 80%~90% | 53 | 7 | 47 | 11 | 54 | 36 | 27 | 79 | 89 | 4 | 8 | 30 | 72 | 31 | 36 | 26 | 26 | 58 | 40 |
| 70%~80% | 14 | 6 | 29 | 2 | 17 | 31 | 54 | 9 | 42 | 11 | 31 | 42 | 34 | 27 | 44 | 5 | 37 | 43 | 97 |
| 60%~70% | 4 | 15 | 17 | | 9 | 57 | 33 | 3 | 10 | 16 | 33 | 39 | 9 | 34 | 47 | | 29 | 13 | 39 |
| 50%~60% | | 37 | 9 | | 1 | 30 | 35 | 2 | 2 | 30 | 50 | 38 | 4 | 31 | 31 | | 32 | 7 | 10 |
| 40%~50% | 1 | 29 | 2 | | | 10 | 13 | | | 25 | 35 | 15 | | 21 | 6 | | 20 | 2 | 1 |
| 30%~40% | | 36 | 1 | | | 6 | 6 | | | 47 | 21 | 12 | | 19 | 6 | | 11 | | |
| 20%~30% | | 35 | | | | 1 | 2 | | | 35 | 3 | 3 | | 9 | | | 5 | 1 | |
| 10%~20% | | 17 | | | | | 1 | | | 16 | 6 | | | 3 | | | 1 | | |
| 0%~10% | 1 | 7 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 6 | 2 | 1 | | 1 | | 2 | 3 | 1 | |

小学校 6年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類
設定通過率の | 観 点 別 | | 内 容 区 分 別 | | 計 |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|----|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー | 生命・地球 | |
| +10%より高い | 4 | 3 | 2 | 5 | 7 |
| ±10%の範囲内 | 5 | 3 | 4 | 4 | 8 |
| -10%より低い | 2 | 1 | 3 | 0 | 3 |
| 計 | 11 | 7 | 9 | 9 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①類似問題は、7問中5問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、通し番号(7「一定量の物を溶かすための水の温度、水の量」)に関する設問の通過率は、昨年度と比較し16.1ポイント上昇し、通し番号(1「電磁石の極」)に関する設問の通過率は、昨年度と比較し7.8ポイント上昇した。
- ②「生命・地球」の内容に関する設問は、通過率の平均が80.1であり、「川岸の様子と水の働き」「へその緒の働き」「羊水の働き」「食物連鎖の仕組み」「蒸散の働き」について、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

- ①電磁石の性質と身の回りでの利用を関係付けて考え、表現することについて、課題が見られる。
- ②メスシリンダーの読み方や気体の捕集方法に関する技能について、課題が見られる。

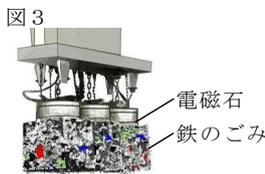
3 今後の指導

既習の内容を生かしながら問題解決ができるような指導の手立ての工夫や、獲得した知識を活用する活動の充実を図る。

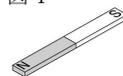
- ・単元導入時に、既習の学習内容を振り返らせたり、つながりを意識させたりすることができるよう教材の提示の仕方や発問等を工夫する。
- ・通し番号(2)については、電磁石についての理解を深めるために、例えば、電磁石と既習の内容である磁石を比較して表にまとめるなどの活動が考えられる。また、単元の終末において、ごみ処理場の装置を動画で提示し、どうして棒磁石のようなものではなく電磁石を使うのかを考え、表現させるなど、学習を通して獲得した知識を活用する活動が考えられる。

【参考 通し番号(2)】

ごみ処理場では、図3のようなそう置を使って、燃えないごみの中から鉄を引きつけたりはなししたりして、鉄のごみを集めています。守さんは、このそう置に、電磁石が利用されている理由を、図2の実験の結果をもとに、次のようにまとめました。<理由>が正しくなるように、㉔に当てはまる内容を、電磁石の性質にふれて、□の中に書きなさい。



<理由> 鉄のごみを集めるときに電磁石を利用するのは、図4のような磁石とはちがって、電磁石には ㉔ という性質があるからです。



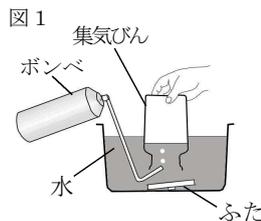
観察、実験器具の基本操作についての意味を捉えさせ、適切な扱いができるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・メスシリンダーに入っている液体の読み方については、グループの代表者だけでなく、一人一人が実際の水面の様子を確認し、液体の体積を読み取る場面を学習過程に位置付ける。
- ・気体の捕集方法については、実験の目的を確認した上で、水を満たさないで捕集したときの様子を提示して比較させ、集気びんの中の水を満たす理由を考えさせることで、操作の意味を捉えられるようにする。
- ・安全かつ適切に器具を操作するポイントを示し、自己評価したり、相互評価したりする場を設定する。

【参考 通し番号(10)】

集気びんを2本用意する。1本の集気びんの中を ㉕ 。

図1のように集気びんを水中で逆さにし、酸素を7～8分目まで入れ、ふたをして取り出す。また、もう一方の集気びんには、空気と少量の水を入れる。



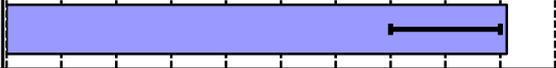
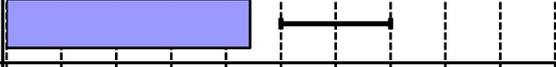
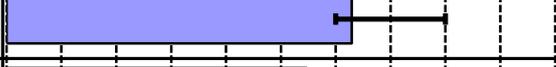
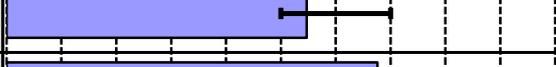
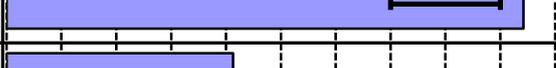
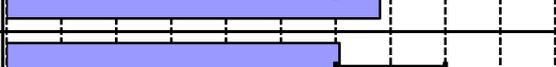
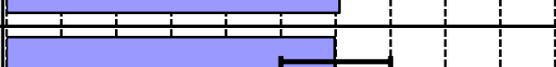
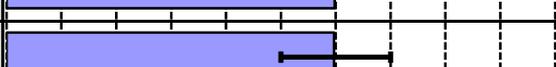
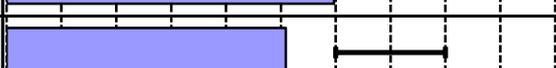
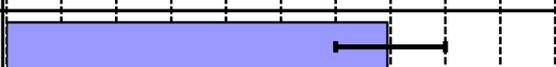
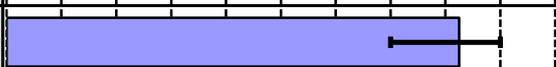
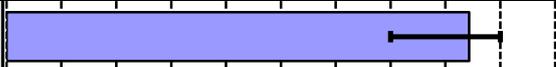
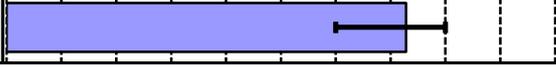
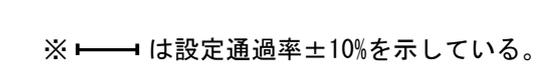
(1) 下線部のようにする前に、集気びんの中はどのようにしておきますか。㉕に当てはまる内容を□の中に書きなさい。

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 領
域
等 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観 点 | | |
|---------------------------------|---|----------------|---|------------------|------------------|--------|------------------|
| | | | | | 思
考
表
現 | 技
能 | 知
識
理
解 |
| 小
学
校
第
6
学
年 | B
生
命
・
地
球 | (4)イ | ・地層の構成物の特徴から、火山の噴火によってつくられた地層であることを見だし、表現している。 | (1) | ○ | | |
| | | (4)ア | ・地層の重なり方を基に地層の広がり方を見だし、表現している。 | (2) | ○ | | |
| | A
物
質
・
エ
ネ
ル
ギ
ー | (3)イ | ・てこを傾ける働きについて、予想を確かめるための条件制御を考え、表現している。 | (3) | ○ | | |
| | | (3)ウ | ・てこを利用した道具の支点、力点、作用点の位置関係について理解している。 | (4) | | | ○ |
| | | (4)ア | ・手回し発電機の発電について理解している。 | (5) | | | ○ |
| | | (4)ア
イ | ・発光ダイオードと豆電球におけるエネルギーの効率を考え、表現している。 | (6) | ○ | | |
| | | (2)ア | ・水溶液の性質を調べるための技能を身に付けている。 | (7) | | ○ | |
| | | (2)ア
イ | ・水溶液の性質について、調べた結果を基に水溶液を判別するとともに、区別する方法を構想し、表現している。 | (8) | ○ | | |
| 中
学
校
第
1
学
年 | 化
学
的
領
域 | (2)ア
(7) | ・ガスバーナーの操作に関する技能を身に付けている。 | (9) | | ○ | |
| | | (2)ア
(4) | ・酸素を発生させる方法について理解している。 | (10) | | | ○ |
| | | (2)ア
(4) | ・線香の燃え方の違いについて、酸素の体積の割合を基に考察し、表現している。 | (11) | ○ | | |
| | | (2)ア
(7) | ・物質の密度を求める方法について理解している。 | (12) | | | ○ |
| | 生
物
的
領
域 | (1)ウ
(7) | ・種子植物の分類について理解している。 | (13) | | | ○ |
| | | (1)イ
(7) | ・被子植物の子房の中に胚珠があることを見だし、表現している。 | (14) | ○ | | |
| | | (1)ア
(7) | ・顕微鏡を操作に関する技能を身に付けている。 | (15) | | ○ | |
| | | (1)ウ
(7) | ・単子葉類と双子葉類の違いについて理解している。 | (16) | | | ○ |
| | | (3)ウ
(7)(4) | ・脊椎動物と無脊椎動物の体のつくりにおける特徴の違いについて理解している。 | (17) | | | ○ |
| | | (3)ウ
(4) | ・節足動物の仲間について理解している。 | (18) | | | ○ |

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

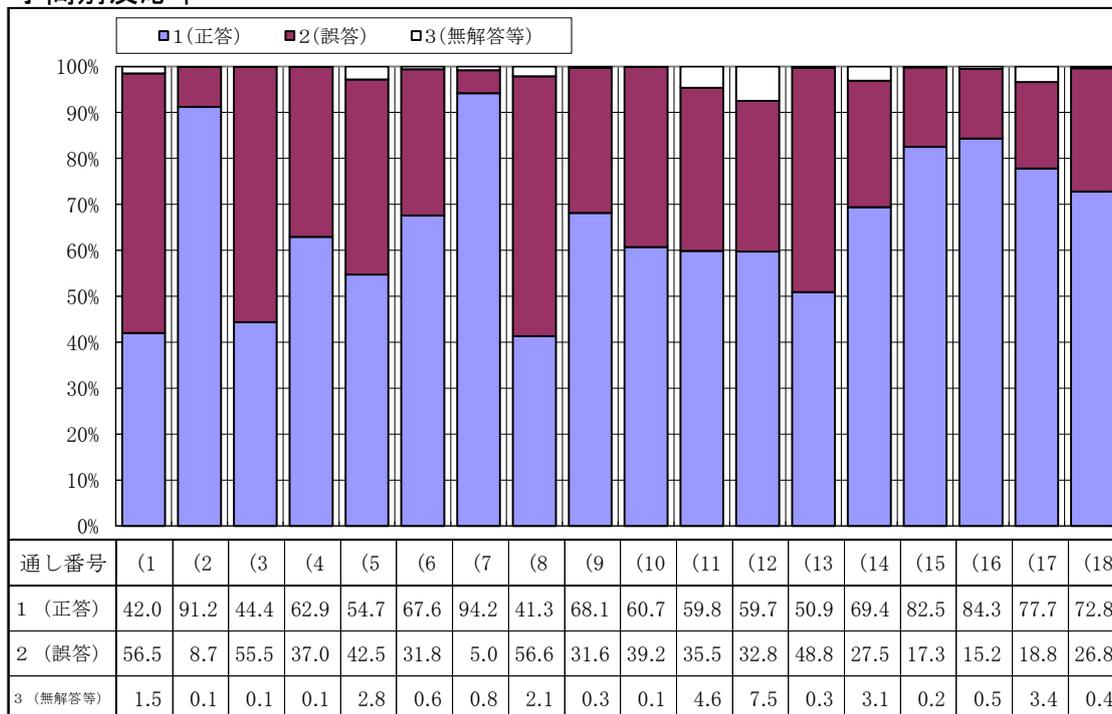
平均通過率 65.8%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|-------------------------|---------|-----------|--|
| (1) | 火山の噴火によってつくられた地層 | 42.0 | 70.0 |  |
| (2) | 地層の広がり | 91.2 | 80.0 |  |
| (3) | てこを傾ける働きを調べるための条件の制御 | 44.4 | 60.0 |  |
| (4) | てこを利用した道具 | 62.9 | 70.0 |  |
| (5) | 手回し発電機における電気をつくり出す部分 | 54.7 | 60.0 |  |
| (6) | 発光ダイオードの点灯時間が豆電球よりも長い理由 | 67.6 | 70.0 |  |
| (7) | ピペットを使うたびに洗う理由 | 94.2 | 80.0 |  |
| (8) | 水溶液の区別 | 41.3 | 60.0 |  |
| (9) | ガスバーナーの使い方 | 68.1 | 70.0 |  |
| (10) | 酸素の発生方法 | 60.7 | 70.0 |  |
| (11) | 酸素の性質 | 59.8 | 60.0 |  |
| (12) | 密度の求め方 | 59.7 | 60.0 |  |
| (13) | 種子植物の分類 | 50.9 | 70.0 |  |
| (14) | 被子植物と裸子植物の相違点 | 69.4 | 70.0 |  |
| (15) | 顕微鏡の使い方 | 82.5 | 80.0 |  |
| (16) | 単子葉類と双子葉類の違い | 84.3 | 80.0 |  |
| (17) | 脊椎動物と無脊椎動物の分類の基準 | 77.7 | 80.0 |  |
| (18) | 動物の分類 | 72.8 | 70.0 |  |

※  は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 2 | 12 | | | 3 | 5 | 29 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | | 3 | 7 | 6 | 4 | 5 | |
| 90%~100% | | 61 | | 1 | | 4 | 67 | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | | 5 | 15 | 18 | 8 | 4 | |
| 80%~90% | 1 | 35 | 1 | 5 | 4 | 17 | 11 | 2 | 18 | 9 | 11 | 8 | 4 | 12 | 52 | 64 | 33 | 23 | 4 |
| 70%~80% | 4 | 3 | 1 | 18 | 8 | 28 | 3 | 4 | 33 | 16 | 19 | 10 | 3 | 33 | 34 | 20 | 37 | 43 | 26 |
| 60%~70% | 7 | 2 | 9 | 39 | 28 | 24 | 1 | 5 | 35 | 27 | 31 | 38 | 11 | 35 | 5 | 5 | 26 | 27 | 65 |
| 50%~60% | 22 | | 25 | 35 | 37 | 21 | 2 | 20 | 19 | 31 | 15 | 28 | 43 | 18 | | | 5 | 6 | 18 |
| 40%~50% | 24 | | 37 | 11 | 19 | 10 | | 24 | 2 | 15 | 14 | 14 | 32 | 2 | | | | 5 | |
| 30%~40% | 28 | | 28 | 1 | 9 | 3 | | 34 | 1 | 5 | 13 | 8 | 16 | 3 | | | | | |
| 20%~30% | 20 | | 8 | 1 | 5 | 1 | | 16 | | 5 | 4 | 3 | 3 | 1 | | | | | |
| 10%~20% | 4 | | 3 | | | | | 5 | | | 1 | | | | | | | | |
| 0%~10% | 1 | | 1 | 2 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | |

中学校 1 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類 | 観 点 別 | | | 内 容 区 分 別 ・ 領 域 別 | | | | 計 |
|-----------|----------|----|-------|-------------------|-------|----|----|----|
| | 辞句・思考・表現 | 技能 | 知識・理解 | 植物・エネルギー | 生命・地球 | 化学 | 生物 | |
| +10% より高い | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| ±10% の範囲内 | 3 | 2 | 7 | 3 | 0 | 4 | 5 | 12 |
| -10% より低い | 3 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 計 | 7 | 3 | 8 | 6 | 2 | 4 | 6 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 学習内容が小学校6年の設問は通過率の平均が62.3、中学校1年の設問は通過率の平均が68.6であり、学習内容の定着状況がおおむね良好である。特に、中学校1年の設問における通過率の平均は、昨年度と比較し5.6ポイント上昇している。

(2) 成果

- ① 類似問題については、9問中5問で通過率が上昇している。特に、「単子葉類と双子葉類の違い」に関する設問の通過率が昨年度から16.7ポイント上昇し、指導の改善が図られている。
- ② 観点が「技能」の設問については、3問全てが設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。

(3) 課題

- ① 水溶液の性質を調べた結果を基に水溶液を判別するとともに、区別する方法を構想し、表現することについて、課題が見られる。
- ② 種子植物の分類を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

予想や仮説を基に検証方法を考えたり、予想や仮説が妥当な場合に得られる観察、実験の結果を検討したりする活動を充実させる。

- ・ 生徒が働かせる理科の見方・考え方を想定した上で、観察や実験を行う時間や課題解決のために探究する時間を十分に確保した指導計画を立てる。
- ・ 観察、実験の計画を立てる場面では、自分の予想や仮説を確かめることができるかどうかという視点から検証方法を検討させるようにする。
- ・ 通し番号(8)の設問の内容については、例えば、発想した検証方法が妥当かどうかを互いに説明し合ったり、実験の結果に再現性が伴わなかった場合は、検証方法を再検討し再実験を行ったりする活動を取り入れることが考えられる。

[参考 通し番号(8)]

表は、水溶液の性質を調べた結果を表しています。ただし、表のA～Dは、それぞれ、うすい塩酸、食塩水、うすいアンモニア水、炭酸水のいずれかです。

| 表 | 水溶液 | 見た目 | におい | 蒸発させる |
|---|-----|---------|----------|----------|
| A | | とう明 | なし | 白いものが残った |
| B | | とう明 | つんとしたにおい | 何も残らなかった |
| C | | とう明 | つんとしたにおい | 何も残らなかった |
| D | | あわが出ていた | なし | 何も残らなかった |

- (2) 恵さんは、A～Dの水溶液について次のように考えました。恵さんの考えが正しくなるように、X、Yには当てはまる語句を、Zにはアンモニア水を区別する方法とその結果がわかるように当てはまる内容をそれぞれ書きなさい。

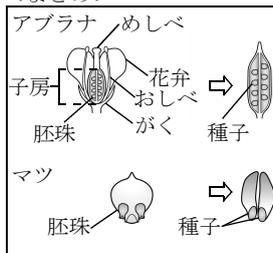
表から、Aは(X)で、Dは(Y)だと思います。BとCは、同じ結果になりましたが、つんとしたにおいがあったことから、どちらかがアンモニア水だと思います。BとCのうち、という結果になったほうが、アンモニア水だと考えます。

観察、実験の結果を分析して解釈し表現する活動を工夫する。

- ・ 生活経験や、学習内容の系統性を踏まえて学習活動を構想する。
- ・ 考察の場面では、観察、実験の結果を基にどのような視点で考えればよいかを明確にできるよう生徒への発問の内容等を十分に吟味する。
- ・ 通し番号(13)については、例えば、学校周辺に生息する植物について、生徒同士で特徴に基づいた観点で分類させたり、クイズ形式で特徴を考えさせたりする活動を取り入れる。また、ICTを活用して、観察しにくい部分を拡大したり異なる植物を一つの画面上で比較して捉えさせたりするなどの方法が考えられる。

[参考 通し番号(13)]

<まとめ>



[アブラナとマツの花のつくりの比較]

共通している点

- ・ どちらの植物にも胚珠があり、成長すると種子になる。

ちがっている点

- ・ アブラナは、花の中心から、めしべ、おしべ、花弁、がくがある。
- ・ アブラナは、マツとちがいが.

- (1) 次のア～オのうち、アブラナやマツのように、種子をつくらせて子孫をふやす植物はどれですか、2つ選んで記号を書きなさい。

ア イヌワラビ イ ツツジ ウ ゼニゴケ
エ イネ オ スギナ

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 理科 評価規準と評価の観点

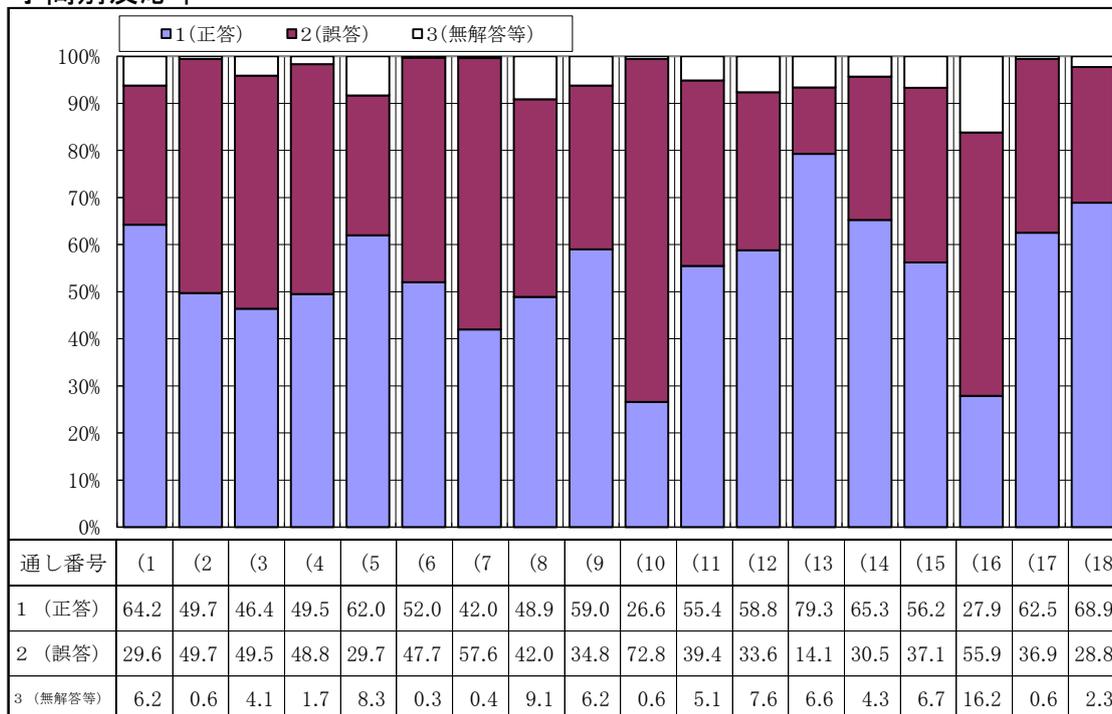
| 学
年 | 領
域 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観 点 | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|----------------------|------------------|--------|------------------|
| | | | | | 思
考
表
現 | 技
能 | 知
識
理
解 |
| 第
1
学
年 | 物
理
的
領
域 | (1)イ
(ア) | ばねに加える力の大きさとばねの伸びの関係をグラフで表すことに関する技能を身に付けている。 | (1) | | ○ | |
| | | (1)イ
(ア) | フックの法則を基にばねの伸びからばねに加わる力の大きさを求める方法について理解している。 | (2) | | | ○ |
| | | (1)ア
(ア) | 鏡などにできる物体の像について理解している。 | (3) | | | ○ |
| | | (1)ア
(ア) | 光の反射の道筋を作図することに関する技能を身に付けている。 | (4) | | ○ | |
| | | (2)ア
(ア) | 物質の密度を求める方法について理解している。 | (5) | | | ○ |
| | 地
学
的
領
域 | (2)イ
(ア) | 地形図と柱状図を関連付けて地層が傾いている方向を考察し、表現している。 | (6) | ○ | | |
| | | (2)ア
(イ) | 地震の揺れの記録から地震が発生した時刻を読み取ることに関する技能を身に付けている。 | (7) | | ○ | |
| | | (2)ア
(イ) | 地震の揺れの記録からP波の伝わる速さを求める方法について理解している。 | (8) | | | ○ |
| | | (2)ア
(イ) | 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係から、緊急地震速報について考察し、表現している。 | (9) | ○ | | |
| | 第
2
学
年 | 化
学
的
領
域 | (4)イ
(イ) | 還元の実験に関する技能を身に付けている。 | (10) | | ○ |
| (4)イ
(ア)(イ) | | | 酸化銅が炭素で還元されるときの化学変化をモデルを使って考え、表現している。 | (11) | ○ | | |
| (4)イ
(イ) | | | 酸化銅の還元から、酸素が結びつく物質の性質の違いを考察し、表現している。 | (12) | ○ | | |
| (4)ウ
(ア) | | | 反応の前と後で物質の質量の総和が等しいことについて理解している。 | (13) | | | ○ |
| (4)ウ
(ア) | | | 開いた系における気体が発生する反応について、物質の質量の総和が変化する理由を考え、表現している。 | (14) | ○ | | |
| 生
物
的
領
域 | 生
物
的
領
域 | (3)イ
(ア) | 消化液に含まれる食物を分解し吸収されやすくする物質について理解している。 | (15) | | | ○ |
| | | (3)イ
(ア) | 糖の有無を調べることに関する技能を身に付けている。 | (16) | | ○ | |
| | | (3)イ
(ア) | 血管を流れている静脈血について理解している。 | (17) | | | ○ |
| | | (3)イ
(ア) | 肺と小腸のつくりについて、ガス交換や物質の吸収の効率を表面積と関連付けて考え、表現している。 | (18) | ○ | | |

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|--------------------------|---------|-----------|--|
| (1) | 力の大きさとばねの伸びとの関係を表すグラフの作成 | 64.2 | 70.0 | |
| (2) | ばねを一定の長さだけ伸ばすために必要な力の大きさ | 49.7 | 70.0 | |
| (3) | 鏡にうつる像 | 46.4 | 80.0 | |
| (4) | 反射した光の進み方 | 49.5 | 70.0 | |
| (5) | 密度の求め方 | 62.0 | 70.0 | |
| (6) | 地層の傾き | 52.0 | 60.0 | |
| (7) | 地震の発生時刻の読み取り方 | 42.0 | 70.0 | |
| (8) | P波の伝わる速さ | 48.9 | 70.0 | |
| (9) | 初期微動継続時間と緊急地震速報との関連 | 59.0 | 60.0 | |
| (10) | 還元の実験の手順 | 26.6 | 70.0 | |
| (11) | 粒子のモデルを用いた化学変化の表し方 | 55.4 | 60.0 | |
| (12) | 酸化物から酸素をうばう物質の性質 | 58.8 | 60.0 | |
| (13) | 質量保存の法則 | 79.3 | 80.0 | |
| (14) | 気体が発生する化学変化の質量変化 | 65.3 | 70.0 | |
| (15) | 消化酵素 | 56.2 | 80.0 | |
| (16) | 糖の有無を調べる実験の方法 | 27.9 | 70.0 | |
| (17) | 静脈血が流れる血管 | 62.5 | 80.0 | |
| (18) | 肺と小腸のつくりと働き | 68.9 | 70.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 3 | | | 2 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 4 | |
| 90%~100% | 2 | | | 1 | 2 | | | | 2 | | | 3 | 18 | 5 | 2 | | 2 | 3 | |
| 80%~90% | 16 | | 2 | 3 | 15 | 2 | | 2 | 8 | 1 | 7 | 11 | 38 | 13 | 10 | | 9 | 18 | 1 |
| 70%~80% | 19 | 6 | 5 | 4 | 21 | 6 | 3 | 4 | 14 | 4 | 7 | 8 | 21 | 20 | 11 | 4 | 21 | 34 | 4 |
| 60%~70% | 35 | 8 | 12 | 15 | 24 | 18 | 7 | 14 | 18 | 10 | 24 | 33 | 18 | 36 | 25 | 4 | 38 | 25 | 16 |
| 50%~60% | 21 | 47 | 24 | 36 | 35 | 38 | 14 | 26 | 33 | 5 | 35 | 30 | 12 | 21 | 24 | 8 | 24 | 18 | 63 |
| 40%~50% | 13 | 33 | 33 | 24 | 12 | 32 | 27 | 34 | 26 | 3 | 27 | 15 | 1 | 12 | 22 | 19 | 15 | 9 | 23 |
| 30%~40% | 1 | 9 | 25 | 17 | 1 | 10 | 25 | 24 | 7 | 13 | 7 | 7 | | 3 | 13 | 14 | 2 | | 6 |
| 20%~30% | 2 | 7 | 10 | 11 | 2 | 5 | 25 | 4 | 1 | 21 | 5 | 4 | | | 3 | 19 | 1 | 2 | |
| 10%~20% | | | 1 | | | 1 | 9 | | 1 | 35 | | | | | | 27 | | | |
| 0%~10% | 1 | 2 | | 1 | | | 3 | 4 | | 21 | 1 | | | | 1 | 17 | | | |

中学校 2年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類 | 観 点 別 | | | 内 容 区 分 別 ・ 領 域 別 | | | | 計 |
|-----------|----------|----|-------|-------------------|----|----|----|----|
| | 科学の思考・表現 | 技能 | 知識・理解 | 物理 | 化学 | 生物 | 地学 | |
| +10% より高い | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ±10% の範囲内 | 6 | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | 9 |
| -10% より低い | 0 | 4 | 5 | 3 | 1 | 3 | 2 | 9 |
| 計 | 6 | 5 | 7 | 5 | 5 | 4 | 4 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中 9問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ② 「技能」に関する設問で 5問中 4問、「知識・理解」に関する設問で 7問中 5問が、「-10%より低い」という結果であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ① 観点が「科学的な思考・表現」の設問については、6問全てが設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。
- ② 類似問題については、9問中 5問で通過率が上昇し、指導の改善が図られてきている。特に昨年度の調査で課題の見られた「反射した光の進み方」や「肺と小腸のつくりと働き」に関する設問では、通過率が20ポイント以上上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ① 地震の揺れの記録から地震が発生した時刻を読み取ることについて、課題が見られる。
- ② 還元の実験や糖の有無を調べることに関する技能について、課題が見られる。

3 今後の指導

観察、実験の結果や資料を分析して解釈する学習活動を充実させる。

- ・ 観察、実験の結果や資料を分析して解釈させる際には、着目する点を明確にさせることが大切である。また、分析して解釈したことが妥当かどうかについて検討を行い、適切な判断をする経験を重ねていくことが科学的に探究する力の育成につながっていく。
- ・ 通し番号(7)については、各地点におけるP波による揺れが始まった時刻に着目させ、P波が一定の速さで伝わることを見いださせる。そのことを基にして、各地点から発生場所までの距離と、各地点の揺れはじめの時刻から地震の発生した時刻を考察できるようにする。また、別の観測地点やS波からも、同様に考察できるように気付かせるなど、指導の手立てを工夫する。

【参考 通し番号(7)】

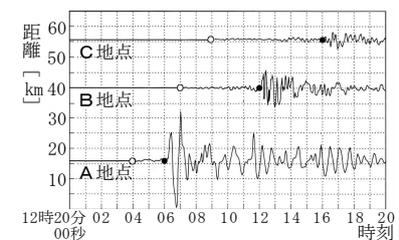
- (1) 資料から、この地震が発生した時刻は何時何分何秒ですか。次のア～エから1つ選んで、記号を書きなさい。

- ア 12時20分00秒
 イ 12時20分02秒
 ウ 12時20分04秒
 エ 12時20分06秒

【資料】(※一部省略)

| 地点 | 距離 | P波による揺れが始まった時刻 | S波による揺れが始まった時刻 |
|----|------|----------------|----------------|
| A | 16km | 12時20分04秒 | 12時20分06秒 |
| B | 40km | 12時20分07秒 | 12時20分12秒 |
| C | 56km | 12時20分09秒 | 12時20分16秒 |

図 2



観察、実験の方法を立案する学習活動を充実させる。

- ・ 観察、実験の方法の立案については、既習の内容を可能な限り生かすことが大切である。また、その手順や器具の扱い方を含め、予想や仮説が検証できるものになっているかどうかを生徒同士で検討させることも大切である。
- ・ 通し番号(16)については、例えば、糖の有無を調べる方法を事前に学習した上で、予想や仮説を検証する実験の方法を立案させることができるよう、指導計画を工夫することや、予想や仮説が妥当である場合に、その実験方法であればどのような結果が得られるかをグループで話し合う活動を取り入れることが考えられる。

【参考 通し番号(16)】

- (2) 正さんの考えた下線部の予想を確かめるためには、試験管A、Bの残りの溶液を用いて、どのような実験を行えばよいですか。用いる薬品を示して、実験の方法を書きなさい。



正さん

実験の結果から、デンプンはだ液によって別の物質に変化したといえます。しかし、デンプンが何の物質になったかは、明らかになっていません。ご飯をかむとあまく感じたことから、デンプンが糖に変化したのではないかと予想できるので、試験管A、Bの残りの溶液を用いて確かめたいと思います。

4 結果と考察 (5) 英語

令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 領
域 | 内
容 | 評
価
規
準 | 通
し
番
号 | 観
点 | | |
|------------------|------------------|--|---|------------------|--------|--------|-----------------------|
| | | | | | 表
現 | 理
解 | 知
識
・
理
解 |
| 第
1
学
年 | 聞
く
こ
と | ア
(イ) | [正確な聞き取り]
・短い英文を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。 | (1 | | ○ | |
| | | ア
(オ) | [適切な聞き取り]
・まとまりのある英語を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。 | (2 (3 | | ○ | |
| | | ア
(イ) | [正確な聞き取り]
・短い会話を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。 | (4 | | ○ | |
| | | ア
(ウ) | [適切な聞き取り]
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。 | (5 | | ○ | |
| | 読
む
こ
と | ウ
(ウ) | [正確な読み取り]
・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。 | (6 (8 | | ○ | |
| | | ウ
(エ) | [適切な読み取り]
・書かれた内容について、大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。 | (7 | | ○ | |
| | | ウ
(ウ) | [正確な読み取り]
・話の流れをつかみながら、文章を正確に読み取ることができる。 | (9 (10 | | ○ | |
| | 書
く
こ
と | エ
(イ) | [言語についての知識・理解]
・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。 | (11 (12 | | | ○ |
| | | エ
(イ) | [正確な筆記]
・与えられた情報を基に、正しく英文を書くことができる。 | (13 | ○ | | |
| | | エ
(オ) | [適切な筆記]
・自分のことについて、読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。 | (14 | ○ | | |
| | | エ
(ウ) | [適切な筆記]
・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。 | (15 | ○ | | |
| | | エ
(イ) | [言語についての知識・理解]
・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。 | (16 (17 | | | ○ |
| エ
(イ) | | [言語についての知識・理解]
・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。 | (18 | | | ○ | |

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

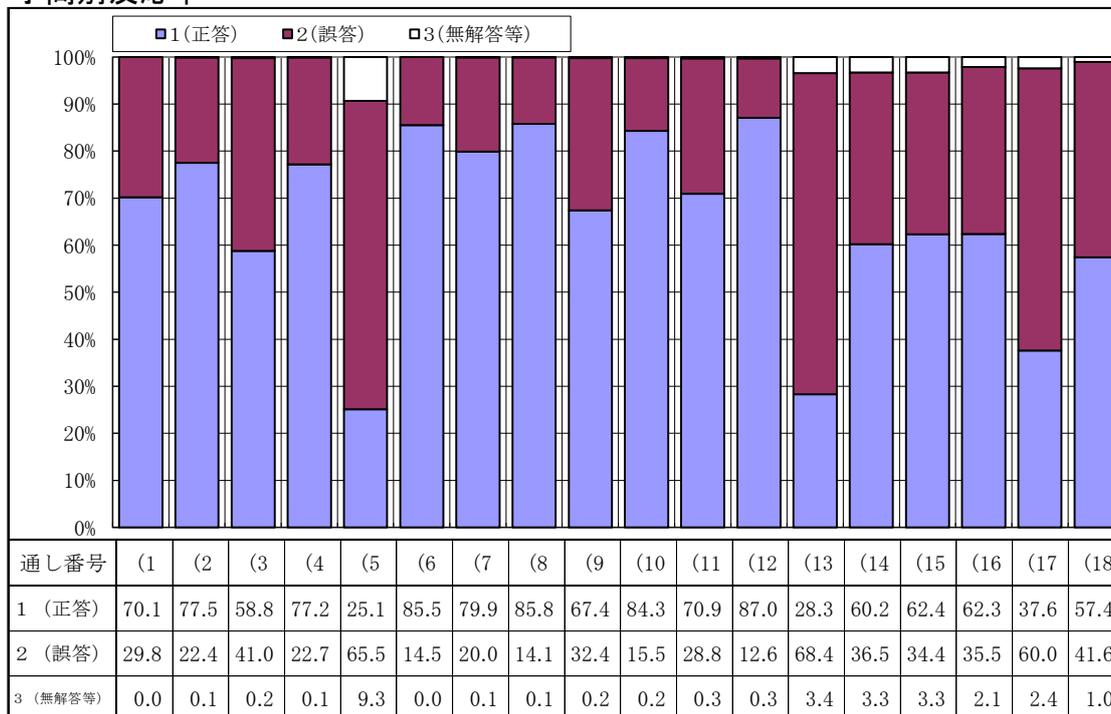
平均通過率 65.4%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|--|---------|-----------|--|
| (1) | (聞) 月日, 曜日の聞き取り | 70.1 | 80.0 | |
| (2) | (聞) 日曜日の行動についての聞き取り | 77.5 | 80.0 | |
| (3) | (聞) バasketボールが好きな人物についての聞き取り | 58.8 | 70.0 | |
| (4) | (聞) 土曜日の行動についての聞き取り | 77.2 | 70.0 | |
| (5) | (聞) 聞いた内容 (クイズ) に対する適切な応答 | 25.1 | 60.0 | |
| (6) | (読) 筆入れの中身についての会話の読み取り | 85.5 | 75.0 | |
| (7) | (読) メール文の内容の読み取りと適切な対応 | 79.9 | 80.0 | |
| (8) | (読) アンケートについての会話の読み取り | 85.8 | 80.0 | |
| (9) | (読) 適切な会話の構成 | 67.4 | 70.0 | |
| (10) | (読) 適切な会話の構成 | 84.3 | 80.0 | |
| (11) | (書) 正しい一般動詞の選択 | 70.9 | 70.0 | |
| (12) | (書) 正しい前置詞の選択 | 87.0 | 80.0 | |
| (13) | (書) 与えられた情報に基づく英文の作成 | 28.3 | 60.0 | |
| (14) | (書) 放課後にすることについての英文の作成 | 60.2 | 60.0 | |
| (15) | (書) メール文の内容を踏まえた英文の作成 | 62.4 | 60.0 | |
| (16) | (書) 与えられた語を用いて, 会話を成り立たせる英文の作成 (be動詞疑問文) | 62.3 | 65.0 | |
| (17) | (書) 与えられた語を用いて, 会話を成り立たせる英文の作成 (三単現疑問文) | 37.6 | 60.0 | |
| (18) | (書) 一般動詞の否定文 (三単現) の構造 | 57.4 | 65.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 3 | 5 | 3 | 5 | 1 | 6 | 7 | 6 | 1 | 10 | 2 | 6 | | | 3 | 2 | | 4 | |
| 90%~100% | 4 | 7 | 1 | 8 | | 19 | 11 | 26 | 3 | 23 | 2 | 35 | 1 | 5 | 1 | 2 | | 5 | 1 |
| 80%~90% | 19 | 40 | 5 | 31 | | 60 | 44 | 59 | 8 | 47 | 13 | 51 | 2 | 17 | 5 | 11 | 1 | 3 | 4 |
| 70%~80% | 35 | 38 | 19 | 33 | 2 | 21 | 31 | 17 | 26 | 23 | 39 | 13 | 2 | 23 | 19 | 25 | 1 | 13 | 25 |
| 60%~70% | 41 | 10 | 31 | 27 | 3 | 4 | 13 | 5 | 45 | 9 | 38 | 8 | 2 | 14 | 34 | 29 | 4 | 22 | 53 |
| 50%~60% | 10 | 8 | 28 | 6 | 9 | 2 | 6 | | 23 | | 15 | | 4 | 18 | 32 | 15 | 13 | 24 | 25 |
| 40%~50% | 1 | 4 | 14 | 3 | 8 | | | | 4 | | 1 | | 6 | 19 | 13 | 16 | 25 | 31 | 5 |
| 30%~40% | | 1 | 2 | | 18 | 1 | | | 2 | | 2 | | 19 | 8 | 3 | 9 | 30 | 8 | |
| 20%~30% | | | 9 | | 27 | | 1 | | | | 1 | | 36 | 3 | 2 | 3 | 22 | 2 | |
| 10%~20% | | | 1 | | 30 | | | | | 1 | | | 28 | 3 | 1 | | 16 | 1 | |
| 0%~10% | | | | | 15 | | | | 1 | | | | 13 | 3 | | 1 | 1 | | |

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類
設定通過率の | 観 点 別 | | | 領 域 別 | | | 計 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|------|------|----|
| | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 | 聞くこと | 読むこと | 書くこと | |
| +10% より高い | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ±10% の範囲内 | 2 | 7 | 4 | 3 | 4 | 6 | 13 |
| -10% より低い | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 4 |
| 計 | 3 | 10 | 5 | 5 | 5 | 8 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

18問中13問が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①「読むこと」において、全問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という状況であり、情報などを正確に読み取ることについて、指導の成果が見られる。
- ②昨年度調査と比較すると、書かれた内容を正しく読み取る設問における通過率が上昇しており、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①昨年度調査において課題の見られた「聞いて把握した内容について適切に応じること」については、昨年度に引き続き課題が見られる。
- ②「書くこと」において、三人称単数現在形など基本的な語や文法事項の知識の定着や、それらを活用して与えられた条件を基に正しい文を書くことなどに課題が見られる。

3 今後の指導

「聞くこと」に関して、日常的な話題について目的をもって英語を聞き、情報を正確に聞き取る活動の充実を図る。

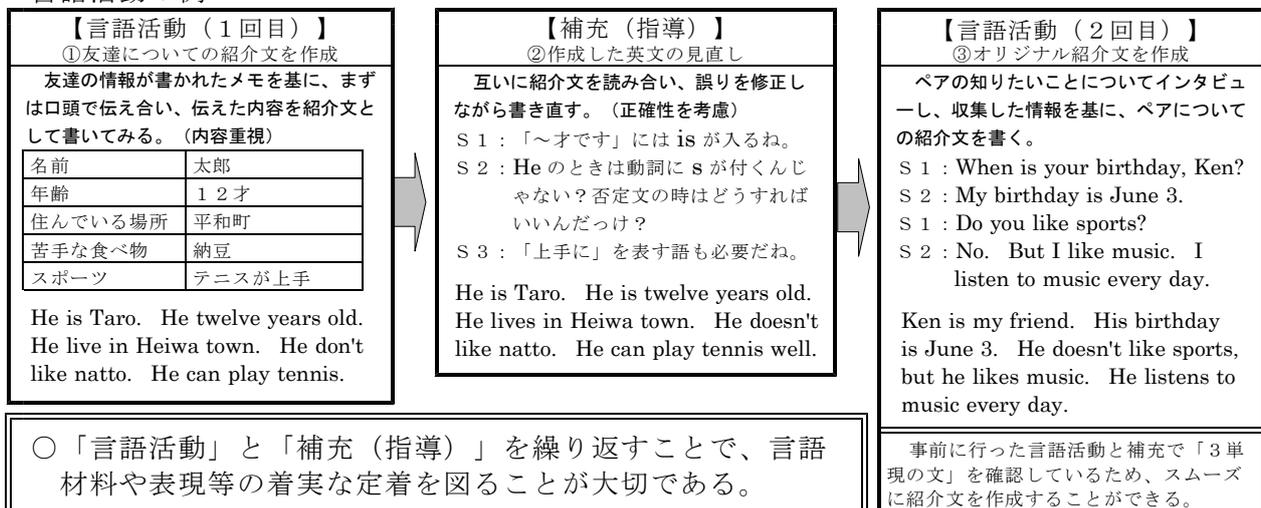
- ・教師が自然な口調の英語を用いるようにして話すなど、日常的に「聞くこと」を通して理解する活動を繰り返し行うよう意識する。
- ・帯活動等において、教師がまとまりのある英文で話した内容について、生徒同士がその場で適切な応答を考えながら英語によるやり取りを行うなどの活動を工夫する。
- ・聞くポイントを事前に示したり、聞く場所や状況を明確にしたりするなど、目的をもって聞く活動を取り入れる。

聞いたり読んだりして理解したことについて、目的や場面、状況などに応じながら、文脈に沿った適切な英文を書く活動の充実を図る。

- ・3人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする活動を、憧れの人物や友達の紹介などの様々な場面で繰り返し取り入れることにより、その定着を図る。
- ・目的や場面、状況などを捉えた上で、調べたことについて説明や報告をしたり、絵や写真の様子を表現したりするような言語活動を工夫する。
- ・中間評価の場面を設定し、生徒同士で互いの英文を読み合いながら、表現が正確であるか、相手に正しく伝わる英文になっているかなどについてのフィードバックを行うようにする。

※指導例：通し番号(13、(15、(16、(17、(18

情報に基づいて、事実や自分の考えなどを適切に伝えるための英文を書く力の育成を目指す言語活動の例



令和2年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学
年 | 領
域 | 内
容 | 評 価 規 準 | | 通
し
番
号 | 観 点 | | |
|------------------|------------------|--------------------|------------------------------|--|------------------|--------|--------|-----------------------|
| | | | | | | 表
現 | 理
解 | 知
識
・
理
解 |
| 第
2
学
年 | 聞
く
こ
と | ア
(イ) | [正確な
聞き取り] | ・短い英文を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。 | (1 | | ○ | |
| | | ア
(オ) | [適切な
聞き取り] | ・会話を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。 | (2 (3 | | ○ | |
| | | ア
(イ) | [正確な
聞き取り] | ・まとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。 | (4 (5 | | ○ | |
| | | ア
(ウ) | [適切な
聞き取り] | ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。 | (6 | | ○ | |
| | 読
む
こ
と | ウ
(ウ) | [正確な
読み取り] | ・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。 | (7 (8 | | ○ | |
| | | ウ
(エ) | [適切な
読み取り] | ・書かれた内容について、必要な情報を読み取り、適切に応じることができる。 | (9 | | ○ | |
| | | ウ
(ウ) | [適切な
読み取り] | ・書かれた内容について、概要を適切に読み取ることができる。 | (10 | | ○ | |
| | | ウ
(ウ) | [正確な
読み取り] | ・話の流れをつかみながら、文章を正確に読み取ることができる。 | (11 | | ○ | |
| | 書
く
こ
と | エ
(イ) | [言語について
の知識・理解] | ・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。 | (12 (13 | | | ○ |
| | | エ
(ウ) | [適切な筆記] | ・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。 | (14 | ○ | | |
| | | エ
(オ) | [適切な筆記] | ・自分のことについて、内容につながりをもたせて適切に英文を書くことができる。 | (15 | ○ | | |
| | | エ
(イ) | [言語について
の知識・理解] | ・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。 | (16 (17 | | | ○ |
| エ
(イ) | | [言語について
の知識・理解] | ・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。 | (18 | | | ○ | |

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

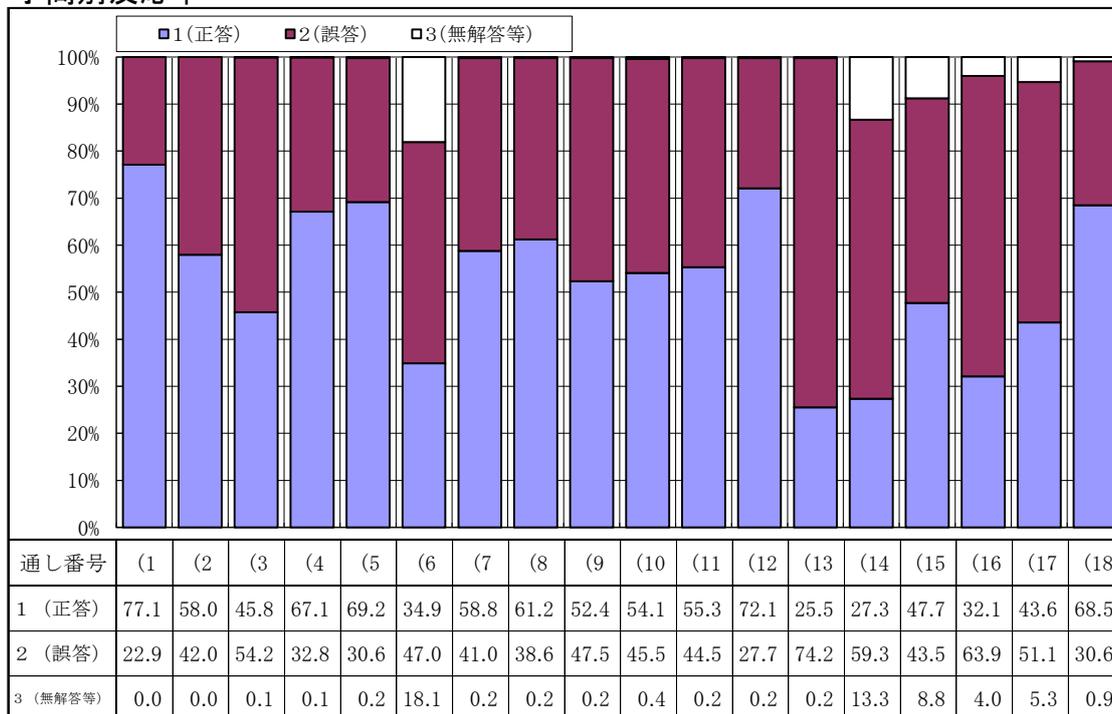
平均通過率 52.8%

| 通し番号 | 出題内容 | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|---|---------|-----------|--|
| (1) | (聞) 月日, 曜日の聞き取り | 77.1 | 85.0 | |
| (2) | (聞) 週末の予定の聞き取り | 58.0 | 75.0 | |
| (3) | (聞) イベントで三味線を演奏する時間についての聞き取り | 45.8 | 70.0 | |
| (4) | (聞) 午後の訪問先についての聞き取り | 67.1 | 75.0 | |
| (5) | (聞) 話の話題についての聞き取り | 69.2 | 75.0 | |
| (6) | (聞) 依頼に対する適切な応答 | 34.9 | 60.0 | |
| (7) | (読) 部活動についての会話文の読み取り | 58.8 | 65.0 | |
| (8) | (読) スピーチの内容についての読み取り | 61.2 | 65.0 | |
| (9) | (読) パンフレットの内容に対する適切な応答 | 52.4 | 75.0 | |
| (10) | (読) スピーチの要点についての読み取り | 54.1 | 70.0 | |
| (11) | (読) 適切な文章の構成 | 55.3 | 65.0 | |
| (12) | (書) 適切な疑問詞の選択 | 72.1 | 80.0 | |
| (13) | (書) 適切な動詞の選択 | 25.5 | 70.0 | |
| (14) | (書) メールの内容を踏まえた英文の作成 | 27.3 | 60.0 | |
| (15) | (書) 家ですべきことについて、まとめた英文の作成 | 47.7 | 65.0 | |
| (16) | (書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現の疑問文) | 32.1 | 65.0 | |
| (17) | (書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (過去進行形の文) | 43.6 | 65.0 | |
| (18) | (書) 不定詞の形容詞的用法の文の構造 | 68.5 | 75.0 | |

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (113校)

は県平均通過率

| 通し番号 | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 7 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | | | 5 | |
| 90%~100% | 10 | 1 | 1 | 1 | 4 | | 1 | 2 | | | | 11 | | | 1 | | | 4 | |
| 80%~90% | 36 | 2 | 1 | 12 | 16 | 1 | 1 | 10 | 3 | 3 | 2 | 26 | | 1 | 3 | 1 | 2 | 24 | 1 |
| 70%~80% | 36 | 14 | 3 | 31 | 35 | 5 | 10 | 14 | 4 | 4 | 3 | 25 | | 1 | 10 | 1 | | 22 | 4 |
| 60%~70% | 19 | 29 | 8 | 47 | 29 | 4 | 37 | 36 | 15 | 27 | 25 | 24 | 1 | 2 | 15 | 2 | 8 | 26 | 17 |
| 50%~60% | 4 | 34 | 18 | 16 | 20 | 12 | 44 | 33 | 43 | 39 | 53 | 17 | 4 | 4 | 23 | 5 | 24 | 20 | 43 |
| 40%~50% | 1 | 22 | 45 | 4 | 7 | 24 | 13 | 11 | 37 | 25 | 21 | 6 | 8 | 8 | 26 | 17 | 30 | 9 | 43 |
| 30%~40% | | 4 | 24 | 1 | 1 | 23 | 3 | 4 | 8 | 9 | 5 | | 21 | 22 | 17 | 28 | 20 | 2 | 5 |
| 20%~30% | | 5 | 7 | | | 23 | 1 | | 1 | 3 | 3 | | 39 | 37 | 11 | 39 | 20 | 1 | |
| 10%~20% | | 1 | 4 | | | 12 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 29 | 27 | 5 | 15 | 5 | | |
| 0%~10% | | | 1 | 1 | | 8 | | | | 1 | | | 10 | 10 | | 5 | 4 | | |

中学校2年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類 | 観 点 別 | | | 領 域 別 | | | 計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|------|------|----|
| | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 | 聞くこと | 読むこと | 書くこと | |
| +10% より高い | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ±10% の範囲内 | 0 | 6 | 2 | 3 | 3 | 2 | 8 |
| -10% より低い | 2 | 5 | 3 | 3 | 2 | 5 | 10 |
| 計 | 2 | 11 | 5 | 6 | 5 | 7 | 18 |

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中10問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ② 「書くこと」の7問中5問が「-10%より低い」という結果であり、「書くこと」について課題が見られる。

(2) 成果

- ① 比較的短い英文を聞いて、必要な情報や要点を読み取ることについて、指導の成果が見られる。
- ② 「書くこと」において、文脈に応じて適切な疑問詞を選択したり、正しい語順で不定詞の文を構成したりすることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」において、読み取った内容を場面や状況等と関連付けて思考し、必要な情報や概要、要点を理解することに課題が見られる。
- ② コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、基本的な語句や表現を用いて英文を書くことに課題が見られる。

3 今後の指導

「書くこと」に関して、習得した言語材料をコミュニケーションの中で活用させながら、思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて知識・技能の定着を図る。

- ・新たに語句や表現を学習する際は、具体的な場面を設定し、意味のある文脈の中で活用させることを通じて言語材料の意味や用法を理解させる。
- ・言語材料の定着を図るために、言語の使用場面や言語の働きに配慮し、実際のコミュニケーションを意識した言語活動の中で繰り返し活用させる。また、話す活動において用いた語句や表現を書く活動につなげることで定着を図る。
- ・生徒一人一人の「書くこと」における学習状況を把握し、ヒントを示したり、辞書の使用を促したりするなどして、正確な筆記や適切な筆記につなげる。

聞いたり読んだりして理解したことについて、情報を整理し、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書く活動の充実を図る。

- ・身近な事柄や日常的な話題について分量等にとらわれない形式で英文を書く活動や、聞いたり読んだりしたことについて自分の考えや気持ちを書くなどの領域間の統合を図る活動を、年間を通じて計画的・継続的に取り入れ、書くことへの抵抗感を減らすようにする。
- ・聞いたり読んだりする際には、要点をメモさせたり線を引かせたりするなど、内容理解のための方法について指導する。
- ・書いた英文を生徒同士で読み合い、言語面の正確さや内容面の適切さに目を向けさせ、生徒同士でアドバイスし合ったり教師が適切なフィードバックを行ったりする。

※指導例：通し番号(6)

来日予定の留学生からの依頼を聞き、自分の考えや気持ちを英文にして伝えるなど、複数の領域を統合して行う活動の例

○あなたは、来日予定の留学生からビデオメッセージで依頼を受けました。メッセージの内容を踏まえ、あなたはどのようなことを伝えますか。
Hello, everyone. I'm Tom. I'm going to stay in your country for three weeks. I want to try some club activities in your school. Which club activities can I try? Please tell me your idea.

※解答例

Hello, Tom. Baseball is popular. I'm on the baseball team. How about playing baseball?

【指導のポイント】

- ・メッセージの内容を的確に理解させた上で、返答として適切な内容を考えさせる。
- ・生徒同士で口頭で伝え合わせる。その際、正確さや適切さを過度に求めない。
- ・生徒同士の相互評価や教師のフィードバック等を基に、語句や表現の選択、内容や文構成等を再構築させ、正確さや適切さに留意して英文を書くことができるよう指導する。